教	科	学科		科目		材料			対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
		自動車コ	L子							一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	関根健、	中村	泰史(二	級整備士))				_	-	
実務紹	E験教員	授業非	該当	総時限	6時限	授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕										
* 三級	整備	士試験合	格レベノ	ルに到達す	る上で、必	必要な自動	車材料	料の	基礎知識	を習得する。		
*自動	車整	備作業に関	関係する	る自動車の	リサイクル	対応の予例	莆知識	め習	習得。			
〔授業	の到達	目標〕										
① 金	属材料	料の性質・種	種類お	よび加工処	1.理方法だ	が理解できる	3.					
② 非	金属	オ料の性質	•種類	および加コ	[処理方法	去が理解で	きる。					
3 IJt	ナイクル	方法と必要	要性が	理解できる)°							
〔学習	評価の)基準〕										
試験	点数位	D基準を、「	5 · 4	.3.2.1	1]の5段	階で表わす	•					
試験	点数位	D評価は	5 : 90	ວ ∼100点	点 4:7	5 ~ 89点	3:	60	~ 74点			
6 0	点未活	場の場合は	再試驗	乗を行う。 尚	尚、再試験	後の評価の	は試験	規利	呈による。			
〔使用	教科書	書・教材等〕)									
*『自	動車材	対 全	国自重	助車整備専	門学校協	3会 *	自前:	プリン	ノトをレジュ	メとして、別途配付。		
					授	業計画	表					N o . 1
実務経験	標準時限						授業内	勺容	(項目)			
	1	*総論/*	金属	材料の性質	質							
	1	* 鉛	失鋼材	料(I)								
	1	* 鉛	失鋼材	料(Ⅱ)								
	1	* \$	F鉄金	属材料								
	1	* \$	F金属	材料								
	1	**	総まとめ)								

教	(科		学科 助車工学	科目		図面			対象級	専門課程サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
										一級自動車整備学科· 研究開発学科 1年	開講期	前期
	担当		泰史(二	級整備士)	1							
実務網	径験教員	授業	非該当	総時限	4時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・	目的)										
* 三 約	吸整備	士試馬	食合格レベ	ルに到達す	る上で、娘	必要な図面	の基礎	知	識を習得る	する。		
*整	備士とし	て業績	務で用いる	マニュアル等	等の図が理	解でき、簡	単な区	が	苗ける知識	まを習得する。		
〔授業	の到達	目標)									
① 製	製図の意	意義と	重要性を理	関解し、線 <i>の</i>	種類と用	法を理解す	る。					
② 各	A種図	去表現	の理解とて	寸法の記入	方法を理	解する。						
③ 音	『品等で	を観察	し、簡単な	図が描ける	ること。							
〔学習	評価の)基準)									
評価な	なし											
〔使用	教科書	書・教林	才等〕									
*『製	図』	全国	自動車整備	備専門学校	交協会	* 自前ブ	リントを	シン	ジュメとして		面サンプル	
					授	業計画	表					N o . 1
実務経験	標準時限						授業内	容	(項目)			
	1	製図の	の意義と重	要性及び対	現格/図面	うの大きさ及	び様式	ţ				
	1	線、戈	で字、尺度	/図形の表	し方/前期	復習/寸法	は記入(の方	法			
	1	実物	 での確認 ((演習) /‡	での断面	形状/製品	図の現	物	での確認			
	1	その他	3の製図に	よる指示方	法/ボルト	による現物	確認((演	習)/頭部	『形状の違い、胴部の	違い	
		ねじ先	- この違い/並	位目と細目の	の違い							

			1	_							
		学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車工学	科目	基	礎自動車工	学		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・	開講期	前期
									研究開発学科 1年	用舑州	削捌
教科	担当	加賀美 直人(1 大塚 光善(一線									
実務網	圣験教員		総時限	8時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・	目的〕									
* 新.	入生に	対して、自動車の	の全体像を	理解させ、	その後の本	格授	業^	の意識付	けを行う。		
*自動	動車の	専門用語、専門	単位に触れ	1、技術者	の卵としての	の意識	銭付に	を行う。			
〔授業	の到達	目標〕									
1 [自動車	の概要、基本構	造を理解す	る。							
② 専	門用記	吾の意味を理解す	する。								
〔学習	評価の)基準〕									
評	価なし										
〔使用	教科書	書・教材等〕									
*『基	礎自重	加車工学』『基础	遊自動車整	整備作業』							
				授	業計画	表					N o . 1
実務経験	標準時限					授業区	内容	(項目)			
	1	導入/自動車の	概要(概要	要)							
	1	自動車の概要	(エンジン本	体 I)							
	1	自動車の構造	(エンジン本	体Ⅱ)							
	1	自動車の機械	要素/燃料》	及び、潤滑	剤						
	1	基礎的な原理・	法則/基礎	計算能力	」の確認						
	1	自動車の構造	(動力伝達	<u>i</u>)							
	1	自動車の構造	(足回り)								
	1	自動車の構造	(車体関係	() /自動	車の諸元						

		学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車工学	科目		基礎整備作	業		対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	加賀美直人·福油 春原雄一(一級		·]智忠(二	級整備士)				1	•	
実務約	圣験教員		総時限	8時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・	目的〕									
・整備	の基礎	対談を理解し、	身に付ける	。・基礎整	経備作業を3	理解し	, 身	に付ける。			
・基礎	整備化	作業を理解し、身	た付ける。								
・電流	・電圧	·抵抗·回路等、	義務教育	で学んだ内	容の復習	0					
・サー	キットテ	スタの使用方法を	を覚える。								
〔授業	の到達	目標〕									
・整備	作業の)目標、職場の労	働安全、	安全作業の	の心得、整	備工	場かれ	5発生する	公害を理解できる。		
·工具	の使用	目的、機能、正	しい使い方	を習得す	る。						
・回路	図の記	号を覚える。									
・サー	キットテ	スタの安全な使用	用方法を習	得する							
〔学習	評価の)基準〕									
評価な	¥U										
〔使用	教科書	· 教材等〕									
・基礎	自動車	巨整備作業(教	科書)・PI	U工具導力	入ネジ(授	業資	料)				
٠DV	D (†	つかるよ!電流・電	電磁石小学	学校の理科	4)・基礎回	回路セ	ヹット	(2名で1t	<u>ヹ</u> ヅト)		
				授	業計画	表					N o . 1
実務経験	標準時限					授業	内容	(項目)			
	1	目的·目標/整值		標/職場の	D労働安全	:/安á	全作	業の心得/	整備工場から発生す	る公害	
	1	基本作業/メート	〜ルねじ説明	月/工具チ:	ェック/スパナ	-/モン	キ・レ	/ンチ/めが	ねレンチ/ソケット・レン	Ŧ	
		ヘキサゴン・レンチ	F								
	1	・トルク・レンチ・ト	ドライバ・ハン	ンマ・プライ	ヤ・ギヤ・プ	ーラ・タ	タップ	・ダイス・ヘ!	Jサート		
	1	工具の種類確認	ピテスト/エ	 具チェック/	まとめ						
	1	電流と電圧・電荷	磁石の復習	9 =							
	1	電気回路につい	7								
	1	サーキットテスタ位	 吏用方法								
	1	電気基礎回路t									
			-								

		学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車工学	科目		自動車総論	-		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
教科	担当	(二級整備士) 中村	加賀美 直 <i>。</i> 泰史・中村			∮•福汩	焦	史			
実務紹	E験教員		総時限		授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕									
* 三級	及整備	士試験合格レベ	ルに到達す	る上で、必	必要な計算	方法を	習	得する。			
* 整備	青士とし	て業務で用いる	計算式が理	里解でき、	計算方法を	習得	する。	o			
〔授業	の到達	目標〕									
・車がた	走行に	関わる数字が一	連の姿とし	てつながる	ようになる						
・軸重	、減速	、増速、速度に	ついての計算	算ができる							
・圧力	、体積	、圧縮比について	この計算が [.]	できる							
〔学習	評価の)基準〕									
試験	点数	D基準を、「5・4	.3.2.	1」の5段	階で表わす	۲.					
試験	点数	D評価は 5:9	0 ~100я	点 4:7	5 ~ 89点	₹ 3:	60	~ 74点			
6 0	点未		験を行う。向	尚、再試 騎	後の評価	は試験	規利	呈による。			
〔使用	教科書	書・教材等〕									
* 自	前プリ	ントをレジュメとし	て、別途配								
				授	業計画	表					N o . 1
実務経験	標準時限					授業内	容	(項目)		•	
	2	1. ギヤの役割	とギヤ比((減速比)	の求め方						
		2. ギヤ比から[回転数、ト	ルクの求め	方						
		3. トランスミッシ	ションのギヤ	比計算							
		4. 終減速比、	デフとタイヤ	で回転数の	計算						
		5. 総減速比									
		練習問題(各項	頁目終了こ	だに演習)						_	
	2	1. 排気量と総	排気量の	求め方		•円の	面積	責、体積計	算		
		2. 圧縮比のす	 えめ方			•圧縮	比の	の意味の理	 !解		
		3. 平均ピスト:	ン速度の求	め方		平均	ピス	トン速度の	意味の理解		
		4. カム・リフトと	:バルブ・クリ	Jアランス		・比率	計算	草の理解			
		5. 出力(仕事	事率) の求	め方		出力	(化	土事率)の	意味の理解		
		練習問題(各項	頁目終了ご			·練習	問題	題による実:	力養成		
									<u> </u>		

1 +/-	1110	学科	.1. */-11	ᅌᆉᆂᄵᆣᄾ	+145,61	専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車工学	小教科目	自動車総論	対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	後期
				授業計画表				N o . 2
実務経験	標準時限			授業四	容(項目)			
	2	1.プラネタリ・ギ	ヤとは	・プラ	マタリ・キャリヤ	の歯数は		
				U	ンギヤ+インタ	ワーナルギヤ		
		2. プラネタリ・キ	ドヤの計算	• +7!	ア固定は逆	眩、その他は正転		
				• 駆重	ギヤ(分母)	が大きい場合増速		
		3. プーリーの変	で速比の求	め方・プー	J-の変速比	の求め方		
		4. プーリーにか	かるトルクと	(力の求め方 受	動側円周/	駆動側円周		
		練習問題(各項	頁目終了ご	とに演習)・練習	問題による実	[力養成		
	2	1. 圧力と力と	パスカルの原	うせい ・パス	かの原理及	び1 P a の意味		
		2. ブレーキカと	と油圧計算	•テコ	原理から力の	の関係		
		3. トルクとは		·基本	となるトルクの	意味の理解		
		4. トルク・レン			プタ付きの解さ			
		練習問題(各項	頁目終了ご	とに演習)・練習	問題による実	[力養成		
	-							
	2	新 力のモーメン	ト ーメントの金	5hA				
		(2)重		主 化				
				· 軸重		- 1 - 		
		練習問題(各項	貝目終了ご	とに演習)・練習	問題による実	三 刀養成		

	5	学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教科		加工学	科目	パワ	ノーユニット様	黄 造		7.125/1/2	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科担当	(二刹	以整備士)	加賀美 值	」人・関根 /	建・細川⊥	と博・	温汨	篤史		-	•
我们当	(一約	及整備十)	大塚 光善	・春原 雄							
実務経験教員	授業	非該当	総時限	40時限	授業方 法	講	義	評価方法	単元·期末試験		

〔授業概要·目的〕

*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- *二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- *四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

〔授業の到達目標〕

- ① 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。
- ② 燃料の精製・性状・添加剤・取り扱い上の注意を理解する。
- ③ 潤滑剤の目的・種類を理解する。
- ④ 基礎的な原理・法則の電気・磁気を理解する。

〔学習評価の基準〕

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

〔使用教科書·教材等〕

*『基礎自動車工学』『三級自動車整備士(総合)』

: 日本自動車整備振興会連合会『電装品構造』『内燃機関、燃料・油脂』: 全国自動車大学校・整備専門学校協会

			授 業 計 画 表	N o . 1
実務経験	標準時限		授業内容(項目)	
	1	エンジン本体 1	作動/4サイクル・エンジン/4サイクル・エンジン(ジーゼル)/2サイクル・エンジン	
	1	エンジン本体 2	2 構造・機能/シリンダ・ヘッド/シリンダ・ヘッド・ガスケット	
			シリンダ、クランクケース及びシリンダ・プロック/ ピストン、ピストン・ピン及びピストン・リン	<i>,</i> グ
	1	エンジン本体 3	ピストン・リング	
	1	エンジン本体4	コンロッド及びコンロッド・ベアリング/クランクシャフト及びジャーナル・ベアリング	
	1	エンジン本体 5	パルプ機構	
	1	エンジン本体6	トルク管理/締結の方法、注意点/行程関連(単気筒)	
	1	エンジン本体 7	4気筒の説明/4気筒の行程関連	
	1	エンジンの計算	トルクの計算	
	1	電装基礎 1	電気の基礎	
	1	電装基礎 2	電気回路	
	1	磁気、コイル	磁気/磁場/磁界および磁力線/磁束と密度/電流による磁界/コイル/電磁力/電磁	 誘導
	1	リレーとモータ	リレーと回路	
	1	バッテリ 1	第5章 エンジン電気装置・	

1 +/-	1 V 🖂	学科	小教科	100 - 14474	+1 <i>4</i> -707	専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車工学	目	パワーユニット構造	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
				授 業 計 画 表				No.2
実務経験	標準時限			授業内容	(項目)			
	1	バッテリ2	形式表示	/充放電反応/容量/放電率/起	□電力/放	電終止電圧		
	1	バッテリ3	放電特性	/電解液比重と各要素との関係	えんバッテリー	-の整備・保守取り扱	い	
	1	エンジンの計算	オームの法	測/排気量				
	1	始動装置1	始動装置	/概要·整備				
	1	始動装置 2	マグネット・	スイッチ/作動				
	1	配線図1	電気回路	図(始動装置)				
	1	配線図2	電気回路	(二輪車)				
	1	冷却装置1	冷却装置	/概要/構造・機能				
	1	冷却装置 2	ラジェータル	及びサーモスタット				
	1	冷却装置3	サーモスタ	ット/ファン/不凍液				
	1	冷却装置4	ラジェータル	及びサーモスタット/点検・修正				
	1	潤滑剤	潤滑剤の	作用				
	1	潤滑剤、潤滑装	潤滑剤の	種類				
	1	潤滑装置	オイルの循	環・構造・機能				
	1	潤滑装置	整備作業					
	1	燃料	燃料及び	潤滑剤/排出ガス浄化装置				
	1	燃料·燃料装置	燃料装置	「ガソリン・エンジン」・概要				
	1	燃料装置	インジェクタ	ヲ・フューエルポンプ/タンク/パイプ				
	1	燃料装置	整備					
	1	吸排気装置 1	吸排気装	置・概要/構造				
	1	吸排気装置 2	排出ガス湾	争化装置				
	1	点火装置 1	点火装置	・概要/構造				
	1	点火装置 2	気筒別独	立点火方式(ダイレクト				
	1	充電装置1	バッテリ	(復習)				
	1	充電装置2	充電装置	・概要/構造				
	1	充電装置3	レクチファイ	(ヤ/ボルテージ・レギュレータ				
	1	エンジンの計算、	トルク、アタ	アッチ付きトルク、行程関連				

									"	
教	科	学科	科目		シャシ構造		対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
77	1-1	自動車工学	170		ンドン情度		V130/10X	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	(二級整備士)		·中村 智思	・臼居 史也			研究開発子科 1年	<u> </u>	
実務組	X験教員	<u>(一級整備士)</u> 題授業 非該当	総時限	40時限	授業方法	講義	評価方法	単元·期末試験		
 〔授業	 概要・	_ 目的〕								
二輪及	るび四点	輪自動車のシャ	 シ系装置に	ついて、基	本構造と名 ⁵	 称及び作	動の理解	 を目的とする。		
〔授業	の到達	 [目標〕								
* 基	基本構	造と名称の習得	* 各音	『品の役割	と機能の習	得 * 作	動(動き		 }	
*電	気の基	 基礎知識の習得	* 電気装	置の作動	 の習得 *	・電気の基) 2 2 3 3 3 4 3 5 4 5 5 7 8 7 8 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 7	の作動の習	 得
		しての、心構え								
)基準〕								
)基準、レポート評		取り組みを	 総合して、「 5	5 · 4 · 3 ·	 2・1 Jの 5	 6 段階で表わす。		
5:	特に成	績優秀なもの 4	 :成績良の	もの 3:/		ග 2 :	成績やや多	劣るもの 1:成績特 (格のもの
		の評価は 5:9								
								 式験規程による。		
								る 1:劣る(再提出	 この必要がある	 გ)
										-,
	教科書									
〔使用		**教材等〕 総合、電装品	描告:HM:							
〔使用		·教材等〕 総合,電装品d	構造,HM:	SE3級,	テキスト,他	<u>1</u>				N o . 1
三級自			講造,HM:	SE3級,	テキスト, 他業計画	表	(項目)			N o . 1
三級自	自動車	総合,電装品		SE3級, 授	テキスト, 他 業 計 画 技	表				N o . 1
三級自	計動車	総合,電装品 ●授業項目(前半) 動	SE3級, 授	テキスト, 他 業 計 画 技	表				N o . 1
三級自	計動車	総合,電装品を ●授業項目(II 動力伝達者	前半) 動	SE3級, 授	テキスト, 他 業 計 画 技	表				N o . 1
三級自	計動車	総合,電装品を ●授業項目(II 動力伝達等 1 概要/2 を	前半) 動 表置 構造・機能	SE 3 級, 授 力伝達装	テキスト,他 業 計 画 担 置 導入 ク	を 表 受業内容 フラッチ1,				N o . 1
三級自	標準時限	総合,電装品を ●授業項目(II 動力伝達者	前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト	SE 3 級, 授 力伝達装 ランスミッシ	テキスト, 他 業 計 画 担 置 導入 ク 3ン1、2、	を 表 受業内容 フラッチ1,				N o . 1
三級自	標準時限 4 3 1	総合,電装品●授業項目(Ⅱ 動力伝達1 概要/2 を●授業項目(前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト 後半) ト	SE 3 級, 授 力伝達装 ランスミッショ	テキスト, 他 業 計 画 担 置 導入 ク 3ン1、2、	き 表 受業内容 フラッチ1,				N o . 1
三級自	標準時限 4 3 1	●授業項目(II 動力伝達器1 概要/2 材●授業項目(●授業項目(前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト 後半) ト 前半) プ	SE3級, 授 力伝達装 ランスミッシ: ランスファ、 ロペラシャフ	テキスト, 他 業計画 担選 導入 ク コン1、2、 LSD	き 表 受業内容 フラッチ1,				N o . 1
三級自	標準時限 4 3 1 2	 ●授業項目(Ⅲ 動力伝達 1 概要/2 相 ●授業項目(●授業項目(●授業項目(前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト 後半) ト 前半) デ	SE 3 級, 授 力伝達装 ランスミッシ: ランスファ、 ロペラシャフィファレンシ	テキスト, 他 業計画 担づない。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 というには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これ	き 表 受業内容 フラッチ1, 3				N o . 1
三級自	信動車 標準時限 4 3 1 2 2	 総合,電装品 ●授業項目(1 概要/2 材 ●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト 前半) プ 前半) ア	SE 3 級, 授 力伝達装 ランスファ、 ロペラシャフィファレンシ クスル、サス	テキスト, 他 業計画 担 3シ1、2、 LSD ト、ドライブミ ヤル ペンション1	き 表 受業内容 フラッチ1, 3	2, 3	·除<)		N o . 1
三級自	信動車 標準時限 4 3 1 2 2 2 2	 総合,電装品 ●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト 前半) プ 前半) ア 前半) ス	SE 3 級, 授 力伝達装 ランスミッシ: ランスファ、 ロペラシャフィファレンシ クスル、サステアリング装	テキスト, 他 業 計 画 哲 導入 グ ョン1、2、 LSD ト、ドライブシャル ペンション1 長置1、2	を 表 受業内容 フラッチ1, 3 シャフト 、 2 (ボール	・ナット型を	:除<)		N o . 1
三級自	信動車 標準時限 4 3 1 2 2 2 2	 ●授業項目(Ⅲ 動力伝達業 1 概要/2 相 ●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト 後半) ト 前半) ア ス ス	SE 3 級, 授 力伝達装 ランスミッシ: ランスファ、 ロペラシャフィファレンシ クスル、サステアリング装	テキスト, 他 業 計 画 野 置 導入 ク コン1、2、 LSD ト、ドライブミ ヤル ペンション1 電 1、2 電 1、2	を 表 受業内容 フラッチ1, 3 シャフト 、 2 (ボール	・ナット型を	:除<)		N o . 1
三級自	信動車 標準時限 4 3 1 2 2 2 2	 ●授業項目(Ⅲ 動力伝達 1 概要/2 相 ●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(前半) 動 表置 構造・機能 後半) ト 前 前 半) ァ ス ス ホ	SE 3 級, 授 力伝達装 ランスミッシ ランスファ、 ファレンシ クスル、サス テアリングを テアリン、タイ	テキスト, 他 業計画 打る。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 はいます。 といます。 はいます。 はいます。 といま。 といます。 といま。 といます。 といます。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま。 といま	を 表 受業内容 フラッチ1, 3 シャフト 、 2 (ボール	・ナット型を	:除〈)		N o . 1
三級自	信動車 標準時限 4 3 1 2 2 2 2 2	 ●授業項目(■授業項目(●授業項目(前半) 動 表置 後半) トプ デアスス ホブ で アスス ホブ	SE 3 級, 授 力伝達装 ランス ファ、 ランス ファ、 ファレンサス ファレン サス テァリング タイ レーキ 1、	テキスト, 他 業計画 招 るシ1、2、 LSD ト、ドライブシャル ペンション1 電 1、2 電 1、2 で 1、2 2、3	を表 受業内容 フラッチ1, 3 シャフト 、2 (ボール ール・ナッ	・ナット型を	:除<)		N o . 1
三級自	信動車 標準時限 4 3 1 2 2 2 2 2 2	●授業項目(II 動力伝達) 1 概要/2 和 ●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(前半) 動	SE 3 級, 授 授 対	テキスト, 他 業計画 扱 る 導入 グ も	き 表 受業内容 フラッチ1, 3 シャフト 、2 (ボール ール・ナッ	・ナット型を	:除〈)		N o . 1
三級自	標準時限4312222231	●授業項目(II 動力伝達) 1 概要/2 和 ●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(●授業項目(前 表	SE 3 級 ,	テキスト, 他 業計画 扱 る 導入 グ も	き 表 受業内容 フラッチ1, 3 、2 (ボ・ナッ 二輪) i)	・ナット型を	·除<)		N o . 1

		学科					専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車工学	小教科目	シャシ	構造	対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	前期
			-	授業	計画 表				N o . 2
実務経験	標準時限				授業内容	(項目)			
	1	●授業項目(復	後半) 二	輪ステアリング					
	1	●授業項目(復	後半) V	マチック単体(こ	二輪)				
	1	●授業項目(前	前半)電	気導入 I					
	1	●授業項目(前	前半)電	気導入Ⅱ					
	2	●授業項目(前	前半) 基	礎理論Ⅰ、Ⅱ	(電気回路の	計算)			
	2	●授業項目(前	前半) 基	礎理論Ⅲ、Ⅳ	(電流と電圧,	抵抗の記	計測)		
	2	●授業項目(復	後半) 灯	火装置 I					
	2	●授業項目(復	後半) 灯	火装置Ⅱ					

		学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教科		力車整備	科目	パワ	ノーユニット書	を備		NI SOUN	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
教科担当		及整偏士)	加賀美 值			上博・	届汨	篤史		-	
32113	(一系	<u> 及整備十)</u>	大塚 光き	・春原 雄	_						
実務経験教員	- 員授業	非該当	総時限	34時限	授業方 法	講	義	評価方法	単元·期末試験		

〔授業概要·目的〕

*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- *二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- *四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

〔授業の到達目標〕

- ① 前期学習内容を再確認しながら基本的な点検、測定、良否判定、調整方法を習得させる。
- ② 電子制御燃料噴射装置の基本的な構造、機能を理解する。
- ③ 排気ガス対策の基本的な構造、機能を理解する。
- ④ 基礎的な原理・法則、自動車の諸元に関わる計算方法を理解する。

〔学習評価の基準〕

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

〔使用教科書·教材等〕

*『基礎自動車工学』『三級自動車整備士(総合)』

: 日本自動車整備振興会連合会『電装品構造』『内燃機関、燃料・油脂』: 全国自動車大学校・整備専門学校協会

			授業計画表	N o . 1
実務経験	標準時限		授業内容(項目)	
	2	前ローテ	・前期-後半の学科内容を復習	
	2	燃焼・排出ガス	・燃焼に必要な空気量/熱効率/熱の移動/燃焼の状態/排出ガス	
	2	ジーゼル・	・内燃機関の分類(作動方式による分類、燃焼方式による分類、着火又は点火力	式による、
		エンジン	燃料の種類及び供給方式による分類)	
			ジーゼル・エンジン(概要、作動、燃焼、排出ガス)	
	2		・エンジン本体(構造・機能)/コモンレール式高圧燃料噴射装置	
	2	始動装置	リダクション式・整備	
	1	充電装置	充電制御 1	
	1	充電装置	充電制御 2	
	2	バッテリ	充電と異常検知/充電方法	
	1	電子制御装置	概要·構造/機能	
	1	電子制御装置	吸気系統/燃料系統	
	1	電子制御装置	点火/制御系統	
	2	復習	これまでの練習問題	

大教	科目	学科	小教科	パワーユニット整備	対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
八弘	лтш	自動車整備	目	ハン ユーハ 正 Jii	733(NX	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
				授 業 計 画 表				N o . 2
実務経験	標準時限			授業内容	(項目)			
	1	復習	前半振り	亙り				
	1	潤滑·冷却	整備					
		装置整備						
	1	エンジン本体	シリンダ・ヘ	ッド、シリンダ及びシリンダ・ブロッ	ク			
		整備1						
	1	エンジン本体	ピストン、ヒ	ピストン・ピン、ピストン・リング、コ	ンロッド、コ	ンロッド・ベアリング		
		整備2						
	1	エンジン本体	クランク・シ	ヤフト				
		整備3						
	1	エンジン本体	クランク・シ	ヤフト、ジャーナル・ベアリング、フ	ライホイー	ル、リング・ギヤ		
		整備4						
	1	エンジンの計算	トルク、平	均ピストン速度、排気量、圧縮	比			
	1	総合復習	3級エンシ	ジン領域復習				
	1	復習	前半振り	亙り				
	1	点火装置1	復習:自	己誘導作用、相互誘導作用、	イグナイタ	、回転センサ		
	1	点火装置 2	復習: イタ	ヴニッション・コイル、スパ <i>ー</i> クプラク	Ĵ			
	1	二輪車電気装置	充電装置	、バッテリ				
	1	二輪車電気装置	点火装置	、始動装置				
	2	復習	練習問題					

				1			1	<u> </u>		
+/-	·TN	学科	TN I		> . > ±b/#		11 <i>4</i> 7.60	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備	科目		シャシ整備		対象級	リーにスエンシーパ子科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
教科	担当	(二級整備士) (一級整備士)	1 15 -515		・日居 史也	3	-	-	-	
実務網	圣験教員				授業方法	講義	評価方法	単元·期末試験		
〔授業	概要・	 目的〕			<u> </u>		<u> </u>	I		
二輪刀	ひ四点	輪自動車のシャ	シ系各装	置について、	基本構造の	の復習と夏		 度の向上を目的とする	 3	
〔授業	の到達									
			の各装置	について. 基	本構造の迅	単解度を	上げると共に			
		検,調整,測: 検								
		じ, 過走, <u>例</u> 				v≘⊐ 1 ⊞≡4	ない 羽 伊			
			快 (12万	月 点 快) 及	.0、記述得0	が記入安 つ	映の首待			
)基準〕								
								・1 」の 5 段階で表わ		
5:	特に成	績優秀なもの 4	1:成績良	そのもの 3 : /	成績普通の	もの 2	:成績やや	劣るもの 1:成績特(こ劣り、不合	格のもの
各証	は しゅうしゅう はいしゅう はい	数の評価は 5	: 90 ~	100点 4:	75 ~ 89	点 3:	60 ~ 74	点		
								評価は試験規程に。		
レボ る)	一トの語	平価は 5:非	常に優れ	(いる 4:	優れている	3:晋	通 2	: やや劣る 1 : 劣る	5(再提出	の必要があ
	教科	書・教材等〕								
三級目	自動車	整備士(総合),電装	品構造,三	級二輪自	動車,H	MSE3級,	 , テキスト, 他		
					業計画	表				N o . 1
実務経験	標準時限					授業内容	「項目)			
	2	●授業項目	(前半)	走行性能由	 h線					
	2	●授業項目((前半)	クラッチ整備	 法					
	1	 ●授業項目(安全装置						
	2	●授業項目 (トルク・コンバ	` 一 夕					
	2	●授業項目(A T						
	1	●授業項目(動力伝達装	罢敕冼辻					
		●授業項目(アクスル・サス						
	1									
	1	●授業項目(タイヤ・ホイー 		2 2	4			
	4	●授業項目(ホイール・アラ		, 2、3	. 4			
	2	●授業項目(ブレーキ整備						
	2	●授業項目 (●授業項目		制動倍力装	: 追					
	1	● 授業項目 (定期点検の						
	_	●授業項目(基礎理論(
	2	●投業項目 (●授業項目 (を促せ論 (半導体	15日/					
	1	●授業項目(、削牛)	灯火装置						

	-	学科	1 44 51 -					115.5	専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車工学	小教科目		シャ	シ整体	闸	対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	後期
	•		-	授	業	計	画 表	-	•	•	N o . 2
実務網	標準時限						授業内	容(項目)			
	2	●授業項目(前	前半) 計	器1、2							
	2	●授業項目(前	前半) ワ	イパ1、2							
	2	●授業項目(復	後半) エ	アコン							
	2	●授業項目(復	後半) パ	ーツ・カタロ	ヷ						

		学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備	科目	_	二輪車整備	Ħ		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
教科:	担当	(二級整備士) 中村	加賀美 直 <i>。</i> 泰史・中村			₹•福沿	1 篤	史	<u> </u>		
実務組	Z験教員		総時限		授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕									
二輪自	動車	の基本構造・機能	能を理解し	、安全で研	建実な点検	·整值	崩がで	きる技術と	知識を習得させる		
整備士	ととして	の責任感や法令	遵守の意	識を育てる	ことを目的	とする)				
〔授業	の到達	目標〕									
	* :	基本構造と名称	の習得確	認							
	* -	各部品の役割と	機能の習	得確認							
	* 1	ンダ2輪サービ	スエンジニ	アHMS	Eの基礎	習得	確認	<i>y</i>			
〔学習	評価の)基準〕									
各試験	負点数	の基準、レポート	評価及授	業の取り組	しみを総合し	ノて、「	5 ·	4 · 3 · 2 ·	1」の5段階で表わ	す。	
5:	特に成	績優秀なもの 4	: 成績良の	もの 3:1	成績普通の	もの	2 :	成績やや多	劣るもの 1:成績特(こ劣り、不合	格のもの
各試	験点数	数の評価は 5:	90 ~10	0点 4:	75 ~ 89	点	3:	60 ~ 74	点		
		6	0 点未満	の場合は	再試験を行	。 う。 う。	当、 再	試験後の	評価は試験規程によ	る。	
〔使用	教科書	・教材等〕									
三級自	動車	整備士(総合)	、ホンダH	MSE3	級テキスト	(<u></u> i	輪)	、電卓			
											N o . 1
実務経験	標準時限					授業	内容	(項目)			
	1	二輪PU 1	二輪復習	ボルト・ナ	ーット、ワッシ	ヤ					
	1	二輪PU 2	ピストン、ヒ	^ピ ストン・ピ	ン及びピス	トン・リ	ルグ、	クランク・ミ	シャフト、バルブ機構		
	1	二輪PU3	冷却装置	構造機能	能						
	1	二輪PU 4	始動装置	概要、整	隆備方法/点	生人点	置、	整備方法	、点火順序		
	1	二輪PU 5	燃料及び	潤滑剤 名	5作用、二	輪車	用工	ンジン・オイ	ルの特徴		
	1	二輪シャシ 1	復習 動力	力伝達装記	置						
	1	二輪シャシ2	アクスル及	びサスペン	ション・ステ	アリン	グ装i	 置			
	1	二輪シャシ3	ホイール及	びタイヤ、	ホイール・ア	 'ライメ	シト				
	1	二輪シャシ4	プレーキ装	置、フレー	ム及びボデ	<u>-</u>	ブレー	+の点検			

_L±/-	₩₽	学科	小教科	— ± <u>~</u> =	夕岸		计色红	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
大教	竹目	自動車工学	目	二輪車割	全1/用			ー級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
				授 業 計	画	表				N o . 2
実務網	標準時限				抒	受業内容	(項目)			
	1	二輪シャシ 5	シャシ電気	装置						
			灯火装置	計器、ホーン						
	1	二輪総合	総合復習							
			理解度確	記						

			学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科		」車整備に する法規	科目	1	自動車法規	₹		対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・	開講期	後期
教科	担当	(<u> </u>	<u> </u>				字・福泊	篤	Į.	研究開発学科 1年		
実務網	圣験教員	授業	非該当	泰史·中村 総時限	<u>省思·日尼</u> 4時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・	目的〕]									
自動車	巨整備:	±とし ⁻	て必要な「道	直路運送車	両法」の基	本的な法を	令知識	を身	łにつけ、			
法令	こ則った	適正	 な整備・点	 検業務を行	 すえる基礎	を養う。						
〔授業	の到達	目標)									
自動車	車整備	±とし	て、法律を	理解して「し	してはいけ	ないこと」「マ	するべき	きこと	」を判断で	きる		
点検・	整備に	関す	る法定点検	€・記録簿の)保存など	を理解し、	実務に	ごどう	関わるかを	説明できる。		
保安基	基準に	ついて	、主要な項	[目(灯火	類、ブレー	キ、タイヤな	だ) (ざ	こつし	て説明で	≛ る。		
〔学習	評価の)基準)									
評価な	¥U											
〔使用	教科	書・教	材等〕									
図解	3級法	令(公	:論社)									
												N o . 1
実務経験	標準時限						授業区	内容	(項目)			
	4	● 実	『習中に習っ	った、道路道	重送車両流	去の復習						
		• 1	章 道路運	送車両法	関係							
		• 2	章 道路運	送車両の	保安基準	関係						
		● 理	解度確認									

		実習	小教科					専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整備作業	目		整備作業		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	(二級整備士) 中村			そ 和美・松			竹村 敬一郎		
実務約	圣験教員		総時限	10時限	授業方 法	講義	評価方法			
〔授業	概要・	目的〕								
実習し	パート	の作成								
E機器	引二輪	車 ·ゴ	[具の名前	— を覚えて使	 い方を理	解・二軸	角自動車の)理解		
C工具	 導入_			扱うという	意識を持た	こせる・整	備作業を安	安全にのルールを理解	!	
〔授業	の到達	目標〕								
・実習	レポート	が作成できる								
・トラス	ター内の	D工具チェックができ	:る							
・車両	チェック、	CSキットの脱着が	—— 確実に行え	 る						
・車両	のジャッ	キアップ、ダウン時に	安全作業加	が確実に行え	える					
 L										
〔学習	評価の)基準〕								
	評価な	ĵU								
〔使用	教科書	書·教材等〕								
・レポ-	- 卜作5	戏(ipad)								
				授	業計画	画表				N o . 1
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)			
	1	実習レポートの	目的/評価	ポイント説	明/注意	事項				
	1	・実物の見学/レ	ポート作成	、例題に。	はる演習					
	1	・実習説明、工具	具説明、ト	ラスターエ	具チェック					
	1	・工具(トルクレ	ンチ)の使	い方説明	、測定作詞	業ノギスの係	更い方説明	1		
	1	・二輪自動車に	触れる、ス-	-パーCUE	3の歴史					
		・部品(キャリア))の脱着作	下業・ノギス	《測定作業	É				
		•道路運送車両	法の保安基	基準につい	て説明					
	1	・日常点検につい	ハて説明、F	3常点検動	動画					
	1	・実習場使用の	注意事項							
	1							キアップ時の注意事項	•	
	1	・十字レンチ使用		*						
	1	・タイヤ残量測定	<u>:/</u> タイヤ取ん	付時の注意	急点共有/ ————	トルクレンチ	· 説明、使.	用方法 ——————		

	-	実習							専門課程	作成月日	25/04/01
教科	自動車整備作 業		科目	パワーユニット構造			NI N	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期	
教科担当		,	加賀美 追大塚 光善			上博·祁	虽汨	馬史			
実務経験教員	` ''	非該当	総時限	88時限	授業方 法	演	習	評価方法	単元·期末試験	レポート評価	
4 1 -4 · · · · · ·											

〔授業概要·目的〕

*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- *二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- *四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

〔授業の到達目標〕

- ① 整備士としての、心構え、基礎知識及び基本作業が実践できること。
- ② 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。

〔学習評価の基準〕

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レホートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 連 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要かあ

〔使用教科書·教材等〕

*『基礎自動車工学』『三級自動車整備士(総合)』: 日本自動車整備振興会連合会

『電装品構造』: 全国自動車大学校・整備専門学校協会、『エンジン構造電装テキスト』『実習用テキスト』

			授 業 計 画 表	N o . 1
実務経験	標準時限		授業内容(項目)	
	8	GX120	(前半)	
		分解・組立	・4サイクル・ガソリン・エンジン(OHV型)の基本構造の理解	
			・4サイクル・ガソリン・エンジンの行程の理解	
			・部品名称と機能の理解	
			・分解・組立の作業技術の習得	
	4	二輪4サイクル	(前半)	
		エンジンの構造	・4サイクル・ガソリン・エンジン(OHC型)の行程、部品名称、役割の理解	
		C50シリンダ	・OHC型空冷単気筒ガソリン・エンジンの分解・組立の習得	
		分解組立		
	8	R20Aシリンダ・	(前半)	
		ヘッド分解・	・4気筒の行程関連を理解	
		組立	・タイミング・チェーンの脱着技術の習得	
			・シリンダ・ヘッドの構造・機能を理解	
			・分解・作業の技術を習得	

実習 大教科目 自動車整備作			小教科	10°	+1 <i>4</i> -707	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01			
大教	科目	目	目	パワーユニット構造	対象級	一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	前期			
				授業計画表		-	-	N o . 2			
実務経験	標準時限			授業内容	(項目)						
	2	電装基礎	(前半)								
			・アナログェ	式サーキット・テスタの取り扱いを	習得する						
			・電装の基	基礎的な原理を理解する							
	4	ねじ切	(前半)								
		、ヘリサート	・基礎自動	助車整備作業に用いる主な工具	1						
			・ねじ切り	加工、ヘリサート加工を習得							
	4	電流と磁気	(前半)								
			・電装の基本的な原理を理解								
	4	始動装置	表置 (前半)								
		(単品)	・始動装置	置の回路の構成を理解							
			・スタータ・	モータの作動を理解							
			・直結式ス	スタータ・モータの構成部品を理解	译						
			・直結式ス	スタータ・モータの分解・組立技術	を習得						
	4	始動装置	(前半)								
		(実車)	・バッテリの	点検技術を習得							
			・スタータ・	モータの作動回路、各部の名称	を理解						
			・リダクショ	ン式スタータ・モータ(外接式) 0	分解・組	立技術を習得					
	2	スキルチェック	(前半)								
			・実習授業	業のスキル確認を実施							
	4	D16Aエンジン	(後半)								
		分解·組立	·SOHC型	<u></u> ピガソリン・エンジンのタイミング・ベ	いト脱着	作業の習得					
			·SOHC型	型、DOHC型のバルブ機構の理解	解						
			・4サイクル	・・ガソリン・エンジンの行程管理	と理解						
	16	R20A	(後半)								
		冷却装置・	・シリンダ・	ヘッドの分解・組立の復習							
		潤滑装置	·冷却装置	置の部品名称、構造、機能を理	!解						
			·冷却装置	置の循環経路を理解							
			・潤滑装置	置の部品名称、構造、機能を理	解						
			・潤滑装置	置のオイル循環経路を理解							
			・シリンダ・	ブロックの分解・組立手順を習得]						
	2	行程関連	(後半)								
			·行程関連	重を理解/バルブ・クリアランスの沪	削定技術習	3得/実機エンジンより)点火順序/	が判断			

大教	科目	実習 自動車整備作	小教科	パワーユニット構造	対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
		業	目			一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
				授 業 計 画 表		-		N o . 3
実務経験	標準時限			授業内容	(項目)			
	4	点火装置 2	(後半)					
		(実車)	・回路図と	実車の構造を理解する				
			・基本的な	は点火装置の構造を理解する				
	4	充電装置1	(後半)					
		(単品)	・オルタネー	-タの部品名称、構造、機能を	理解する			
			•交流発生	上の原理を理解する				
	4	充電装置2	(後半)					
		(実車)	・オルタネー	-タ、バッテリ、電気負荷の関係	回路を理解	解する		
			・ジャッキ・	アップ作業の習得				
			・オルタネー	-タベルトの張力測定				
	4	吸排気·燃料	(後半)					
		装置(実車)	・吸排気製	長置の名称、構造、機能を理解	! する			
			・燃料装置	置の名称、構造、機能を理解す	る			
	2	スキルチェック	(後半)					
			・実習授業	美のスキル確認を実施				

							1	Γ	ı ı	
≯ h	· ‡ N	実習	£N □		こより、排生生		计	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
教	[科	自動車整備作 業	科目		シャシ構造		対象級	一級自動車整備学科・	開講期	前期
数 科	担当			中村 智思	・佐滕 和訓	€・松沢 局	志·臼居 및	研究開発学科 1年 2也・竹村 敬一郎		
	3三二 経験教員	(一級整備士) 春 日授業 非該当	総時限	00時間	运举士注	宝羽,宝士	≕/無七:土	実習試験 単元·期末試験		
		71 BX								
\\$m <i>.</i> /	XOM!		合表直に	ノいし、基	本 博 道,"	作业, 機	能,名称(の習得を目的とする。		
〔授業	の到達	[目標] ————————————————————————————————————								
* 基	本構造	と名称の習得 *	▲ 各部品	の役割と樹	機能の習得	* 作動	(動き)と	と動力伝達の習得		
* 電	気の基	礎知識を習得	* サーキ	ットテスタの)構造を理	解し、正し	い取り扱い	の習得		
ж =	輪につ	いては、HMSE-3	級修了に	向けての基	基礎習 ※	整備士と	ノての、心 材	構え,基礎知識,及	び基本作業	Ě
〔学習	評価の)基準〕								
各試		の基準、レポート語	平価及授	業の取り組]みを総合し	Jて、「5·	4 · 3 · 2	・1 」の 5 段階で表わ	す。	
5:	特に成	績優秀なもの 4:	成績良の	もの 3:	成績普通の	もの 2	:成績やや	劣るもの 1:成績特(こ劣り、不合	格のもの
各訂	は験点数	数の評価は 5:	90 ~10	0点 4:	75 ~ 89	9点 3:	60 ~ 74	 点		
		6	0 点未満	の場合は	再試験を行	 「 う。尚、耳	 試験後の	 評価は試験規程に。	 はる。	
_	一下の語	平価は 5:非常	に優れく	かる 4:	優れている	3:普	通 2	: やや劣る 1 : 劣る	(再提出)	の必要があ
<u>る)</u> 〔使用	教科									
			基礎自	動車整備	能企業 雷		HMSF			
			, = ===		業計画		,			N o . 1
実務経験	標準時限			1,X			(頂目)			110.1
X3/JIII.0X		 日常点検+ジャッ	ュキフップ			12*111	(ДД)			
	4		イナップ		1を日					
		トルク・レンチ								
		タイヤ・ゲージ								
		デプス・ゲージ								
		VⅢ – 1 ガレージ	・ジャッキ							
		・日常点検								
	4	タイヤ&ホイール!!	兑着 ————————————————————————————————————							
		・タイヤ・チェンジャ								
		・ホイール・バランサ	t							
	4	乾式単板クラッチ								
		トランスミッ	 ション脱着							
		F R 用トランスミッ	ノション分角	犀∙組立						
	6									
	6 4	ファイナルギヤ及ひ	· ディファレ:	ンシャルとト	ヾライブシャ フ	フト				
		ファイナルギヤ及び 機能, 名科		ンシャルとト	ヾライブシャ フ	가				
			你と種類		ドライブシャ ?	フト 				
		機能,名	称と種類 スクリュ式(の構造,	<u>、ライブシャ</u>	<u> アト</u>				

		実習				専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整備作 業	小教科目	シャシ構造	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
				授 業 計 画 表				No.2
実務経験	標準時限			授業内容	(項目)			
	4	サスペンションとア	'クスル					
		サスペンシ	ョン、アクス	ルの構造理解				
		ストラット型	型(独立懸	聚架)				
	4	ブレーキ装置 1						
		ブレーキ装	置の観察					
		マスタ・シリ	リンダ (単品	3)				
		ディスク式	ブレーキ(フロント)				
	4	ブレーキ装置 2						
		ドラム・ブレ	ノーキ(リヤ	")				
	4	ステアリング操作	機構・ギヤ	機構(ラック・ピニオン型)				
		ステアリング	グ操作機構	±				
			オン型ステ					
		●授業項目(後)		 −ル・ナット単品				
		使用教材ボー	ル・ナット型	ステアリンク単体				
	4	ステアリング・ギヤ	'機構(ボ-	-ル・ナット型)				
		ボールナッ	ト型ステア!	Jング機構				
	2	〔2輪〕ベルト式	無段変速	幾(Vマチック)				
		構造,機	能,名称	,役割				
	4	〔2輪〕フロント・	フォーク					
		フロント・フ	オーク分解	, 組立				
		名称,種	類,特徴	, 各部の役割				
	4	[2輪]湿式多椒	反クラッチ く	Ape>				
		名称,種	類,特徴	, 各部の役割				
			はんだ、配	線				
	4	電気基礎						
			-ドでの結約	訳と測定				
	2	電圧測定1(単						
		プラス制徒						
	2	マイナス制						
	2		(復習) 					
		不具合箇	州の特定					
	4	灯火装置1						
		灯火装置	の配線図、	配線色の解読、スイッチ類の導	弹通点検,	接続		

		実習						専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整備作 業	小教科目		シャシ構	造	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
				授	業計	画 表				N o . 3
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)			
	4	灯火装置 2								
		灯火装置	の実体配約	泉図の解	読					
		テスタによ	る電圧降了	の点検						
		スイッチ類	の導通点標	矣						
		バルブ交換	———— 奐							
	2	灯火装置3(2	2 輪ボード)							
		*回路図	ヒボードの回	路比較						
	2	灯火装置4(2	2 輪実習)							
		*回路図	上実車の回	路比較						
		*テスタに。	よる導通点	検、抵抗	点検					
	2	スキルチェック(シ	シャシ)							
		・実習の総	総合復習							
	2	スキルチェック(官	電装)							
	2	授業項目(前半	半・後半)	計算(シャシ)					
	2	授業項目(前半	⊭∙後半)¦	計算(『	電装)					

	3	 実習							専門課程	作成月日	25/04/01
教科	_	車整備作業	科目	パワ	リーユニット割	Ě備		7.125(1)	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	後期
教科担当		な整備士) な整備士)	加賀美 追大塚 光善			上博·福	届汨			•	
実務経験教員	授業	非該当	総時限	94時限	授業方 法	講	義	評価方法	単元·期末試験	レポート評価	
〔授業概要・	目的〕										
. — (T =b /#	1 = 15 00 /	^ V TEI -"	u /- = U± -	-7 - \	, 1 2	- 477 -	- - 1 -	- =	.» II		2112 0

*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- *二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- *四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

〔授業の到達目標〕

- ① 整備士としての、心構え、基礎知識及び基本作業が実践できること。
- ② 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。

〔学習評価の基準〕

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レホートの評価は 5: 非常に優れている 4: 優れている 3: 普 迪 2: やや劣る 1: 劣る (再提出の必要かあ

る)

〔使用教科書·教材等〕

*『基礎自動車工学』『三級自動車がソリン・エンジン』『三級二輪自動車』『基礎自動車整備作業』: 日本自動車整備振興会連合会、『電装品構造』: 全国自動車大学校・整備専門学校協会、『パワーユニット整備実習テキスト』

			授 業 計 画 表	N o . 1
実務経験	標準時限		授業内容(項目)	
	2	前期エンジン	(前半)	
		復習	・D16AIンジンの復習	
			・R 2 0 Aエンジンの復習	
	2	前期電装	(前半)	
		復習	・点火装置の復習	
			・充電装置の復習	
			・燃料装置の復習	
			・吸排気装置の復習	
			・始動装置の復習	
	4	CB1100	(前半)	
		分解·組立	・二輪車エンジンの主要パーツ、基礎知識	
			・二輪車空冷式エンジン DOHCシリンダ・ヘッド分解・組み立て	
			・自動車の諸元	

実習 大教科目 自動車整備作			小教科	小教科		専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整偏作 業	目	エンジン整備	対象級	一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	後期
	J			授業計画表		1-71/2-01/13/0-3-11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	•	N o . 2
実務経験	標準時限			授業内容	(項目)			
	4	ジーゼル・	(前半)					
		エンジン	汎用ジー	ゼル・エンジンの分解・組立				
		分解·組立						
	4	始動装置	(前半)					
		(単品)	・始動装置					
	4	よいそい サマ	・始動装置	重の整備				
	4	始動装置 	(前半)	. - 1				
		(実車)	・バッテリの・始動装置					
	4	 充電装置	(前半)	ニンボ(ス				
	•	<u>パモなと</u> (単品)		 置の回路と点検				
	8	CB400SF	(前半)					
		 分解·組立	・実動二軸	 倫車整備の事例				
				と と は と は は と は に と は と は と は り と り と り と り と り と り と り と	 却装置)			
	4	 充電装置	(前半)					
		(実車)	・実車上で	この充電装置の測定、点検				
	4	電子制御	(前半)					
		装置(単品)	・エンジン	単体の電子制御装置				
			・排出ガス	浄化装置				
	4	電子制御	(前半)					
		装置(実車)	・実車上の	電子制御装置				
	2	実習電装	(前半)					
		スキルチェック	•後期-前	半の実習授業内容の復習				
	2	エンジン実習	(前半)					
		スキルチェック	•後期-前	半の実習授業内容の復習				
	2	前ローテ	(後半)					
		電装復習	•後期-前	半の実習授業内容の復習				
	2	前ローテ	(後半)					
		エンジン復習	•後期-前	半の実習授業内容の復習				
	8	R20A	(後半)					
		エンジン整備	・エンジンス	本体の整備項目、測定具、測定	三方法及び	が良否判定の習得		
	4	GX120測定	(後半)					
			・エンジンス	本体の整備項目、測定具、測定	三方法及び	が良否判定の習得		

一数	科目	実習 自動車整備作	小教科	エンジン整備	対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
人叙	竹田	日野年登佣作 業	目	エノシノ登開	XISKNX	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
				授 業 計 画 表				N o . 3
実務経験	標準時限			授業内容	(項目)			
	4	E07Z	(後半)					
		分解·組立	・エンジン	単体の電子制御装置類の復習				
			・スロットル	・ポジション・センサの点検				
			-接点式	スロットル・ポジション・センサの担	抵抗測定			
			・3 気筒の	行程関連				
	2	点火装置	(後半)					
		(単品)	・点火装置	置の回路全体を理解する				
	2	点火装置	(後半)					
		(実車)	・実車点り	火装置の整備の習得				
	4	二輪始動装置	(後半)					
			・二輪車の)始動装置の構造、機能を理解	する			
			・二輪車の	分始動装置の整備を習得				
	4	二輪点火装置	(後半)					
			・二輪車の)点火装置の構造、機能を理解	なる これ			
			・二輪車の	う点火装置の整備を習得				
	4	二輪充電装置	(後半)					
			・二輪車の)充電装置の構造、機能を理解	なる これ			
			・二輪車の)充電装置の整備を習得				
			・パーツ・リ	ストの見方				
	4	エンジン	(後半)					
		総合整備	・特定整備		ジ整備の			
	2	実習スキル	(後半)					
		チェック	•後期-後	半の実習授業の復習				
	4	エンジン測定・	(後半)					
		整備	・測定作業	Ě				
			・エンジン記	思整				
			・エンジン糸					
			・ねじ加工					
			・ノロークン	・・ボルト及びねじ切作業				

		実習						専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備作業	科目		シャシ整備		対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・	開講期	後期
教科	担当	(二級整備士) (一級整備士)		中村 智思	・佐滕 和美	€・松沢 高	志·臼居 및	研究開発学科 1年 と也・竹村 敬一郎		
実務総	圣験教員		総時限	94時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験		
〔授業	概要・	目的〕								
二輪及	とび四輔	自動車シャシの各	Y装置につい	て、基本構	造,作動,	機能,名	称の復習と	各装置の整備法の習行	景を目的とす	 る。
〔授業	の到達	 [目標〕								
各装	置の点		定の要領を	習得、定	期点検(12カ月点村	剣)導入,	及び記録簿の記入	要領の習得	
シャシ	電装品	出各装置の機能・	構造・作動	か整備項	目の理解、	電装品の	簡単な点板			
HMS	S E 3 級	 吸資格取得に向け	ての習熟 ※	※整備士と	しての、心構	え、基礎を	識の習熟の	と、応用作業が実践出	来る基礎の習	 3得
〔学習	評価の)基準〕								
各試馬	负点数	の基準、レポート	評価及授	業の取り組]みを総合し	ノて、「5・	4 · 3 · 2 ·	1]の5段階で表わ	す。	
5:	特に成	 績優秀なもの 4	: 成績良の	もの 3:	成績普通の	もの 2 :	成績やや		こ劣り、不合	格のもの
各証	験点数	数の評価は 5 :	: 90 ~10	0点 4:	75 ~ 89	9点 3:0	60 ~ 74	点 点		
								評価は試験規程に。		
レボ· る)	一トの語	平価は 5:非常	引に優れく	ハる 4:	優れている	3:晋	通 2	: やや劣る 1 : 劣る	(再提出)	の必要があ
	教科書	· 教材等〕								
三級目	自動車	整備士(総合)	,電装品	構造, 三	級二輪自	動車,HN	MSE3級,	テキスト, 他		
				授	業計画	画 表				N o . 1
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)			
	4	●授業項目(前	前半) 導	入実習						
		日常点検、オイル	ル交換他							
	4	●授業項目(前	前半) A	T 1						
		オートマティック・	トランスミッシ	ション構造						
	4	●授業項目(前	前半) A	T 2						
		油圧制御	の理解							
	4	●授業項目(前	半) タイヤ	"復習						
		タイヤ・ホイール	整備Ⅱ							
		タイヤの取	ぬり外し、取	り付け手川	頃(前期復	習)				
		タイヤの諸	着元の読み !	取り・サイス	で算出					
		タイヤ・ホー	イールの脱れ	着/ホイー 川	レ・バランス					
		車載工具	とタイヤ・ホ	イールの点	禄・測定					
	_	●授業項目(前	 前半) ブI	レーキ						
	8									
	8	ブレーキ整備 I 、	. II							
	8			/-キ(単	品)	リヤ・ブレ-	- キ単品で	の構造,機能復習		

		実習					専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整備作 業	小教科目	シャシ整	経備 ()	対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	後期
				授 業 計	画 表		19/1/11/11/15 1 17 1 1 7		No.2
実務経験	標準時限				授業内容	(項目)			
	4	●授業項目(復	後半) 制	動倍力装置					
		制動倍力装置棉	構造とPバル	ブ構造					
	4	●授業項目(郤	後半) 制	動倍力装置の点	検				
		制動倍力	装置の機能	能点検					
	8	●授業項目(復	後半) ホ [.]	イール・アライメント	•				
		●授業項目(前	前半)クラ	シッチ単品 2					
		使用教材 エン	ジン、トラン	スミッション単体					
	4	クラッチの作動点	検と整備						
		クラッチ脱	着(前期征	复習)					
	4	●授業項目(前	前半)(二輪)リヤ・サス/	ペンション				
			・ク種類と特						
	4	●授業項目(郤	後半) (二輪)ディスク・フ	レーキ				
			能,整備						
	4			2ヶ月点検(二	論)				
		1 2ヶ月点検(
	4			2ヶ月点検(4章	論)				
		1 2ヶ月定期点							
	4		半)電装	復習実習(PW)				
		復習							
		電圧、電流							
		回路の組							
			インド実習の						
	4	●授業項目(後							
			、トランジス 						
	4		いっとデンサ	7回路 安装置1(ワイ <i>)</i>	l°)				
	4	保安装置1(5			()				
	4	●授業項目(前		がドラ1八) 安装置2 (計	架)				
	4	●授業項目(前		火装置 1 (単) 火装置 1 (単)					
	4	●授業項目(前		火装置 2 (四 火装置 2 (四					
	2	●授業項目(後		火装置 2 (四) 					
	2	●授業項目(後		人表直 3 (2) 					
	2	●授業項目(後		人表直す (慢) フーウインド	= /				
	4	●授業項目(後		フ <u>フィント</u> アコン					
		♥ 1×★***口(1:	×干/						
<u> </u>									

									専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車	車整備作業	科目		二輪車整備	İ	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
****	10.11	春原	雄一(一級日	自動車整備	上)・中村	泰史·関根	健·臼居 史	ででは できゅう とも とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅう とうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう		-	
教科		加賀美	直人・細川	l 正博·福泊	i 篤史·谷[コ 啓·大塚	光善(一級	及自動車整備			
実務終	圣験教員	授業	非該当	総時限	9時限	授業方法	実習·実技	評価方法	期末試験		
〔授業	概要・目	目的〕									
ж =	輪車エ	ンジン、	フレーム、電	装の各装置	置について、	基本構造と	:整備の理角	解度試験			
〔授業(の到達	 目標〕									
			の習得確認	刃							
* 各	部品0)役割と	機能の習得]確認							
* ホ	ンダ2輌	ーーー ーピーピー	スエンジニア	HMS E Ø)基礎習得	確認					
〔学習	評価の	基準〕									
各試駁	(点数の)基準、	レポート評化	面及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4 · 3 ·	2・1 」の 5	5段階で表わす。		
5:	特に成	績優秀	なもの 4	: 成績良の	もの 3:/	成績普通の	もの 2	成績やや	劣るもの 1:成績特(こ劣り、不合	格のもの
各試	験点数	の評価	iは 5:90	0~100点	4:75	~ 89点 :	3:60~	74点			
			6 0	点未満の場	合は再試	験を行う。片	が、再試験後	後の評価は	試験規程による。		
〔使用	教科書	・教材	等〕								
3級二	輪自重	が車、オ	マンダHMS	E3級テキ	スト(二輪)、電卓					
											N o . 1
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)			
	8		受業全般の終								
	1	二輪招	受業全般復	習、ホンダ	2輪サービ	スエンジニア	HMS E Ø)復習 			

									専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	一般	科目		安全運転学			XIIIX	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	通期
教科	担当	(二級整備士) 中村							竹村 敬一郎		
実務組	圣験教員		総時限		授業方法			平価方法			
〔授業	概要・	目的〕									
・自動	車業界	アの一員であること	とを自覚し、	規律の大	切さと他人	との協	調を	養う。			
・安全	運転の	思想『人間尊重	』を学ぶ。								
〔授業	の到達	目標〕									
① 妄	全運轉	伝を中心に実施す	するが、整備	講時の安全	こに対する耳	収り組み	まで	広げて理	解させる		
これ	ารเร	り、交通社会にお	いて安全	運転の実置	浅のみなら	ず、					
職	場(具	体的には整備作	■業)での <u>'</u>	安全作業的	能力を養う	0					
〔学習	評価の)基準〕									
評価な	ĵU										
〔使用	教科書	書・教材等〕									
HONI	DA危险	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	グ(KYT)								
セーフ	ティ・ラ	イディング、セーフ	ティー・ドライ	イビング							
実地記	∥練、柞	ー ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	-タースクー	ル							
				授	業計画	表					N o . 1
実務経験	標準時限					授業内	容((項目)			
	8	①四輪安全運轉	広講習								
		桶川レインボーモ	ータースク・	-ルにて実	施						
		交通教育センタ-	ーもてぎ								
	4	KYT(危険)	予知トレーニ	ニング) I			•	危険予知	:[]のトレーニング		
		●三つのご	フラグ					グループ(こよる討議/発表		
			・前心配と	後心配							
	2	安全運転学					(1	①Honda	が交通安全に取り組む	理由	
							(2	②これまで(の歴史		
							(3	③いま皆さ	んに求められていること		
							(4	争車両を扱	ひう心構え		
							Œ	5課題			

								専門課程	作成月日	25/04/01
教	科		般科目		客実務		対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	<u>通期</u>
教科	担当	(二級點	隆備士)加賀美 直 <i>。</i> 中村 泰史・中村						-	
実務組	圣験教員	授業	非該当 総時限				評価方法	212 20 20		
〔授業	概要・	目的〕	•	•	•					
* —£	₹生に対	対し働くる	ことの意味を理解さ	せ、サクセスブ	プランに結	び付ける。				
*特(に販社に	こ対し、負	興味をもたせるように	こする。						
〔授業	の到達	目標〕								
① 就	職活動	助時に必	要となるスキルを身	た付けさせる	0					
② 広	く接遇	の基本、	マナーを身に着け、最	最小限のマナ	を身に	つけさせる	0			
3 H	ΙΟΝΕ	D A の企	業活動の理解を通	通じ、接遇の 基	基本を理解	解する。				
4]	ミュニケ	ーション	能力の向上を図る。)						
〔学習	評価の	基準〕								
評価な	¥U									
〔使用	教科書	·教材	 等〕							
専科研	开修新	人サービ	ススタッフの基礎と指							
				授 業	計 画	i 表				N o . 1
実務経験	標準時限				1	₩₩ ₼ ₺				
	1	① F					(項目)		•	
			IONDAの企業活動	助		位美内谷		可を基本として活動し	τ	
		F	IONDAの企業活動 IONDAの基本理念		等・信頼		・企業が何	可を基本として活動し ONDA、HONDA関		
				念(自立・平	等·信頼		・企業が何 いるか、H			
		<u>Σ</u>	IONDAの基本理念	念(自立・平	等·信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解	ONDA、HONDA関		
		2 1	HONDAの基本理念 なび社是・運営方針	念(自立・平	等·信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店の	ONDA、HONDA関 解を深める	連企業	
		2 1 1	HONDAの基本理念 なび社是・運営方針 P業の利益とは	念(自立・平	等·信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店の	ONDA、HONDA関 解を深める O利益とは何か 利益確保のために接	連企業	
		2 1 1	HONDAの基本理念 及び社是・運営方針 P業の利益とは 販売店様の利益	念(自立・平	等·信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店の	ONDA、HONDA関 解を深める O利益とは何か 利益確保のために接	連企業	
	1	② <u>1</u> 則	HONDAの基本理念 及び社是・運営方針 P業の利益とは 販売店様の利益	念(自立・平	等·信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切	ONDA、HONDA関 解を深める O利益とは何か 利益確保のために接	連企業	
	1	2 1 9 7	HONDAの基本理念 及び社是・運営方針 企業の利益とは 販売店様の利益 利益の追求と確保	念(自立・平	等・信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切・自己分析	ONDA、HONDA関 解を深める D利益とは何か 利益確保のために接 Dかを知る	連企業 遇が	
	1	2 1 H	HONDAの基本理念 及び社是・運営方金 企業の利益とは 反売店様の利益 利益の追求と確保 要遇の基本 1	念(自立・平	等・信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切・自己分析就きたい作品	ONDA、HONDA関解を深める D利益とは何か 利益確保のために接 Dかを知る	連企業 遇が 分が	
	1	2 1 H	HONDAの基本理念 及び社是・運営方金 企業の利益とは 販売店様の利益 削益の追求と確保 登遇の基本 1 自己認識の重要性	念(自立・平	等・信頼		・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切・自己分析就きたい付する。Gr.(ONDA、HONDA関解を深める D利益とは何か 利益確保のために接切かを知る frを行い、本当に自分	速企業 選が 分が 試識	
	1	2 1 H	HONDAの基本理念 及び社是・運営方針 企業の利益とは 販売店様の利益 引益の追求と確保 選の基本 1 自己認識の重要性 自分の強み、性格、	念(自立・平十・企業活動			・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切・自己分析就きたい付する。Gr.(ONDA、HONDA関解を深める D利益とは何か 利益確保のために接切かを知る frを行い、本当に自分とままは何かを理解・認	速企業 選が 分が 試識	
	1	2 1 H	HONDAの基本理念 及び社是・運営方針 主業の利益とは 販売店様の利益 利益の追求と確保 登遇の基本 1 自己認識の重要性 自分の強み、性格、 自己紹介と他己紹介	念(自立・平十・企業活動			・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切・自己分析就きたい付する。Gr.(ONDA、HONDA関解を深める D利益とは何か 利益確保のために接切かを知る frを行い、本当に自分とままは何かを理解・認	速企業 選が 分が 試識	
	1	② ① ① 别	HONDAの基本理念 及び社是・運営方針 主業の利益とは 販売店様の利益 利益の追求と確保 登遇の基本 1 自己認識の重要性 自分の強み、性格、 自己紹介と他己紹介	念(自立・平 十・企業活動 タイプを知る 介 ある傾聴のス			・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切・自己分析就きたい付する。Gr.(イクラスメート)	ONDA、HONDA関解を深める D利益とは何か 利益確保のために接切かを知る frを行い、本当に自分とままは何かを理解・認	選が	
		2 1 H	HONDAの基本理念 及び社是・運営方針 企業の利益とは 販売店様の利益 利益の追求と確保 超過の基本 1 自己認識の重要性 自分の強み、性格、 自己紹介と他己紹介 を遇の基本の1つである。	念(自立・平 十・企業活動 タイプを知る 介 ある傾聴のス に価値観			・企業が何いるか、Hを例に理解・販売店のいかに大切・自己分析対きたい付する。Gr.(イクラスメート)・自分がオート	ONDA、HONDA関解を深める D利益とは何か 利益確保のために接切かを知る frを行い、本当に自分と事は何かを理解・認 こなり自分の事を他の トからGr.に紹介する。	連企業 選が 対 認識 か	

				実践自動車整備				専門課程	作成月日	25/04/01		
教	科	一般	科目				対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	<u>通期</u>		
教科	文科担当 (二級整備士)加賀美 直人・関根 健・細川 止博・福泊 篤 中村 泰史・中村 智恵・佐藤 和美・ 松沢 高志・£											
実務経験教員授業 非該当 総時限 12時限 授業方法 講 義 評価方法												
〔授業	授業概要・目的〕											
自動車	自動車整備士の役割、社会的使命とコンプライアンスを理解する											
タイヤ空気充てん作業特別教育の受講												
〔授業の到達目標〕												
●コンプライアンス												
・各ハラスメントを理解してる												
·交通	・交通事故、交通違反がない											
・3級	・3級整備士程度の道路運送車両法を理解している											
● 「夕	「タイヤ空気充てん作業」											
・「タイ	「タイヤ空気充てん作業」の特別教育が終了している											
〔学習	〔学習評価の基準〕											
評価な	評価なし											
〔使用教科書・教材等〕												
ホンダ	ホンダ学園キャンパスガイド、図解3級法令、タイヤ充填テキスト											
実務経験	標準時限	授業内容(項目)										
実務約	標準時限	授業内容(項目)										
	1	2●自動車整備士の使命2_自動車整備士としての心構え										
		学園生活をしていくうえで必要なルールと、基本的な社会人基礎力に必要な内容を理解する										
		服装、身だしなみ、言葉使い										
		時間意識(時間管理、ウォーニングシステム)										
		コンプライアンス理解(法令遵守、学則遵守)										
		3 Sの徹底										
	1	20●個人情報保護法個人情報とは、取扱いルール										
		学則説明_肖像権・著作権・商標権・個人情報										
		SNS モラルとマナー										
		SNS モラルとマナー										
		10●道路交通法 1安全運転・ヒヤリハット										
		安全運転	学(KYT) の中で、	再度指導	· ·						
ı												

研究開発学科 1年	04/01									
1	<u> </u>									
1 15●刑法1_薬物、盗難、間バイト、時事ニュース、留学生犯罪	o.2									
(1) 道路交通に関して極めて好ましくない行為があったとき (2) 麻薬、覚醒剤、賭博などを行い、またはこれら該当物を携帯した (3) 学校教具・機器材または、他人の所有物を横領・窃盗したとき (6) 社会秩序に関し、極めて好ましくない行為があったとき 1 11●道路交通法2_交通違反(違反、速度超過)免停、取消、欠格期間 賞罰規程 別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程□別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
(1) 道路交通に関して極めて好ましくない行為があったとき (2) 麻薬、覚醒剤、賭博などを行い、またはこれら該当物を携帯した (3) 学校教具・機器材または、他人の所有物を横領・窃盗したとき (6) 社会秩序に関し、極めて好ましくない行為があったとき 1 11●道路交通法2_交通違反(違反、速度超過)免停、取消、欠格期間 賞罰規程 別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程に別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
(2) 麻薬、覚醒剤、賭博などを行い、またはこれら該当物を携帯した (3) 学校教具・機器材または、他人の所有物を横領・窃盗したとき (6) 社会秩序に関し、極めて好ましくない行為があったとき 1 11●道路交通法2_交通違反(違反、速度超過)免停、取消、欠格期間										
(3) 学校教具・機器材または、他人の所有物を横領・窃盗したとき (6) 社会秩序に関し、極めて好ましくない行為があったとき 1 11●道路交通法2_交通違反(違反、速度超過)免停、取消、欠格期間 賞罰規程 別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程「別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
(6) 社会秩序に関し、極めて好ましくない行為があったとき 1 11●道路交通法2_交通違反(違反、速度超過)免停、取消、欠格期間 賞罰規程 別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 カル害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程「別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
1 11●道路交通法2_交通違反(違反、速度超過)免停、取消、欠格期間 賞罰規程 別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程に別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
賞罰規程 別表 3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程□別表 3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
賞罰規程 別表 3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程□別表 3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
運転免許の重要性 ※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故										
※本校は、交通機関にたずさわる関係上、特に厳しく処罰する。 死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法 4 _ 交通事故を起こすと 賞罰規程□別表 3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
死亡事故 酒酔い運転 重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起ごすと 賞罰規程□別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
重症事故 速度超過 軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程□別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
軽傷事故 無免許運転 被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程□別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
被害者 違反点数 加害者 その他の違反 人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程□別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
加害者 その他の違反										
人身事故 物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと 賞罰規程□別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
物損事故 1 13●道路交通法4_交通事故を起こすと										
1 13●道路交通法4 _ 交通事故を起こすと 賞罰規程□別表3 交通違反と事故の内容と罰の運用例 二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
賞罰規程□別表 3 交通違反と事故の内容と罰の運用例										
賞罰規程□別表 3 交通違反と事故の内容と罰の運用例										
二輪車乗車中死者の損傷主部位(構成率) 胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
胸部プロテクター着用のお願い 過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
過失割合 「自転車運転者講習」制度について										
「自転車運転者講習」制度について										
1 14●自動車保険_自賠責保険と任意保険とその賠償内容										
1 14●自動車保険自賠責保険と任意保険とその賠償内容										
自転車損害保険等への加入義務について										
高額賠償事例										
本校の学生による事故事例										
過失割合										
「自転車運転者講習」制度について										

大教科目		40	1 44 51 -			専門課程	作成月日	25/04/01												
		一般	小教科目	実践自動車整備	対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 1年	開講期	<u>通期</u>												
		授業計画表																		
実務経験	標準時限	授業内容(項目)																		
	1	9●道路運送車両法 5保安基準・不正改造																		
		通学車両及び寮生車両許可																		
		道路運送車両法の保安基準、近接排気騒音の規制値																		
		近接排気騒音の規制値																		
		装備品について																		
18●ハラスメント1_ハラスメントとは、防止に向けて 会話の中に、セクハラの内容が入っている																				
人が不快と思うことは、行わない																				
	1 1 ● 自動車整備士の使命 1自動車整備士としての社会的使命																			
	夢の実現																			
		資格の重要性について 「ウボトボな供し」の流れば、メエレーは 3 型地域に関して																		
		「自動車整備士」の資格が必要とされる職業に関して 整備士の資格が必要な理由																		
	1	16●刑法 2 _薬物、盗難、闇バイト、時事ニュース、留学生犯罪 薬剤師による、薬物に関する講話																		
	1 19●ハラスメント2パワハラ、セクハラ等																			
ハラスメントについて再徹底 17 ● 刑法 3 _ 薬物、盗難、闇バイト、時事ニュース、留学生犯罪 後期スタート																				
											横期人ダート 刑法について再徹底									
												/IJ/ZAIC > V · C I J IBA/EN								
1 1 ●労働安全衛生規則第36条「特別教育を必要とする業務」「タイヤの空気充てん業務」																				
外部講師による「特別教育 子 空気充てん時における事故防止VTR																				
	1	1 ●労働安全領	衛生規則第	36条「特別教育を必要とす	る業務」	「タイヤの空気充てん美	業務」													
		外部講師による「特別教育}																		

		学科 101			1				専門課程		<i>(</i> c. + 0.0	25/04/01	
教	科	自動車工学		科目	自動車総論Ⅱ				対象級	等「コ誄作」 サービスエンジ	ニア学科・	作成月日	25/04/01
ζ.	•			<u>.</u>				2.2.2.4	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 2年		開講期	前期	
教科		駒崎勝紀・木野内英和・渡部孝昭・塩川楓・河智是明・大石尚輝・浅井直道(一級自動車整備士)											
3 214	前田優佑・成松樹生・小川幸雄・君塚真之佑												
実務経験教員授業 非該当 総時限 17 授業方法 講 義 評価方法 学科試験													
〔授業概要・目的〕													
・二級	・二級自動車整備士(総合)試験の2級、3級に出題される総論・工学の計算問題を解けるようになる。												
〔授業の到達目標〕													
・出題される計算問題(総論・工学)を理解し、問題を解く知識を身につける。													
・計算	問題を	解くた	めの単位・	公式を覚え	え、計算問	題方法を理	里解す	る。					
〔学習	評価の)基準〕]										
・試験	点数の	評価(ま 5:9 0	0 ~100点	^ኢ 4 : 75	5 ~ 89点	3	: 60	~ 74点				
・学科	試験の	点数点	が60点未活	満の場合は	は再試験を	行う。尚、	再試馬	倹後 (の評価は註	(験規程によ	る。		
〔使用教科書·教材等〕													
・計算を解くノウハウ(整研出版社)、パワーポイント資料、プリント資料、i-Pad													
授業計画表									No.1				
						授業	内容	(項目)					
	2 ■自動車総論 I SI単位と用語、荷重の計算 I												
	2												
	2	■自動車総論Ⅲ ギヤ比の計算											
	2	■自動車総論IV 性能曲線の計算II (性能曲線の計算II											
	2		動車総論 \		走行性能の計算								
	2		助車総論V		トルクの計算、排気量関係の計算								
	2		助車総論V										
	2	■自動	助車総論	総復習	STEP 1 からSTEP 7 までの問題を総合復習								
	1	■自動	動車総論語	式験	STEP 1 からSTEP 7 までの理解度を確認する								

		学形	¥ 10	11							専門課程		作成月日	25/04/01	
教	科	 -17-	7 10)1	科目	応用	パワーユニ	ット1		対象級	サービスエンジニア	′学科・	TFDX/7 C	25/04/01	
		自動	車工	学							一級自動車整備研究開発学科 2		開講期	前期	
#h1N	+D 7K	駒崎朋	券紀	・木野	内英和·	渡部孝明	召•塩川榧	・浅	井直	道(一級	自動車整備	士)			
教科	担当	君塚真	真之	佑											
実務網	Z験教員	授業	非訓	亥当	総時限	26	授業方法	講	義	評価方法	期末	卡試験			
〔授業	概要・	目的〕		•								·			
ガソリン	ン・エン	ジンの名	3装置	置(二	級自動車	整備士	(総合) の	エンシ	ごン領	域)の構	造・機能及び電	気装記	置の仕組み	かを理解する。	
〔授業	の到達	目標〕													
・エンシ	ジン(糸	総論、オ	体、	バルブ	機構) の)構造、役	割を理解す	する。							
・各装	置(澗	閏滑、冷	勃、	燃料、	点火、呖	排気)の	構造、役割	割を理	上解す	-る。					
・電気	装置、	電子制	川御の	D役割、	機能を理	里解する。									
	433=元(本の甘洗)														
〔学習	学習評価の基準〕														
・試験	学習評価の基準) 式験点数の評価は 5:90~100点 4:75~ 89点 3:60~ 74点														
・学科	試験0	う点数な) ⁶⁰ ;	点未満	の場合は	再試験を	行う。尚、	再試	験後(の評価は試	ボ験規程による。	0			
・学科	・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。														
	・学科試験の点数が60点〜69点の場合は特別再試験を行う。														
〔使用	教科書	書・教材	等〕												
二級自	動車	整備士	- (総	総合)【	【日本自動	動車整備抗	辰興会連合	会】	、パワ	リーポイント	資料、i-Pad				
						授	業計画	表						No.1	
実務経験	標準時限							授業	内容	(項目)					
	4	応用F	' 1	(学科)) 1	エンジン総	除論、エンジ	ン本化	体、バ	いブ機構の	の構造・役割				
	4	応用F	1	(学科)) 2	潤滑装置	、冷却装置	置の棹	造•	役割					
	4	応用F	1	(学科)) 3	燃料装置	、点火装品	置、叨	排気	装置の構	造·役割				
	4	応用F	1	(学科)) 4	半導体、	バッテリの棒	造·彳	殳割						
	4	応用F	1	(学科)) 5	電子制御	の構造・役	き割・	幾能						
	4	応用F	1	(学科)) 6	始動装置	、充電装置	置の棹	造•	役割					
	2 応用 P 1 (学科) 7 STEP 1 からSTEP 6 までの問題を総合復習														

		学科	101						専門課程	作成月	25/04/01				
教	科			科目	応用	パワーユニ	ット2	対象級	サービスエンジニア学	-					
		日	車工学						一級自動車整備学 研究開発学科 2年		前期				
教科		駒崎朋	券紀・木	野内英和	•渡部孝昭	沼·塩川楓	·浅井直	道(一級	自動車整備士	=)					
		君塚真	草之佑	_	T			ī							
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	20	授業方法	講義	評価方法	期末記	試験					
〔授業	概要・	目的〕													
ガソリン	ン、ジー	ゼル・コ	ンジン及	えびハイブリッ	ド自動車の	の各装置((二級自動	車整備士	(総合))の機	幾能・構造及	び仕組みを理解				
〔授業	の到達	目標〕													
・ガソリ	ン・エン	ノジンの	機能、棉	講造、排気力	ス対策等	の仕組みを	理解する。	•							
・ジー	ヹル・エ	ンジンの)機能、	構造、排気	ガス対策等	の仕組み	を理解する) _o							
・ハイン	ブリッド国	車及び	電気自動	加車の機能、	構造を理	解する。									
〔学習	学習評価の基準) ボ験占数の評価は 5:90~100占 4:75~ 89占 3:60~ 74占														
・試験	武験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点														
・学科	試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。														
・学科	学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。														
	学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。														
〔使用	教科書	i·教材	等〕												
二級目	自動車	整備士	(総合)【日本自	動車整備	振興会連合	合会】、パワ	フーポイント _.	資料、i-Pad						
					授	業計画	表				No.1				
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)			•				
	4	応用P	2 (学	科) 1	予熱装置	量、吸排気制	表置、燃料	装置の機	能·構造						
	4	応用P	2 (学	科) 2	燃料、潤	滑油の機能	能·役割								
	4	応用F	2 (学	科) 3	ガソリンエ	ンジン排気	ガス対策、	ジーゼルエ	ンジン排気ガスタ	対策の機能・	構造・役割				
	4	応用F	2 (学	科) 4	ガソリンエ	ンジン故障	原因探求	、ジーゼル	エンジン故障原因	国探求					
	2	応用P	2 (学	料)5	ハイブリット	ド自動車及	び電気自	動車の機能	能•構造						
2 応用 P 2 (学科) 6 STEP 1 からSTEP 4 までの問題を総合復習															

		学科	¥ 101						専門課程	作成月日	25/04/01				
教	科	自動	車工学	科目		応用シャシ		対象級	サービスエンジニア学科 一級自動車整備学科 研究開発学科 2年		前期				
教科	五年	河智是	是明・大石	□尚輝・浅	井直道	(一級自重	動車整備	士)		-	•				
3 2,1-1	123	前田僧	憂佑・成材	公樹生・小	川 幸雄										
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	26	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試	験					
〔授業	概要・	目的〕													
車両の	保安	基準適	合性や車	両の動力の	云達等(二	二級自動車	整備士	(総合) の	シャシ領域)の構	造、機能、化	作動を理解する。				
〔授業	の到達	目標〕													
·走行	抵抗と	駆動力	、駆動力	と走行性的	能の関係	動力伝達	達装置の概	要、構造	・機能の理解						
・アクス	ハ・サ	スペンシ	含ン、ステ	アリング装置	置、ホイール	レ及びタイヤ	及びホイー	-ル・アライ:	メントの概要、構造	・機能の理解	弹				
·電気	装置、														
・保安	基準证														
〔学習	学習評価の基準) は験点数の評価は、5:90 ~100点、4:75 ~ 89点、3:60 ~ 74点														
・試験	武験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点														
・学科	試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。														
・学科	・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。														
	・子科試験の点数か6U点〜69点の場合は特別冉試験を行つ。 														
〔使用	教科書	書・教材	等〕												
二級自	自動車	整備士	(総合)	【日本自	動車整備排		会】、パワ	ーポイント	 資料、i-Pad						
					授	業計画	i 表				No.1				
実務経験	標準時限					1	授業内容	(項目)			,				
	4	応用((学科)	1	総論、保	安基準適合	h性確保0)点検 I	(12か月点検)						
	4	応用((学科)	2	動力伝達	装置 I(クラッチ・遊	<u></u> た車歯星	;AT)						
	4	応用((学科)	3	動力伝達	装置Ⅱ(CVT·差	動装置・二	· 輪関係)、電気装	表置(多重)	通信)				
	4	応用((学科)	4	アクスル及	びサスペン	ション 、電	気装置(安全装置)						
	4	応用((学科)	5	ホイール及	とびタイヤ									
	4	応用((学科)	6	ステアリング	グ装置、スキ	キャン・ツー	ル、電気装	長置 (計器)						
	2 応用C(学科) 7 STEP1からSTEP6までの問題を総合復習														

	学科 102 専門課程 作成月日 25/04/01														
		学科	102							— — 44 7 1	作成月日	25/04/01			
教	科	自動	車整備	科目	総合	うパワーユニ	ニット	対象級	サービスエンジー級自動車研究開発学	整備学科・	開講期	後期			
教科	担当	駒崎勝	り おいけい おいま おいま おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	内英和·源	部孝昭・	塩川楓・浅	井直道(一級自動	車整備士)	1	<u>-</u>				
7217	123	君塚真	之佑												
実務約	圣験教員	慢授業	非該当	総時限	18	授業方法	講義	評価方法	学科試験	期末試験					
〔授業	概要・	目的〕													
定雷・	自動車	車の整備	開業務及(ゾHonda耳	車の電子制	御装置、	HYBRID3	レステムの格	機能、構造、	、役割を理	里解する。				
〔授業	の到達	[目標]													
で電・	装置0)基本的	りな知識と	電圧点検	要領を理例	解する。									
						基本的な									
・エンジ		ステムの	構造、機能	能、作動を	理解すると	ともに、基準	本点検作	業、自己診	断機能に。	はる点検、	構成部品の	の脱着要領を			
		ノステムの	の構造、機	幾能、作動	を理解する	とともに高い	電圧回路	整備全般(こついての知	記識を身に					
	学羽町体の甘油														
〔学習															
・試験	〔学習評価の基準〕 ・試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点														
・学科	・試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。														
・学科	試験0	D点数加	が60点~6	59点の場合	合は特別科	耳試験を行	う。								
〔使用	教科	書・教材	等〕												
二級国	自動車	整備士	(総合)	【日本自	動車整備技	振興会連 合	合会】、パワ	ノーポイント	資料、i-Pa	ıd					
電気目	自動車	等の整	備業務に	おける特別	教育テキ	スト、HAS	T SE3級	(ハード編))テキスト						
		T			授	業計画	表					No.1			
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)							
	4	総合F	(学科)	1	電気自動	車等の整備	備業務にま	3ける特別	教育						
	4	総合F	(学科)	2	電気装置	の基本、テ	スタの知識	哉、HDSの	知識、電子	<u>-</u> サービスフ	アニュアル				
	4	総合F	(学科)	3	PGM-FI	(センサ、フ	アクチュエー	タ)、VTE	EC、アイドリ	ングストップ	Ĵ				
	4	総合F	(学科)	4	HYBRID	システム(Hondaハ	イブリッドシ	ステムの構造	造・機能・	制御)				
	2	総合F	(学科)	5	STEP 1	からSTEP 4	1までの問題	題を総合復	复習						

学科 102							専門課程	作成月日	25/04/01						
教	枓	自動	車整備	科目	:	総合シャシ		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 2年	開講期	後期				
*****	+□ 1 k	河智是	豊明・大石	尚輝・浅井	‡直道(一	-級自動車	整備士)								
教科		前田優	優佑・成松	樹生・小川	幸雄										
実務網	X験教員	授業	非該当	総時限	18	授業方法	講義	評価方法	学科試験元·期末試	験					
〔授業	概要・	目的〕													
Hond	a車の	ミッション	ン、シャシ装	支置、補器	類の機能、	、構造、作	動を理解す	する 。							
·Hon	da車の	D安全数	長置、基本	は性能を支	援する運転	医支援シス	テムの構成	、機能、(乍動を理解する。						
·Hon	da車の)基本,	点検作業、	、自己診断	f機能によ	る点検、構	成部品の	脱着要領	を身につける。						
·Hon	da車の														
·Hon	da車の	Dシャシ	領域のシス	ステム全般	の構造、機	幾能、作動	を理解する	0							
〔学習	習評価の基準)														
・試験	最点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点														
・学科															
・学科	学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。														
〔使用	教科書	書・教材	 												
二級自	自動車	整備士	(総合)	【日本自動	動車整備拡	辰興会連合	会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pad						
HAST	SE3	級(八	ード編)ラ	テキスト											
					授	業計画	表				No.1				
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)							
	4	総合C	(学)1		4 WDシ	ステム、SRS	Sエアバッグ	システム、	多重通信						
	4	総合C	:(学) 2		CVT, DC	CT、Honda	aスマートキ	ーシステム	Δ						
	2	総合C	:(学) 3		電動パワ-	ーステアリン	グ、VSA、	振動・騒音							
	2	総合C	(学)4		オートエア	コン、電動	サーボブレ-	ーキシステム	ム、EPB						
	1	総合C	:(学) 5		STEP 1 t	からSTEP 4	までの問題	題を総合復	复習						

		学科	斗 102						専門課程		作成月日	25/04/01		
教	科	自動]車整備	科目	ŧ	ビリティ技術	ប៊ី	対象級	サービスエン: 一級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	前期		
粉彩	担当	駒崎原	勝紀・木野	野内英和	•渡部孝昭	召·塩川楓	・河智是	明·大石i	_		一級自動	車整備士)		
3 217	13 <u>2</u> 3	前田伯	優佑・成材	公樹生・リ	川幸雄	・君塚真ぱ	之佑							
実務網	経験教員	慢授業	該当	総時限	6	授業方法	講義	評価方法						
〔授業	概要・	目的〕												
·Hor	idaの耳	なり組ん	でいる活動	動、最新技	術、運転	支援システ	ムなどを理	解する。						
〔授業	の到達	を 目標)												
・運転	支援	ンステム	(Honda	SENSIN	IG)の機能	能、構造、作	乍動を理角	解する。						
·Hor	daで耳	仅り組む	SDV (S	oftware	Defined '	Vehicle)	について理	解する。						
〔学習	*習評価の基準〕													
〔使用	教科書	書・教材	持 〕											
パワー	ポイン	卜資料、	. i-Pad、酉	记布資料										
												T		
	ı	Π			授 	業計画						No.1		
実務経験	標準時限				ı		授業内容							
0	3	M技術	fi C			システム I				İ				
						SENSIN								
0	3	M技術	ϦC			oftware D			の機能・樟	造 ————				
					SDVにつ	ハて考える	(思考授)	業)						
<u> </u>														

		学科	斗 104						専門課程		作成月日	25/04/01			
教	科	白針	車検査	科目	E	自動車検査	Ī	対象級	サービスエンジー級自動車		開講期	前期			
								<u> </u>	研究開発学		1770 173703	נאנים			
教科:	担当					(一級自	動車整備	黄士)							
		前田伯	憂佑・成村	公樹生・기	川 幸雄				1						
	Z験教員		該当	総時限	13	授業方法	講義	評価方法	学科試験	期末試験					
〔授業	概要・	目的〕													
車両の	保安:	基準選	合性、ブレ	ノーキ装置	、電気装置	5等(二級	自動車	整備士(総	合)のシャ	シ領域)	の構造、機	と能、作動を理解			
〔授業	の到達	目標)													
・保安	基準道	適合性	確保の点	剣(24カ 月]点検、検	査関係)	を理解す	პ .							
・ブレー	- ‡装i	置(工	ア・ブレーキ	-、電子制行	卸、補助等	(アイス) の構造	、作動を	里解する。							
	学習評価の基準〕														
〔学習	学習評価の基準)														
・試験	子首評価の基準) 武験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点														
・学科															
・学科	学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。														
	学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。														
〔使用	教科書	를・教材	等〕												
二級自	動車	整備士	(総合)	【日本自	動車整備抵	辰興会連合	会】、パ	フーポイント	資料、i-Pa	d					
HAST	SE 3	級()	(ード編)	テキスト											
					授	業計画	表					No.1			
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)							
	4	■検査	至(学科)	1	保安基準	適合性確	保の点検	፤ 【24力】	月点検)、	先進安全	技術				
	4	■検査	宜(学科)	2	保安基準	適合性確	保の点検	Ⅲ(検査	関係)、警	報装置					
	2	■検査	宜(学科)	3	ブレーキ装	置I(I	ア・ブレー	‡)、製図							
	2	■検査	宜(学科)	4	ブレーキ装	置Ⅱ(電	子制御・	補助)、フ	レーム及びオ	ボデー					
	1	■検査	宜(学科)	5	電気装置	(冷暖房	装置)、	故障原因抗	架求						

		学科 105						専門課程		作成月日	2025/5/15				
教	科	自動車整備に	科目	E	自動車法規	見	対象級	サービスエン							
		関する法規						一級目動車 研究開発学	整備学科・ 科 2年	開講期	前期				
教科		駒崎勝紀・木野	内英和・源	部孝昭•	塩川楓・河	[智是明・	大石尚輝・	浅井直道	(一級自	動車整備	L)				
3217.		前田優佑·成松	樹生・小川	幸雄・君	塚真之佑										
実務網	Z験教員	授業 非該当	総時限	11	授業方法	講義	評価方法	学科試験	期末試験						
〔授業	概要・	目的〕													
・自動	車整備	請士に必要な法規	見(道路運	送車両法	、道路運	送車両法	の保安基準	(単) を理解	し、実践で	きるようにた	なる 。				
〔授業	の到達	目標〕													
・自動	車整備	前士として業務を	実施する上	で関係する	る法令を理	解する。									
・教科	書の内]容、用語などを写	『車写真 及	ひ過去問	をもとに理	解する。									
	習評価の基準)														
〔学習	習評価の基準〕														
・試験	験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点														
・学科	式験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。														
	学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。														
〔使用	教科書	 引·教材等〕													
法令教		 \論出版】、パワ−	 -ポイント資	———— 科、i-Pac	 ქ										
					業計画	表					No.1				
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)								
	1	法規 I		1. 自動	車の種類	2. 登	录制度								
	1	法規Ⅱ		3. 保安	基準 4.	点検整	備制度								
	1	法規Ⅲ		5. 検査	制度 6.	認証制	芰								
	1	法規Ⅳ		7. 指定	制度 8.	その他									
	1	法規V		『』車両	法』の総合	復習									
	1	法規VI		1. 自動	車の構造	2. 自	動車の装置		及びシャシ	関係)					
	1	法規VII		3. 自動	車の装置	(車体関	係) 4.	自動車の	装置(公	害防止関係	(系)				
	1 法規Ⅷ 5. 自動車の装置(灯火関係) 6. 自動車の装置(運転操作)														
	1 法規IX 7. 緊急自動車等														
	1	 法規 X		『Ⅱ 保安	基準』の総	合復習									
	1	自動車法規 試	験	STEP 1 t	からSTEP 1	しまでの	理解度を研	在認する							

±4-	.11			170	÷m	non an	4	1100	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01			
叙	科	自動	車整備作 業	科目	心用	パワーユニ	ו אש	対象級	一級自動車整備学科・研究開発学科 2年	開講期	前期			
老小手公	担当	駒崎	勝紀・木野	野内英和·	渡部孝明	召·塩川桐	・浅井直	道(一級	2自動車整備士)	•				
3 3.14	担当	君塚	真之佑											
実務網	怪験教員	授業	該当	総時限	26	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験元·期末詞	ポート評価	Ti			
〔授業	概要・	目的〕												
・エンジ	ジン領域	或の各	装置につい	て、構造、	機能、整体	備作業につ	いて実習を	を通じて理	解度を高める。					
〔授業	の到達	目標)												
·HDS	5(外部	部診断	機)の操	作方法を理	里解し、操 体	乍ができる。	ようになる。							
・オシロ	コスコー	プの操	作方法を	理解し、セ	ンサ、アクチ	ユエータの	波形を読め	うるようにな 	る。					
・直列	直列3気筒(E07)のタイミングベルトの脱着作業が指定時間内に実施できるようになる。 電気装置、点火装置の電気の流れ、電圧の有無を推測し測定に相違が無いようになる。													
・電気	装置、	点火装	長置の電気	で流れ、電	配圧の有無	まを推測し	則定に相違	をが無いよう	うになる。 					
	学習評価の基準)													
	学習評価の基準〕													
・試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。														
							3:普 i		やや劣る 1:劣る	(再提出の)必要がある)			
・試験	点数0)評価					3:60 /							
			60点未活	5の場合は	再試験を	行う。尚、Ā	再試験後の)評価は試	、験規程による。 					
<i></i>			1445											
		書・教材			E1 → ±6 /++1		^ ^ 1 °		Wild I B I F 7					
		整備工	- (総合)	【日本目	即甲羟佣法	反興会 建 色	ゴ会』、ハリ	ノーホイント	資料、i-Pad、電子 ⁻	ヒンユールン	<u>'-</u>			
					+177	₩ =1 =					N. 4			
±754∇FA	標準時限				拉	業計画	型 衣 	(西口)			No.1			
关拐程級	^{振车吋政}	宇広り	P 1 – 1		道入(宝		12条円台 進め方、注							
0	4		21-2				5) の機能							
0			2 1 – 3						ュ 	タのま田紹				
0			21-4						電気回路の電圧測					
0			 P 1 – 5						電気回路の電圧測が					
0			21-6						电视回晶》电压例 					
0	2		21-7											
	2 実応 P 1 - 7 STEP 1 からSTEP 6 までの授業内容を総合復習													

					シ	・ラバス							
		実習 203						専門課程		作成月日	25/04/01		
教	科	自動車整備作 業	科目	応用	パワーユニ	ット2	対象級	サービスエン 一級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	前期		
教科	担当	駒崎勝紀·木野 君塚真之佑	予内英和	·渡部孝昭	召∙塩川楓	虱·浅井直	道(一約	及自動車	後備士)	•			
実務網	圣験教員	授業 該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	/ポート評価	i		
〔授業	概要・	目的〕											
・エンジン領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。													
〔授業の到達目標〕													
・ジーゼル・エンジンの機能、構造を理解し、分解組付、測定作業より理解度を高める。													
・ジーセル・エンジンの機能、構造を埋解し、分解組付、測定作業より埋解度を高める。 ・吸排気装置(ターボ・チャージャ)の機能、構造を理解し、点検整備、走行テストより理解度を高める。													
・吸排気装置(ターボ・チャージャ)の機能、構造を理解し、点検整備、走行テストより理解度を高める。 ・充電装置の機能、構造、作動を理解し、点検、測定作業より理解度を深める。													
・尤電表直の機能、構造、作動を理解し、点検、測定作業より理解及を深める。 ・点検項目の内容、点検方法を理解し、実施できるようになる。													
〔学習	評価の)基準〕											
・試験	点数の)基準、レポート評	F 価及授業	美の取り組み	みを総合し	て、「5・4	.3.2.	1」の5段	階で表わる	t.			
・レポ-	-トの評	平価:5:非常に	こ優れてい	る 4:優	れている	3:普 泊	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある)		
・試験	点数の)評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点						
		60点未清	島の場合は	再試験を	行う。尚、	再試験後の)評価は試	(験規程に	よる。				
〔使用	教科	書・教材等〕											
二級目	自動車	整備士(総合)	【日本自動	動車整備技	辰興会連a	合会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pa	ad、電子モ	∃ジュールシ·			
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)						
子務経	標準時限	項目					授業内	容(項目)				
0	4	実応 P 2 – 1		GD320	(ジーゼル)	汎用機) 0)分解組作	け及び測	定作業				
0	4	実応 P 2 – 2		始動装置	(車両)の	機能・構造	及び電気	回路の測定	定作業				
0	4	実応 Р 2 – 3 ターボチャージャの機能・構造の理解、走行テストによるデータ測定											
0	4	実応 P 2 – 4		サプライポ	ンプ(単位	本部品)の	分解組み	立て、ジー	ゼルの構造	・機能の確	認		
0	4	実応 P 2 – 5		充電装置	(車両)の	機能・構造	及び電気	回路の測定	定作業				

KD1(エンジン単体)の分解組み立て及び測定作業

点検整備①(受付、点検作業、整備説明)

STEP 1 からSTEP 7 までの授業内容を総合復習

実応 P 2 – 6

実応 P 2 – 7

実応 P 2 – 8

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

4

4

		実習 203						専門課程		作成月日	25/04/01			
教	科	自動車整備作	科目	J	応用シャシ	,	対象級	サービスエンジー級自動車		開講期	前期			
		業		- 1 1 - 1 1 4	/ /n +=	∡ 1 → ± <i>6 /</i> ++	1.	研究開発学		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	133743			
教科		河智是明·大石			(一級目	動卑整偏	士)							
		前田優佑・成材												
	圣験教員 		総時限	26	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	ノポート評価	i .			
	概要・													
・シャシ	/領域(の各装置について	、構造、機	能、整備	作業につい	て実習を迫	通じて埋解	度を高める	00					
<1=.W														
		目標〕												
		系備手順、点検方 												
)構造、機能、作												
・日産	4 AT	の機能、構造、作	動を理解	し、分解組	付、部品を	を確認する	ことで理解	度を高める	00					
	習評価の基準 〕													
	10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 ·													
	験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。													
	レポートの評価: 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)													
・試験	点数の)評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60 ^	~ 74点							
	試験点数の評価:5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
〔使用	教科書	・教材等〕												
二級自	動車	整備士(総合)	【日本自動	動車整備排	長興会連合	合会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pa	id、電子モ	ジュールシ				
				授	業計画	表					No.1			
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)							
0	4	実応C1		導入(実	習授業の	進め方、注	意点等を	理解する)						
\circ	4	実応 C 2		シャシ基礎	整備①	(基本的な	作業所作	、及び機器	の使用を	理解し習得	引する)			
0	4	実応C3		12か月点	(検①									
				(12ヶ月	点検整備	項目の内容	客及び点検)	常点検含	む)の理解	解と実践)			
0	4	実応 C 4		灯火&保	安装置(灯火装置	の構造・機	能の理解)						
0	4	実応 C 5		日産 4 A	T① (プ	ラネタリギヤ	の基本作	動及び各音	の名称と	働きの理解	≩)			
0	4	実応C6		日産 4 A	T ②									
	(各レンジの作動と働き(1~4速、1速固定、2速固定、Rレンジ)の理解)													
0	2	実応 C 7		STEP 1 t	からSTEP 6	5までの授美	業内容を終	総合復習						

		実習	203						専門課程		作成月日	25/04/01			
教	科		整備作	科目	総合	うパワーユニ	ニット	対象級	サービスエンジー級白動車	ジニア学科・ 「整備学科・	開講期	後期			
			業						研究開発学	科 2年	(177,640 (175)	· IXAJ			
教科:		駒崎勝	続・木里	野内英和·	·渡部孝明	召·塩川榧	·浅井直	道(一級	と 自動車 整	修備士)					
		君塚真	之佑			1					T				
実務組	Z験教員	授業	該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	/ポート評価	Ī			
〔授業	概要・	目的〕													
・エンシ	ジ領域	域の各装	置につい	て、構造、	機能、整個	備作業につ	いて実習を	通じて理解	解度を高め	る。					
〔授業	の到達	目標〕													
・電気	安全の	一般的	は知識と	電気自動	車等の整備	備作業を理	異解し、実施	もできるよう	うになる。						
各シア	ステムま	麦置の不	具合に	こいて総合	的な判断。	り故障原	因を探求す	ることがで	きる。						
・点検	項目の	內容、原	点検方法	を理解し、	実施でき	るようになる	ა								
〔学習	評価の)基準〕													
・試験	点数の	の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。													
・レポー	- トの評														
・試験	ポートの評価:5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある) は は験点数の評価:5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点														
		(60点未清	島の場合は	再試験を	行う。尚、蔣	再試験後の	評価は試	験規程に	よる。					
〔使用	教科書	·教材	等〕												
二級自	動車	整備士	(総合)	【日本自	動車整備技	長興会連合		ーポイント	資料、i-Pa	ad、電子ŧ	ジュールシ				
					授	業計画	表					No.1			
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)							
0	4	実総 P	1		導入(実	習授業の	進め方、注	意点、車	両の取扱い	等を再確	認する)				
0	4	実総 P	2		救急法の	習得、低戶	E活線作業								
\circ	4	実総P	3		故障探求	(エンシ	ブン不調の!	車両につい	て故障探え	求、整備診	記明を実施])			
0	4	実総 P	4		故障探求	② (始動	装置に関連	重した故障	探求、整例		〔施 〕				
0	4	実総 P	5		故障探求	③ (充電	装置に関	重した故障	探求、整例	開説明を実	手施)				
0	4	4 実総 P 6 点検整備②(受付、点検作業、整備説明)													
0	4	実総 P	7		故障探求	(様々	なシステム	の異常探え	·	明を実施)				
0	2	実総 P	8		STEP 1 t	n6STEP 7	7までの授	業内容を終	総合復習						

		T .							l .			
		実習	望 203						専門課程	.»	作成月日	25/04/01
教	科	自動車	車整備作	科目		総合シャシ	,	対象級	サービスエンジー級自動車		開講期	後期
			業		<u>研究開発学科 2年</u> ・浅井直道(一級自動車整備士)							15-0/13
教科	河智是明·大石尚輝·浅井直道(一級自動車整備士) 教科担当 前田優佑·成松樹生·小川 幸雄											
		前田伯	優佑・成権	公樹生・小	川幸雄							
実務	経験教員	授業	該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	<u> </u>
〔授業	〔授業概要・目的〕											
・シャ	シ領域	の各装	置について	、構造、機	能、整備	作業につい	て実習を追	通じて理解	度を高める	0		
〔授業	の到達	目標)										
•24为	月点村	食の点	検記録簿	を確認し、原	点検作業が	ができるよう	になる。					
・検査	機器0	D使いた	5、調整方	法を理解し)、実施で	きるようにな	ぷる 。					
·Hor	nda Ca	ars (則	反売店) て	使用する	e-Dealer	& PIT管	理の操作か	べできるよう	になる。			
・各シ	ステム	装置の	不具合に	ついて総合	的な判断。	り故障原	因を探求す	けることがで	きる。			
〔学習	評価の)基準〕										
・試験	点数0	D基準、	レポート評	平価及授業	美の取り組み	みを総合し	て、「5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	τ 。	
・レポ・	- トの影	平価:	5 : 非常(こ優れてい	る 4:優	憂れている	3:普 j	至 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある)
・試験	(点数)	D評価	: 5 : 90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点				
			60点未活	端の場合は	再試験を	行う。尚、暮	再試験後σ	評価は試	験規程に。	はる。		
〔使用	教科書	書・教材	持 〕									
二級	自動車	整備士	(総合)	【日本自動	動車整備技	辰興会連6	合会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pa	ıd、電子モ	ジュールシ	
					授	業計画	1 表					No.1
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)				
0	4	実総C	1		24か月点	検①(24	4ヶ月点検付	作業と指定	2整備記録	簿の理解	と記入方法	去の習得)
0	4	実総C	2		24か月点	検②(24	4ヶ月点検付	作業と指定	2整備記録	簿の理解	と記入方法	法の習得)
0	4	実総C	3		検査ライン	ノ (検査機	器の使用だ	方法と調整	修作業の習	得)		
0	4	実総C	24		故障探求	(HD	S及びサー	-キットテス	タを用いての	の故障診断	断の実践に	よる習得)
0	4	実総C	5		e-Deale	r & PIT管	理②(e	– D e a	ler&	PIT管	含理の復習	})
0	4	実総C	6		接客応対	接客対	応(実践	的ロールプ	レイ)の実	践)		
0	4	実総C	7		故障探求	(HD	S及びサー	-キットテス	タを用いての	の故障診断	断の実践に	よる習得)
0	2	実総C	8		STEP 1 t	からSTEP	7までの問題	題を総合復	复習			

		実習 203						専門課程		作成月日	25/04/0
教	科	自動車整備作 業	科目	整值	帯作業シヤ	シ	対象級	サービスエンジニ 一級自動車整位 研究開発学科	備学科・	開講期	後期
粉砂	担当	河智是明·大石	□尚輝・浅	井直道((一級自重	動車整備	士)	-	-		
1 2/17	1==	前田優佑·成村	公樹生・小	川 幸雄							
実務終	圣験教員	夏授業 該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 期	末試験	パート評価	
授業	概要・	目的〕									
シャミ	が領域	の各装置について	、構造、機	能、整備化	作業につい	て実習をは	通じて理解	度を高める。			
授業	の到達	目標〕									
24か	月点村	食の点検記録簿を	を確認し、原	点検作業が	できるよう	になる。					
トラン	ノスミッシ	ション、エンジンの基	基本点検	(オイル交換	段及び付随	作業、ス	トール回転	の点検)を理	関を	施できる。	
Hon	da Ca	ars(販売店)で	使用する	e-Dealer 8	& PIT管理	里の操作だ	ができるよう	になる。			
各シ	ステム	装置の不具合に た	ついて総合	的な判断よ	り故障原図	因を探求す	することがで	きる。			
学習	評価の)基準〕									
試験	点数の)基準、レポート評	P価及授業	の取り組み	を総合して	τ、Γ 5 · 4	.3.2.	1]の5段階で	で表わす	. 0	
)基準、レポート評 平価: 5 : 非常(1 Jの 5 段階で			必要がある
レポ-	- トの評		こ優れてい	る 4:優	れている	3:普〕	通 2:				必要がある
レポ-	- トの評	平価: 5 : 非常()評価: 5 : 90	こ優れてい ~100点	る 4:優々 4:75~	れている 〜 89点	3:普ù 3:60	通 2: ~ 74点		: 劣る		必要がある
レポ-	- トの評	平価: 5 : 非常()評価: 5 : 90	こ優れてい ~100点	る 4:優々 4:75~	れている 〜 89点	3:普ù 3:60	通 2: ~ 74点	やや劣る 1	: 劣る		必要がある
レポ- 試験	- 卜の記	平価: 5 : 非常()評価: 5 : 90	こ優れてい ~100点	る 4:優々 4:75~	れている 〜 89点	3:普ù 3:60	通 2: ~ 74点	やや劣る 1	: 劣る		必要がある
レポー 試験	- トの記 : 点数 <i>0</i> : 1 : 数科記	平価:5:非常()評価:5:90 60点未活	こ優れてい ∼100点 満の場合は	る 4:優々 4:75~ 再試験を行	れている 〜 89点 テラ。 尚、再	3:普ù 3:60 [/] 写試験後 ⁰	通 2: ~74点 D評価は試	やや劣る 1	: 劣る	(再提出の	
レポー 試験	- トの記 : 点数 <i>0</i> : 1 : 数科記	平価: 5:非常()評価: 5:90 60点未活 書・教材等〕	こ優れてい ∼100点 満の場合は	る 4:優々 4:75~ 再試験を行	れている 〜 89点 テラ。 尚、再	3:普ù 3:60 [/] 写試験後 ⁰	通 2: ~74点 D評価は試	やや劣る 1	: 劣る	(再提出の	
レポー 試験	- トの記 : 点数 <i>0</i> : 1 : 数科記	平価: 5:非常()評価: 5:90 60点未活 書・教材等〕	こ優れてい ∼100点 満の場合は	る 4:優々 4:75~ 再試験を行 動車整備振	れている 〜 89点 テラ。 尚、再	3:普 i 3:60/ 写試験後の i会】、パワ	通 2: ~74点 D評価は試	やや劣る 1	: 劣る	(再提出の	
レポー 試験	- トの記 : 点数 <i>0</i> : 1 : 数科記	平価: 5:非常()評価: 5:90 60点未活 書・教材等〕	こ優れてい ∼100点 満の場合は	る 4:優々 4:75~ 再試験を行 動車整備振	れている ~ 89点 行う。尚、再 興会連合	3:普 i 3:60/ 写試験後の i会】、パワ	通 2: ~ 74点 D評価は記	やや劣る 1	: 劣る	(再提出の	
レポー 試験	トの記点数の 独内を 教科記 自動車	平価: 5:非常()評価: 5:90 60点未活 書・教材等〕	こ優れてい ∼100点 満の場合は	る 4:優々 4:75~ 再試験を行 動車整備振 授 i	れている ~ 89点 行。尚、再 興会連合	3:普注 3:60/ 所試験後の 合会】、パワ 主表 授業内容	通 2: ~ 74点 D評価は記 リーポイント (項目)	やや劣る 1	: 劣る	ジュールシー	
レポー 試験 使用 二級目	トの記点数の 独科記 自動車	平価:5:非常()評価:5:90 60点未消 書·教材等〕 整備士(総合)	こ優れてい ∼100点 満の場合は	る 4:優々 4:75~ 再試験を行 動車整備振 授 章	れている ~ 89点 示う。尚、再 課 業計画 (検3) (24	3:普 i 3:60/ 原試験後の 合会】、パワ i 表 授業内容	通 2: ~ 74点 D評価は記 Dーポイント (項目) 作業と指 記	やや劣る 1 職規程による	: 劣る る。 、電子モ	ジュールシー	-ト No.1 の習得)
レポースは大学を表現しています。	トの記点数の 独科記 自動車	平価: 5:非常()評価: 5:90 60点未活 를·教材等〕 整備士(総合) 実整C1	こ優れてい ~100点 端の場合は	る 4:優々 4:75~ 再試験を行 動車整備振 授 動	れている ~ 89点 示う。尚、再 課興会連合 業計画 検③ (24 ション・エン	3:普 i 3:60/ 可試験後の 合会】、パワ i 表 授業内容 ケ月点検 ジンの基本	通 2: ~ 74点 D評価は記 Dーポイント (項目) 作業と指定 に点検(ス	やや劣る 1 験規程による 資料、i-Pad、	: 劣る る。 、電子モ の理解。 の点検、[0	ジュールシーと記入方法の転速度を	-ト No.1 の習得)
レポースは	ートの記点点数の 対科記点数和記点点数の 4 4	平価: 5:非常()評価: 5:90 60点未活 를·教材等〕 整備士(総合) 実整C1	こ優れてい ~100点 場の場合は	る 4:優待 4:75 / 再試験を行 動車整備振 授 24か月点 トランスミッジ 作業習熟原	れている ~ 89点 示う。尚、再 課興会連合 業計画 検③ (24 ション・エン・ 度チェック	3:普 i 3:60 / 写試験後の 合会】、パワ i 表 授業内容 ジンの基本 (ブレーキ・	通 2:74点D評価は記ブーポイント(項目)作業と指定ト点検(ス・オーバーオー	やや劣る 1 験規程による 資料、i-Pad、 E整備記録簿	: 劣る る。 、電子モ の理解の の点検、E 診断機の	(再提出の ジュールシ· と記入方法 回転速度テ 操作)	ト No.1 (の習得)
レポー試験	- トの記点数の 対科記点数の 自動車 4 4	平価: 5:非常()評価: 5:90 60点未清 書·教材等〕 整備士(総合) 実整C1 実整C2	こ優れてい ~100点 端の場合は	る 4:優待 4:75 / 再試験を行 動車整備振 授 24か月点 トランスミッジ 作業習熟原	れている ~ 89点 示う。尚、再 課興会連合 業計画 (((((((((((((((((((3:普 i 3:60 / 9試験後の i会】、パワ i 表 授業内容 ジンの基本 (ブレーキ・ 理3(e	通 2:74点つ評価は記パーポイント作業と指定ト点検(ス・オーバーオーDea	やや劣る 1 議験規程による 資料、i-Pad、 資料、i-Pad、 「下ル回転の ボール、外部診 Ier&F	: 劣る る。 、電子モ の理解の の点検、E 診断機の	(再提出の ジュールシ· と記入方法 回転速度テ 操作)	ト No.1 (の習得)
レポースを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	- トの記点数の 教科記 自動車 4 4 4	平価: 5: 非常()評価: 5: 90 60点未活 를·教材等) 整備士(総合) 実整C1 実整C2	こ優れてい ~100点 端の場合は	る 4:優然 4:75 / 再試験を行 動車整備振 授 i 24か月点 トランスミッジ 作業習熟原 e-Dealer 故障探求の	れている ~ 89点 示う。尚、再 類会連合 業計画 検③ (24 ション・エン 夏チェック & PIT管 ② (灯火)	3:普注 3:60ヶ 写試験後の 会】、パワ 正表 内容 トランの基本 で プレーキ・ で 選 で 選 で ここ。	通 2: ~ 74点 D評価は記 Dーポイント (項目) 作業を指 ・オーバーオーの脱着・交	やや劣る 1 議験規程による 資料、i-Pad、 資料、i-Pad、 「下ル回転の ボール、外部診 Ier&F	: 劣る る。 、電子モ の理解。 の点検、 の が断機の ア I T管	(再提出の ジュールシ· と記入方法 回転速度テ 操作)	ト No.1 (の習得)
しポー級を	下の記点数の 教科 自動車 4 4 4 4	平価: 5: 非常()評価: 5: 90 60点未活 書·教材等) 整備士(総合) 実整C1 実整C2 実整C3 実整C4	こ優れてい ~100点 端の場合は	る 4:優々 4:75 / 再試験を行 動車整備振 授 i 24か月点 トランスミッジ 作業習熟原 e-Dealer 故障探求の エンジン脱れ	れている ~ 89点 示う。尚、再 興会連合 業計画 検③(24 ション・エン・ まチェック & PIT管 ②(灯火・ 着①(車	3:普 i 3:60 / 可試験後の i 会】、パワ i 表 授業内容 グレーキ・ でプレーキ・ 理③(e 装置部品 あよりエン	通 2:74点7中間は記7ーポイント(項目)作点検バーオーの脱を取りジンを取り	やや劣る 1 議験規程による 資料、i-Pad、 資料、i-Pad、 「ール、外部診 ール、外部診 ー e r & F 強の習得)	: 劣る る。 、電子モ のは検、 の の の の の の の の の の の の の	(再提出の ジュールシ· と記入方法 回転速度テ 操作)	ト No.1 (の習得)
レポース 試験 使用 級を (使用 の) () () () () () () () () () () () () ()	下の記点数の 教科記 動車 標準時限 4 4 4 4 4	F価: 5: 非常()評価: 5: 90 60点未消 書·教材等) 整備士(総合) 実整C1 実整C2 実整C3 実整C4 実整C5	で優れている。 ~100点 場の場合は 【日本自動	る 4:優々 4:75~ 再試験を行 動車整備振 授 24か月点析 トランスミッジ 作業習熟原 e-Dealer 故障探求の エンジン脱続 エンジン脱続	れている ~ 89点 示う。尚、再 興会連合 業計画 検③(24 ション・エン・ まチェック & PIT管 ②(灯火・ 着①(車 着②(車	3:普 i 3:60 / 可試験後の i 会】、パワ i 表 数 数 は 数 り で り で り で り で り で り で り に も い り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	通 2:74点7中間は記7ーポイント(項目)作点検バーオーの脱を取りたアンを取りた	やや劣る 1 議験規程による 資料、i-Pad、 音整備記録簿 トール回転の ネール、外部診 I e r & F 接の習得) 外す 1日目	: 劣る : 劣る ふ。 、電子モ のは検、「 のが機の。 のがして のがし のがして のがし のがして のがし のがし のがし のがし のがし のがし のがし のがし	(再提出の ジュールシ· と記入方法 回転速度テ 操作)	ト No.1 (の習得)

		実習 203						専門課程		作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備作 業	科目	実践力養成 対象級 一級自動車整備学科・研究開発学科2年 開講期 渡部孝昭・塩川楓・河智是明・大石尚輝・浅井直道(一級自動車整備			開講期	通期			
***			内英和·源	部孝昭・	塩川楓・河]智是明・ス	大石尚輝・	浅井直道	(一級自	動車整備:	±)
教科:		前田優佑·成松	樹生・小川	幸雄・君	塚真之佑	i					
実務組	Z験教員	授業 非該当	総時限	44	授業方法	実習·実技	評価方法				
〔授業	概要・	目的〕									
・必要	な知諳	状や技術を実践的	な授業及	びコンテス	トや外部展	示会等を	通して、知	識や技術を	と習得しや	自分の考え	をまとめ発表で
〔授業	の到達	目標〕									
・サーと	ごス技術		部展示会を	見学する	ことで、必要	要な知識や	技術を学び	び自分の考	えを発表	できる	
•4輪	、2 輪	の実践整備作業	美及び整備	説明を実	践しできる。	ようになる					
・点検	整備、										
〔学習	評価の)基準〕									
〔使用	教科書	書·教材等〕									
二級自	動車	整備士(総合)	【日本自	動車整備技	振興会連合		リーポイント	 資料、i-Pa	ad		
新人り	ナービス	スタッフの基本学	習(ハード	編、ソフト	編)						
				授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)				
	2	課題説明会、課	題準備	課題発表	の仕方、見	見学会の説	明				
				見学会の	事前準備						
	2	見学会		外部会場	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	技術コンク	ール等)の	D見学をす	る		
	10	課題準備		課題発表	のための資	料作り					
	2	課題発表		自分たちの	の考えをまと		発表する				
	4	4輪実践 1		外部診断	i機(HDS	ら) を使用し	た基本的	は故障探	求及び交換	奥作業を実	 E施
	4	4輪実践 2		車両よりき	部品脱着	(燃料タング	ブ等)を実	施			
	4	2輪実践 1		車両よりコ	Lンジン脱着	手を実施					
	4	2輪実践 2		2 4 カ月	点検整備の	作業を実施	<u></u>				
	4	4輪 点検整備		点検整備	及び基本	的な部品を	 交換(エン	ジンオイル、	ワイパーラ	が一等)を	を実施
	4	2輪 点検整備		点検整備	及び基本	的な部品を		ジンオイル	等)を実施	<u>t</u>	
	4	実践作業		実践授業	で実施して	きた点検	整備作業の	の習得度を	:確認する		

		実習	実習 203 自動車整備作 科目 整備作業パワーユニット 対象級		専門課程		作成月日	25/04/01				
教	科	自動車第		科目 整備作業パワーユニット 対象級 サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 2年 野内英和・渡部孝昭・塩川楓・浅井直道(一級自動車整備士)			開講期	後期				
*LTU		駒崎勝	紀·木里	孙英和·	渡部孝明	召•塩川桐	・浅井直	道(一級				
教科	担当	君塚真	之佑									
実務網	Z験教員	授業	該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	ノポート評価	i
〔授業	概要・	目的〕										
・エンジン領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。												
〔授業	の到達	目標〕										
・電気	安全の	一般的加	な知識と	電気自動	車等の整備	備作業を理	理解し、実施	色できるよう	うになる。			
・ 各シ	ステム剝	表置の不.	具合に	いて総合	的な判断。	り故障原	因を探求す	ることがで	きる。			
・点検	項目の	內容、点	点検方法	を理解し、	実施でき	るようになる	5.					
〔学習	評価σ)基準〕										
・試験	点数の	基準、レ	ポート評	严価及授業	の取り組み	みを総合し	て、「5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	Γ.	
・レポー	-トの評	严価:5	: 非常(で優れてい	る 4:優	見れている	3:普 j	<u>1</u> 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある)
・試験	点数の)評価:	5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点				
		6	0点未清	ある場合は	再試験を	行う。尚、暮	再試験後0	評価は試	験規程に	よる。		
〔使用	教科書	・教材等	争〕									
					授	業計画	1 表					No.1
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)				
\circ	4	実整 P :	1		故障探求	(エンシ	ブン不調の!	車両につい	て故障探え	求、整備診	(明を実施))
0	4	実整 P 2	2		故障探求	: ⑥(データ	タより故障化	固所の推測	リ、原因を打	住測、エン	ジン部品の	脱着作業)
0	4	実整 P 🤅	3		ハイブリット	で車の構造	・機能の理	解及び構	成部品の胴	兑着作業		
0	4	実整P	4		F20C	(ベンチエン	グシ)の分	解組付作	業及び測	定点検		
0	4	実整P!	5		アクティエン	ンジンの取り)外し作業	1日目				
0	4	実整P(6		アクティエン	ンジンの取り	つ付け作業	2日目				
0	4	実整PZ	7		点検整備	③ (受付	、点検作業	美、整備説	明)			
0	2	実整 P 8	8		STEP 1 t	からSTEP 7	7までの授	業内容を終	総合復習			

教	FSI	実習 203	科目	!目 モビリティ技術		:::	対象級	専門課程サービスエン	ジニア学科・	作成月日	25/04/01
**	1-1	自動車整備作 業	171	一級自動車整備学科・ 開講期 前期 所究開発学科 2年 前期 使和・渡部孝昭・塩川楓・河智是明・大石尚輝・浅井直道(一級自動車整備士)							前期
教科		駒崎勝紀·木野	野内英和	·渡部孝昕	召•塩川桐	・河智是	明·大石i	- 尚輝・浅井	‡直道(-	一級自動	車整備士)
3X14 :		前田優佑·成村	公樹生・小	川幸雄	・君塚真ん	之佑			T		
実務網	Z験教員	过 授業 該当	総時限	16	授業方法	実習·実技	評価方法		l	レポート評価	Ī
〔授業	概要・	目的〕									
·Hon	daの晶	最新技術、運転支	を援システム	ムなどを点れ	検整備、作	動確認な	どを実施す	ることで理	解度を深ぬ	かる	
〔授業	の到達	目標〕									
·Hon	da先述	進安全技術を理解	解し、どのよ	うに取り組	しんでいくか	を考え発表	できるよう	になる。			
·Hon	da SE	ENSINGの機能、	構造、作	動を理解し	、点検作	業、調整作	業を実施	することでヨ	理解度を高	易める。	
・ハイフ	ブリッド国	車、電気自動車の	の構造、機	能、作動を	を理解し、原	点検作業、	整備作業	を実施する	ることで理解	解度を高め	3.
·Hon	daの耳	双組みについて学	び、実践、	作業を通し	て理解度	を高める。					
〔学習	評価の)基準〕									
・試験	点数の)基準、レポート部	平価及授業	美の取り組み	みを総合し	て、「5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	t.	
・レポ-	-トの評	P価:5:非常(こ優れてい	る 4:優	憂れている	3:普 j	至 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある)
〔使用	教科書	引·教材等〕									
					NI - 1 -						
				授	業計画	退表	1-111/1				No.1
(3/3/12/3	標準時限	項目					授業内	容(項目)		
0	4	実M技術C1			技術 思						
						Gの取扱い					
						パイロットのネ	幾能及び化	宇動			
0	4	実M技術C2		レーダーエ	イミング						
				カメラエイ	ミング						
				4輪アライ	イメントテス	ター					
	電動サーボブレーキ										
0	4	実M技術P1		自動車((EV、ガソリ	ン車、ハイ	ブリッド) σ	機能・構造	造 ————————————————————————————————————		
				自動車((EV、ガソリ	ン車、ハイ	ブリッド) σ	操作・点	検整備		
0	4	実M技術P2		TSSの	機能、操作	作方法					
				TSSを	使用した接	镕(□−〕	プレ)				

教科 自動車検査作 科目 自動車検査 対象級 サー		実習 204						専門課程		作成月日	25/04/01
教	科	自動車検査作 業	科目	自	動車検査	± E	対象級	サービスエンジー 一級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	前期
松杉	田当	河智是明·大石	尚輝・浅井	‡直道(一	級自動車	整備士)		-		-	
3 21-		前田優佑·成松	樹生・小川	幸雄							
実務	経験教員	損授業 非該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	ノポート評価	
授業	概要・	目的〕									
シャ	シ領域の	の各装置について	、構造、機	能、整備化	作業につい	て実習を	通じて理解	度を高める	0		
各作	業にお	ける中間検査、気	完成検査の	D手順を理解	解する。						
授業	の到達	目標〕									
12	月点村	食の点検記録簿を	を確認し、原	点検作業が	できるよう	iになる。					
シャ	シ領域	(エアコン装置、)	パワーステブ	アリング、大雲	型ブレーキ	等)の構	造、機能、	点検方法を	を理解し、	実施できる	ようになる。
Hor	ıda Ca	ırs(販売店)で	使用する	e-Dealer (& PIT管	理の操作が	ができるよう	になる。			
各シ	ステム書	表置の不具合にた	ついて総合	的な判断よ	り故障原	因を探求す	することがで	きる。			
学習	評価の)基準〕									
試験	点数の)基準、レポート評	P価及授業	の取り組み	を総合し	τ、Γ5・4	3.2.	1]の5段	階で表わす	0	
レポ	一トの評	F価:5:非常(こ優れてい	る 4:優	れている	3:普 ;	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある)
試験	点数の)評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点				
		60点未清	島の場合は	再試験を行	う。尚、	再試験後の	D評価は試	(験規程に	はる。		
		引・教材等〕 									
二級	自動車	整備士(総合)	【日本自	動車整備振	興会連合	合会】、パワ	ノーポイント	資料、i-Pa	id、電子モ	ジュールシー	- ト
										1	
	1			授	業計画						No.1
実務経験	標準時限					授業内容					
	4	実検査 1 		シャシ基礎						用を理解し	習得する)
	4	実検査2		エアコン①	(構造・構	幾能の理解	(冷凍サ	イクルの理解	解))		
	4	実検査3		12か月点標							
				(12ヶ月月	点検整備					む)の理解	
		実検査3		(12ヶ月月	点検整備						と実践) の実践と理
	4			(12ヶ月月	点検整備 ・アリング①	(EPS	の構造の	理解と脱着	作業に伴	う調整項目	の実践と理

シャシ基礎整備③(12ヶ月点検整備項目の内容及び点検要領の理解と実践)

STEP1からSTEP7までの問題を総合復習

e-Dealer & PIT管理(e – D e a l e r & P I T管理システムの概要の理解)

4

2

実検査6

実検査7

実検査8

	一般	303						専門課程		作成月日	25/04/01
教科	安全	運転	科目	安全運転学		V 222 MAIN	サービスエンジー 一級自動車 研究開発学	整備学科・		通期	
教科担当				・河智是	明·大石i	尚輝・浅井	‡直道(-	一級自動	車整備士)		
教料担当	前田優	優佑∙成村	公樹生・小	川 幸雄	・君塚真ん	之佑					
実務経験教員	務経験教員授業 非該当 総時限 10 授業方法 実習・		実習·実技	評価方法				評価無し			
[授業概要·目的]											

・自動車業界の一員であることを自覚し、交通社会において安全運転の実践と普及(アドバイス)することが出来るようになる。 (ライディングアドバイザー(二輪)、セーフティコーディネーター(四輪)の資格を取得する)

〔授業の到達目標〕

- ・日常運転時の危険予知トレーニングを通して、安全運転の実践とアドバイスが出来るようになる。
- ・安全運転の思想(人間尊重)から、整備時の安全に対する作業の重要性を理解する。
- ・教育プログラムを通じて、規律の大切さや他人との協調性を養う。

〔学習評価の基準〕

〔使用教科書·教材等〕

- ・安全運転教育テキスト・交通教育センターレインボー埼玉教習車両(二輪、四輪)
- ・i-Pad、KYTレポート用紙

			授業計画表 N								
実務経験	標準時限		授業内容(項目)								
		■ ライディングアドバイザー									
	2	二輪コース(1日目)	安全な乗り方のアドバイス方法を習熟								
			救急法:気道確保、止血、AEDの使用方法実践								
	2		車両の取り回し方法実践								
			二人乗りアドバイス方法の習熟								
	4	二輪コース(2日目)	慣熟走行								
			ブレーキング:目標制動、パイロンスラローム、タンデム走行、ABS/CBS体験								
			反応制動:生理的限界の確認								
			コーナリング:オフセットスラローム								
		■セーフティコーディネーター	-								
	4	4輪コース(1日目)	静的実技:日常点検・運転姿勢・乗降車・視死角								
			ブレーキング:急制動・反応制動								
	4	4輪コース(2日目)	車両感覚:車庫入れ・縦列駐車								
			ロールプレイ:店頭安全運転アドバイス要領								
		■共有									
	1	危険予知トレーニング①	交通事故、交通違反をしないために自分達がどうすべきかを考える								
	1	危険予知トレーニング②	交通事故、交通違反をしないために自分達がどうすべきかを考える								

		—- 舟	设 322						専門課程		作成月日	25/04/01
教	科	接	客実務	科目		接客実務		対象級	サービスエンジー級自動車研究開発学	整備学科・	開講期	通期
*******		駒崎原	勝紀・木里	P内英和·	•渡部孝明	召·塩川梔	·河智是	明·大石i		· ·	一級自動	車整備士)
教科		前田伯	優佑・成材	公樹生・小	川 幸雄	•君塚真,	之佑					
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	10	授業方法	実習·実技	評価方法				
〔授業	概要・	目的〕										
·Hon	da Ca	rsのサ	ービス部門	の仕事を	理解し、サ	ービス活動	とフロント第	美務の知識	を習得する	5.		
〔授業	の到達	目標〕										
・サーと	ごス部門	門の業績	務内容が	里解できる。	o							
·初歩	のフロン	ント業務	条に必要な	接遇応対	ができる。	(ロープレ	実施)					
·基本	的な受	そ付~は	お引きお渡	し業務がて	::ea。 (ロ	ープレ実旅	<u>t</u>)					
〔学習	評価の)基準〕										
〔使用	教科書	書・教材	持 〕									
HAST	SE3	級 ソフ	ト編テキス	ト、パワーフ	ポイント資料	料、i-Pad、	教材補助	プリント(ロープレ資	料)		
					授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)				
	2	■接容	客実務 1・	2	チャプター 1	接遇の基	本					
	2	■接容	客実務3・	4	チャプター 2	2 サービスの	基本、チャス	プター 4 整	備業務の基	本、チャプタ	7-5 周辺:	知識
	2	■接容	客実務 5・	6	チャプター 3	3 フロント業	務の基本					
	4	■接容	客実務 7・	8 • 9 • 1	ロープレ実施	施						
					・あいさつ	訓練						
					・受付の説	说明 (□−:	プレ)					
					・電話応答	答(ロープ	レ)					
					・お引渡し	・(ロープレ	·)					

		一般:	321						専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	特別記	講座	科目	実置	桟自動車 勢	Ě備	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 2年	開講期	通期
教科	扣出	駒崎勝	紀·木里	野内英和·	•渡部孝昭	召·塩川梔	·河智是	明·大石	尚輝·浅井直道(一級自動	車整備士)
7X14	123	前田優	佑・成村	公樹生・小	川 幸雄	・君塚真〟	之佑				
実務終	圣験教員	授業	非該当	総時限	50	授業方法	実習·実技	評価方法			評価無し
〔授業	概要・	目的〕									
・授業	及び教	対書内	容の理角	なな深めるこ	ことで、国家	《二級自動	車整備士	(総合)	資格に合格するため	の基礎知言	哉を身につける。
〔授業	の到達	目標〕									
・教科	書の記	記載内容を	か品部を	車両などで	で確認し、村	構造・作動	の理解度を	を向上させ	:る。		
•登録	試験問	問題の出題	題内容、	苦手項目	を理解する	ることで勉強	蛍する分野	を明確にす	する。		
〔学習	評価の)基準〕									
〔使用	教科書	書・教材等	})								
二級目	自動車	整備士	(総合)	【日本自	動車整備排	長興会連合	会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pad、登録記	式験対策問	問題、関連する教
					授	業計画	表				No.1
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)			
	2	応用パワ-	ーユニット	·2(学科)	教科書の理	里解度確認	、解説を実	施する			
	7	自動車検	渣(学	科)	教科書の理	里解度確認	、解説を実	施する			
	2	自動車検	査 学科	斗見直し	自動車検査	査の学習内	容を復習す	る			
	1	自動車法	規		自動車法規	見の学習内	容を復習す	る			
	2	モビリティ技	支術(学	料)	Hondaの新	折技術につい	ハて学習する	3			
	4	総合パワ-	ーユニット	、(学科)	教科書の理	里解度確認	、解説を実	施する			
	4	総合シャシ	シ(学科	ļ)	教科書の理	里解度確認	、解説を実	施する			
	28	登録対策	į		登録試験対	対策のため間	問題(過去	問題・オリシ	ジナル問題) を実施し、	理解度を高	る

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目	自	動車構造力	学		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01
+/- 11	1 0.17								3年	開講期	前期
教科		1	及自動車整備士) 	I	15714-1-71	-++		==/==+>+	₩ 7 V =		
	圣験教員 		当総時限	10時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験		
	概要・目		± 1	£ 414 ~"							
			応力のかかり方々 	を子ふ							
		- 算方法を学ぶ	\								
〔授業		について 加熱	た羽伊士ス								
		について、知識 									
・ルいノノ	/	的な計算ができ	50 50								
C774 2121	-π/π α :	→ *# `\									
	評価の		===/==T +\(\vec{\pi}\)	Tn 10 40 7 . +	₩ Δι - Γ	- 1		2 1 0	- 50.0比マ キ ゎナ		
									5段階で表わす。 	-Wh TA	#7.0±.0
									劣るもの 1:成績特(ころり、小台	*恰のもの
合訊	缺只致		: 90 ~100点								
1 40	Los								試験規程による。 	10 V ## 18*+	7)
レハー	- NO)計	1回は 5:非	吊に愛化(いる	4:懷化	(lb 3:	世り	世	2 : 1 ⁵ 1 ⁵ 5	る 1:劣る(再提出	ゴの必要かめ	<i>ත)</i>
(唐田:	おいま	·教材等〕									
		· 教材等) 練習問題									
作用り	+//\	株白问思			 業 計 画						N o . 1
実務経験	標準時限			1又				(項目)			N O.1
天伤莊腴						1又未1	门台	(項目)			
	-		この一点である。	大田 大田							
			。 		(エーソント	南山 士)	١ (こり単位の	其大的完善		
			////////////////////////////////////	M) W H	(())	ギロノノ	<i>,</i> , ,	7 年位の	至个时 仁 我		
		州	个 _{叫例} 先 但 U								

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目	自	動車電気・電	子		対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日開講期	25/04/01 前期
教科	担当	豊田 剛 (1級自	動車整備士)							1,132,137,43	1337.12
実務網	Z験教員	損授業 非該当	総時限	18時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験		
〔授業権	既要・目	 目的〕									
1. 電	気の基	一段では、一般では、一般では、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ることで、1級	自動車整	備士の電子	制御	装置3	里解の基礎	とする		
〔授業	目標〕										
・国家	試験、富	電子電気回路の計	算問題が解	ぱな							
〔学習	評価の	基準〕									
各試駁	点数の)基準、レポート評(価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	. 3 .	2・1 」の 5	5段階で表わす。		
5 :	特に成	績優秀なもの 4	: 成績良の	もの 3:/	成績普通の	もの	2	: 成績やや	劣るもの 1:成績特に	に劣り、不合	格のもの
各試	験点数	の評価は 5:9	0~100点	4:75	~ 89点 3	3 : 6	0 ~	74点			
		6 0	点未満の場	合は再試	験を行う。尚	5、再記	式験彳	後の評価は	試験規程による。		
レポー	-トの評	価は 5:非常に	優れている	4:優れ	ている 3:	普)	通	2:やや劣	る 1:劣る(再提出	日の必要があ	る)
〔使用	教科書	・教材等〕									
1級自	動車割	整備士 エンジン電	子制御装置	量、補助テキ	スト					ı	
				授	業計画	表					N o . 1
実務経験	標準時限					授業	内容	(項目)			
	1	導入									
	1	電気の基礎 オー	ム、回路抵抗	抗&計算・	電気の基礎	復習					
	1	電気の基礎 磁気	、電磁力、	電磁誘導	・コイルとコ	ンデン	けにす	する交流の	D特徴		
	1	電気の基礎 半導	算体・半導体	の基礎復	<u></u>						
	1	電気の基礎 FE	T、磁気担	抗、圧電	素子・バイポ	ーラト	ランジ	スタとFETの	D違い		
	1	電気回路·断線、	短絡時の各	部の電圧							
	6	サーキット・テスタの	種類・分圧	回路、分流	で回路の理解	解・テス	くタ内	部抵抗を考	/ 慮した計算・測定		
	1	オシロスコープの活	用・電圧と問	詩間の概念	、トリガーの	概念の	理解				
	1	外部診断機の活力	用・基本的な	いないと	機能・デーク	タリスト	、 D	TCの確認			
	2	総合復習									
	1	期末試験									
	1	期末試験見直し									

大教	大教科目 学科 自動車工学		小教科目	科目 新材料·新技術 5				対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01		
									3年	開講期	後期		
		川﨑 智仁(1級日			I			<u> </u>	<u> </u>				
	験教員		総時限	24時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験				
	概要・目		_										
1.1	級教科	書「自動車新技術	う」に記載の	新機構につ	いて理解す	る 							
〔授業													
・1級書	を備士の	の筆記試験合格レ	ベルの新技行	析に関する	知識を習得	する							
ر <u>ع</u> در	=== /== = :	₩ `											
	評価の		/ T T-157**	Fn 10 4 D 7 +	<i>₩</i> Δ! -	г <i>1</i>		2 4 1 6 7	- 500比索士 40十				
		D基準、レポート評(ニルト テヘ	+ 2		
									劣るもの 1:成績特(にあり、个台	合いもの		
石缸	峽只多	でいい (の評価は 5:90							=- - - - - - -				
1.=10	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 												
レバー	レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)												
(体田:	〔使用教科書·教材等〕												
		··教材寺」 整備士 自動車新	技術										
1 11/X	1 ≠/J∓Fİ	ᆮͷ曲工 口到平利:	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で		 業計画	i 表					N o . 1		
実務経験	標準時限						内容	(項目)			1, 0.1		
		ハイブリッド車・概要	要、特徴、椿	造、機能									
		ハイブリッド車・作動											
	2	CNG自動車()			・概要、構	造、機	幾能						
	2	CNG自動車()						整備					
	2	筒内噴射式ガソリ	ン・エンジン・	概要、構造	 告、機能								
	2	コモンレール式高圧	E燃料噴射	システム・D	E燃料噴卵	肘装置	の復	習・電子制	 御式とコモンレール構造機能	 能			
	1	総合復習											
	1	単元試験											
	1	単元試験見直し											
	2	無段変速機(C	V T)·概	要、構造、	機能								
	2	車両安定制御装	置・A B S	講造、機能	·VSCS	構造、	機能						
	2	SRSエアバッグス	及びプリテンジ	ショナーシー	トベルト・概	要、構	造、	機能					
	1	総合復習											
	1	期末試験											
	1	期末試験見直し											

								ı				
大教	科目	学科 自動車整備	小教科目	糸	総合診断技術	វ៉ៃ		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01	
***									3年	開講期	前期 	
		川﨑 智仁(1級日	I					I	Γ			
	験教員		総時限	24時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 単元·期末試験			
	概要・目											
		車整備士として、名										
		ナーやアクチュエータ	一路の信号	お波形を埋漑	解し、適した	測定方	方法を	上埋解する。				
授業												
		土組みを理解し、到										
·外部 ———	診断機	のデータ内容から故	は障診断がと	出来る技術	を習得する。	•						
〔学習	評価の	基準〕 										
		基準、レポート評値										
5:	特に成	績優秀なもの 4	:成績良の 	もの 3:5	式績普通の	もの	2	: 成績ややき	劣るもの 1:成績特(こ劣り、不合	格のもの	
各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 6 0点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
		6 0	点未満の場	場合は再試	験を行う。尚	5、再訂	式験征	後の評価は	試験規程による。			
レポー	-トの評	価は 5:非常に	優れている	4:優れ ⁻	ている 3:	普通	<u>甬</u>	2:やや劣	る 1:劣る(再提出	い必要があ	る)	
実務	経験の	ある教員による授業	Ě 〕 ————————————————————————————————————									
自動	車整備	士として実務経験	のある教員だ	が、整備現	場で必要な	作業方	方法・	知識につい	τ.			
実務	経験を	舌かしてより実践的	内容を指導	算し授業を行	すう。							
使用	教科書	·教材等〕 ————————————————————————————————————										
1級	エンジン	電子制御装置(S E 2級八·	ード編								
				授	業計画	表					N o . 1	
実務経験	標準時限					授業区	内容	(項目)				
	2	高度診断技術・導	算入・概要説	的·基礎振	い返り							
	4	・センサ①(論理化	信号、リニア	信号)								
	4	・センサ②(周波	数信号、その	D他信号)								
	1	単元試験										
	1	単元試験見直し										
	4	・アクチュエータ①	(プラス駆動	」、マイナス馬	区動、スイッラ	Fング馬	区動)					
	4	・アクチュエータ②	(リニア駆動	、その他)			_					
	2	総合復習										
		H= 1 = 0=0										
	1	期末試験										
		期末試験 期末試験見直し										

大教	科目		学科 加車整備	小教科目	¥	総合診断技術	Ħ		対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日開講期	25/04/01 後期
教科	担当	久保 狙	推照 (1級)	自動車整備:	<u>+</u>)					34	1713EF-37VJ	152741
実務経	験教員	授業	該当	総時限	10時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験		
自動車	整備に	関する実	務経験を有	する教員が、	 必要な作業:	方法・知識に	ついて	、実務	▲ 経験を活か	L し、より実践的な授業を行	 īō。	
〔授業	概要・目	目的〕										
1. 1	級自動	車整備	ーーーー 計士として、お		 の不満や、る	きまざまな感	情に的	り確に	対応し効果	 関的な会話の進め方を		
習得す	ると共に	こ問診で	での高度診	断の方法の	習得する。							
〔授業	目標〕											
・サーヒ	ニスアドノ	「イザー	の役割、内	容を知り、整	 怪備作業以	外の重要な	ポイン	トを <u>Ŧ</u>	 里解。			
お客	まに対す	する問診	▶•作業説明	月•応酬話法	等について	の知識を理	解する	3 。				
〔学習	評価の	基準〕										
各試驗	食点数0)基準、	レポート評値	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	. 3	2・1 」の 5	5段階で表わす。		
5:	特に成	績優秀	なもの 4	: 成績良の	もの 3:/	式績普通の	もの	2	: 成績やや		こ劣り、不合	:格のもの
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点											
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。											
レポ-	レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)											
〔実務	経験の	ある教員	員による授業	 €)								
自動	車整備	士として	て実務経験	のある教員だ	が、整備現	場で必要な	作業ス	方法·	知識につい	τ.		
実務	経験を	活かして	より実践的	内容を指導	算し授業を行	う。						
〔使用	教科書	•教材等	等〕									
一級自	動車	隆備士	総合診断	·環境保全·	·安全管理							
					授	業計画	i 表					N o . 1
実務経験	標準時限						授業	内容	(項目)			
0	1	サービス	ス産業の概念	要								
0	4	自動車	整備事業	におけるサー	ビスの提供							
0	4	自動車	関連法令	などの適切な	な運用とその	活用						
0	1	応酬記	法									
	1	期末証	験									
	1	期末試	は験見直し									

大教	科目	学科	4	小教科目	Г	芯用整備技術	kī		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01
八叔	(11111	自動車	整備	小我们口	,,	ᅜᄭᇎᄤᅚ	ניו		713KIIX	3年	開講期	前期
教科	担当	奥原 進	(1級自動	動車整備士)								
実務経	験教員	授業	該当	総時限	19時限	授業方法	講	義	評価方法	評価なし		
自動車	整備に	関する実務約	経験を有る	する教員が、	必要な作業	方法・知識に	ついて	、実務	経験を活か	し、より実践的な授業を行	īð.	
〔授業	概要・目	目的〕										
1. 冒	■気・電	:子回路、:	部品に実	際に触れ、	実際の電子	2制御回路(の理解	を深	める。			
〔授業	目標〕											
・電子	パーツ、	半導体等	の構造、	機能、特徵	める理解で	きる。						
・オペフ	アンプのイ	使い方が理	解できる									
・簡単	な回路	設計ができ	る。									
〔学習	評価の	基準〕										
この科	目につい	ハては、試験	険やレポ-	-卜等での評	呼価はせず、	授業出席し	. 聴講	により	履修とする	•		
〔使用	教科書	•教材等〕										
電装品	品構造、	PC、回路	シミュレー	-タソフト、ブ	レッドボード	、電子パー	ツ、オシ	シロス	コープなど			
					授	業計画	i 表					N o . 1
実務経験	標準時限						授業	内容	(項目)			
0	4	電気·電	子回路の	基本となる	オームの法則	則を理解する	5.					
0	3	オペアンプ	の理解と	オペアンプを	:使用した三	E角波発振[回路の	原理	を理解する) _o		
0	2	回路設計	ソフトを住	吏い三角波	発振回路を	·設計設計(た回	路を[回路シュミュ	レータソフトで作動確認	ける。	
0	2	設計した回	回路を実	際にブレッド	ボードで組	み立てて、オ	シロス	(コー)	プで波形を勧			
0	2	ブレッドボ-	ドで試ん	作した回路を	を基盤設計	ソフトで基盤	全設計	する。	,			
0	4	設計を行っ	った基盤	を実際に基	盤上で作品	大する。						
0	2	出来上が	った基盤	を電動カー	トに実装した	走らせる。						

			<u> </u>					声明 □ □	I	
大教	科目	学科 自動車整備		Л	芯用整備技術	tī	対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01
ナルエン	1 0.17							3年	開講期	後期 —————
		川﨑 智仁(1級	1		1574-77	=# -**	==/==->-	**************************************		
	験教員:		総時限	36時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験		
3242141	概要・目			71 1-1/15	~ 777/D±/					
1. 1	級シヤ	シ電子制御装置の	り内容を埋置	解し、技術の	り省得を行う) _°				
授業	日煙)									
		 S 、	·A / Cの各	・センサ、アク	ウチュエータの フ)信号波形	 を理解する。	0		
1級:	シャシの	各項目での仕組る	みを理解し、	理論的な診	 ②断技術を習	 ≧得する。				
1級	エンジン	 でのECUの働き	を、CAN通	信の高度は	女障診断技術	術を習得す	る。			
 国家	1級自	動車整備士の1線	扱シャシ高度	整備技術	、高度故障	診断を合格	ろしベルまで:	 理解する。		
学習語	評価の	 基準〕								
5試験	点数0	基準、レポート評	価及授業の	取り組みを	 総合して、「	5 · 4 · 3 ·	2 · 1 Jの 5	5段階で表わす。		
5:	特に成	績優秀なもの 4	: 成績良の	もの 3:	成績普通の	もの 2	: 成績やや		に劣り、不合	格のもの
各試	験点数	の評価は 5:9	0 ~100点	4:75	~ 89点 :	3:60~	74点			
		6 0	点未満の場	場合は再試	験を行う。冶	的、再試験很	後の評価は	試験規程による。		
レポー	-トの評	価は 5:非常に	優れている	4:優れ	ている 3:	普 通	2: やや劣	らる 1:劣る(再提出	この必要がある	3)
実務網	経験の	ある教員による授美	業〕							
自動	車整備	士として実務経験	のある教員	が、整備現	場で必要な	作業方法・	知識につい	nt,		
実務	経験を	活かしてより実践的	り内容を指導	算し授業を1	行う。					
使用	教科書	•教材等〕								
1 級シ	ヤシ電	子制御装置 1級	なエンジン電 ⁻	子制御装置	<u> </u>					
				授	業計画	表				N o . 1
務経験	標準時限					授業内容	(項目)			
	6	一級 電子制御	A T・回路棒	構成、センサ	ナ、アクチュエ	ータ、ECU	D制御、故	障診断		
	6	一級 電子制御	EPS・回路	各構成、セン	ンサ、アクチュ	エータ、EC	Uの制御、	故障診断		
	2	復習								
	1	単元試験								
	1	単元試験見直し								
	6	一級 電子制御	ABS・回路	各構成、セン	ンサ、アクチュ	エータ、EC	Uの制御、	 故障診断		
	6	一級 電子制御	A C・回路棒	構成、センサ	ナ、アクチュエ	ータ、ECU	D制御、故	障診断		
	4	一級エンジン・C	AN、ECU	J·CAN通	信、ECUの	制御、故障	診断技術			
	2	復習								
	1	期末試験								
	1	期末試験見直し								

大教	科目		学科 車整備	小教科目		環境安全論			対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01	
		, ,=								3年	開講期	前期	
教科	担当	川﨑智	【任(1級日	自動車整備コ	E)				1	T			
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	16時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験			
〔授業	概要・目	目的〕											
1. 1	級整備	士の要任	牛としての珍	環境問題に	対応できる	印識を学ぶ							
〔授業	目標〕												
・環境	問題に	対する法	令を理解す	できる。									
・1級目	自動車	整備士の	国家試験	問題内容を	理解できる) _o							
〔学習	評価の	基準〕											
各試驗	負点数 σ)基準、[ノポート評化	西及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	. 3 .	2・1 」の 5	5段階で表わす。			
5:	特に成	績優秀な	なもの 4	: 成績良の	もの 3:/	式績普通の	もの	2	: 成績やや:	劣るもの 1:成績特に	こ劣り、不合	格のもの	
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点												
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
レポ-	D U												
〔使用	教科書	教材等	F)										
1級自	動車整	備士 糸	総合診断・	環境保全·	安全管理								
					授	業計画	〕表					N o . 1	
実務経験	標準時限						授業区	内容	(項目)		•		
	1	自動車	に関わる環	境問題									
	1	資源の	有効活用、	産業廃棄物	勿処理								
	1	自動車	リサイクル法	<u> </u>									
	1	フロン回	収と破壊処										
	1	バッテリダ	 迎理										
	1	整備工	場の環境対	对応									
	1	ホンダの	取り組み										
	1	地球環	境の現状と	影響									
	3	安全管	理の意義、	災害のあら	まし								
	1	職場に	 おける防火		処置につい	ıτ							
	2	総合復	習										
				試験見直し									

大教科目	1		学科 加車検査	小教科目		自動車検査			対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01		
教科担当	á J	川﨑 智	写广(1級E	 自動車整備						3年	開講期	前期		
実務経験教			非該当	総時限	- <i>,</i> 4時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験				
〔授業概要	₹• 🗏	的〕												
1. 道路	運送	車両刀	ちの検査基	準に沿った村	食査業務を	学ぶ。								
〔授業目標	Ę)													
・検査機器	号の信	吏い方を	を理解し、通	動切な調整が	が出来る。									
・検査業務	多の決	たれ、指	旨定整備記	録簿の記入	、方法を理解	解している。								
〔学習評価	一切を	基準〕												
各試験点	数の	基準、	レポート評値	面及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	. 3 .	2・1 」の 5	段階で表わす。				
5:特(成約	責優秀	なもの 4	: 成績良の	もの 3:)	成績普通の	もの	2	: 成績ややき	劣るもの 1:成績特に	劣り、不合	格のもの		
各試験点	気数の	の評価	iは 5:90)~100点	4:75	~ 89点 3	3 : 60) ~	74点					
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)														
			員による授業											
						場で必要な	作業才	与法・	知識につい	τ.				
]内容を指導	見り授業を行	丁づ。								
〔使用教科			等 」											
2級シャシ、	、法力	兄			控	 業計画	· =					N o . 1		
実務経験標準	時限				12			力突	(項目)			NO.1		
大切性歌 標準	_	<u> </u>	- I A -+- I/// DD	T-10 IT			1又未	7)'	(項口)					
	_	日 動隼	2 検 登機器	取り扱い・測	正・調整・	計昇								
	1													

大教	科目	学科 自動車整備に関す る法規	小教科目		自動車法規			対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日開講期	25/04/01 前期		
教科	担当	川﨑 智仁(1組	】 及自動車整	<u></u>					[]				
実務経	験教員	授業 非該当	総時限	6時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験				
〔授業	概要・目	目的〕											
1. 1	級自動	車整備士試験に合	合格出来る	去律知識の	習得								
〔授業	目標〕												
・1級自	動は整	修備士試験に対応	できる自動	車整備に関	する法規が	わかる)。						
〔学習	評価の	基準〕											
各試駁	食点数0)基準、レポート評	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	3 .	2・1 」の 5	5段階で表わす。				
5:	特に成	績優秀なもの 4	:成績良の	もの 3:	成績普通の	もの	2	: 成績やや	劣るもの 1:成績特に	こ劣り、不合	格のもの		
各試	験点数	の評価は 5:9	0 ~100点	4:75	~ 89点 :	3:6	0 ~	74点					
		6 0	点未満の場	場合は再試	験を行う。冶	が、再記	試験征	後の評価は	試験規程による。				
レポ-	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)												
〔実務	経験の	ある教員による授業	Ě 〕										
自動	車整備	士として実務経験	のある教員	が、整備現	場で必要な	作業	方法·	知識につい	τ.				
実務	経験を	活かしてより実践的	内容を指導	算し授業を	行う。								
〔使用	教科書	・教材等〕											
法令教	本												
				授	業計画	〕表					N o . 1		
実務経験	標準時限					授業	内容	(項目)					
	1	道路運送車両法											
	1	整備主任者、分解	解整備、点板	食整備の基	準								
	2	保安基準·最近改	女正された法	:令									
	1	期末試験											
	1	期末試験見直し											

大教	科目		学科)車概論	小教科目	E	自動車概論:	I		対象級	専門課程 一級自動車整備 3年	請学科	作成月日 開講期	25/04/01 前期
教科	担当	川﨑	当仁 (1級	自動車整備	士)、宇賀	広章(一級	及自動!	車整値	L 前士)	<u> </u>		1. 1261 3743	133743
実務経		1	非該当	総時限	6時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末			
〔授業権	概要・目	的〕											
1. 1	級教科	書全般	の内容の理	異解を深める)								
〔授業	目標〕												
・1級自	動車	Ě備士 記	式験問題が	わかる。									
・1級自	動車	と備士	教科書の苦	手領域を克	肥する。								
〔学習	評価の	基準〕											
各試駁	点数の)基準、	レポート評値	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	. 3 .	2・1 」の 5	段階で表わす。	•		
5:	特に成	績優秀	なもの 4	: 成績良の	もの 3:	成績普通の	もの	2	: 成績ややき	劣るもの 1:5	龙績特(こ劣り、不合	格のもの
各試	験点数	の評価	は 5:90	0~100点	4:75	~ 89点 :	3 : 6	0 ~	74点				
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
レポー	レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)												
		•教材等		***									
前期使	用1級	目動 卑	整備士教	料 書	4177	** =1 ==	: ==						N. 4
	TT 14 04 00				按	業計画		——————————————————————————————————————	(西口)				N o . 1
実務経験	標準時限	* *	ゖ゚゚゚゚゚ゕ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゙゙゙ゕ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	山 レ復羽			扙 耒	内谷	(項目)				
		西士 期末試	域の洗いと	GUC復首									
			臓 臓見直し										
	1	州不叫											

大教	科目		学科	小教科目	E	自動車概論〕	I		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01		
										3年	開講期	後期		
教科	担当	川﨑	当仁 (1級	自動車整備	士)、宇賀	広章(1級	及自動車	巨整值	i i	T				
実務経	験教員:	授業	非該当	総時限	7時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験				
〔授業権	概要・目]的〕												
1. 1	級教科	書全船	め内容の理	里解を深める	,)									
〔授業	目標〕													
・1級自	動車	と備士!	試験問題が	わかる。										
・1級自	動車	整備士:	教科書の苦	手領域を克	 									
・3年次	マに学ん	だ1級		解し、1級素	 &備士試験	問題を合格	点レベ	いしの	点数が取れ	ເວ.				
〔学習	評価の	基準〕												
各試験	点数の)基準、	 レポート評(画及授業の	取り組みを	 総合して、「	5 · 4	. 3 .	2・1」の5	 5 段階で表わす。				
5:	—— 特に成	 績優秀	 なもの 4	 : 成績良の	 もの 3:/	 成績普通の	もの	2	: 成績やや		 こ劣り、不合	格のもの		
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点													
	各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レポー	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)													
•		111111111111111111111111111111111111111						_						
「使用	数科書	·教材												
				備士教科書										
ו נעבנום	タ州リル	₹/TJ ±/Iγ∧	·□∌ノ∓・エッ	用上が口白		 業 計 画	ī 耒					N o . 1		
実務経験	標進時限							内容	(項目)			IN U. I		
X1/1122		芒壬台	 頂域の洗い出	 !.I .と復習			JXX	۳.	ベーノ					
		期末記		10CBB										
			い映 は験見直し											
	1	期木山	- 映兄旦し											
			_		<u> </u>	_						·		

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

			T				1	T	1	
大教	科目	実習 自動車整備作業	小教科目		整備技術		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01
			-					3年	開講期	前期 ————————————————————————————————————
教科	担当	久保 雅照(1級	自動車整備:	₺)、宇賀	1	I	1	T		
実務経	験教員	授業 該当	総時限	70時限	授業方法	実習·実持	評価方法	実習試験	レポート評価	
実務経	験を有る	する教員が、必要なん	作業方法・知	識について、	実務経験を	活かし、より	実践的な授業	を行う。		
〔授業	概要・目	目的〕								
1.1	級教科	書「エンジン電子制	訓御装置」に	記載の内容	容について理	関解し、技術	げを学ぶ。			
電源、	センサ、	アクチュエータ、信	号電圧、異常	常検知、故	Z 障診断					
〔授業	目標〕									
・電源	、センサ	、アクチュエータ、信	号電圧、異	常検知、	故障診断の	仕組みを到	ミ物で理解す	する 。		
・オシロ	スコース	プ、外部診断機を流	舌用し、測定	どができる。						
〔学習	評価の	基準〕								
	€点数 ∅)基準、レポート評	 価及授業の	取り組みを	 総合して、l	5 · 4 · 3	· 2 · 1 Jの !	 5 段階で表わす。		
5:	特に成	 績優秀なもの 4	 :成績良の	もの 3:	成績普通の)もの 2	: 成績やや		 に劣り、不合	格のもの
 各試	験点数		 0 ~100点	4:75	~ 89点	3:60 ~	· 74点			
		6 0) 点未満の場		 験を行う。 i	当、再試験	 後の評価は			
 レポ-		 価は 5:非常に	 [優れている	4 4:優れ	ている 3	: 普 通	2:やや劣	 3る 1:劣る(再提出	 1の必要があ	る)
		ある教員による授業								
		土として実務経験		 が、整備現	場で必要な	 `作業方法	<u> </u>			
 実務	経験を	活かしてより実践的		ション シェア シェア シェア シェア かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま						
「使用	教科書									
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	子制御装置	3						
1 ///	1#/1	E畑工 エノノノモ			 業計画					N o . 1
実務経験	標準時限			XI.	* II E		2(頂日)			110.1
		お、サロ吹っなき				1又未四日	八块口)			
0	4	センサ回路の確認			5-47 U.S.C	- T-1T -	/ ~ L	0.17=47		
	_	・導入、機器取り		スコーノの耳	以扱 HDS	の 収扱 人	イツ ナ ホツクス	の取扱		
0	4	センサ回路の確認	, ,,,,,,,							
		·ECU電源 論理					=45:			
ı		等価回路の確認	タート・十二-	り値の確認	ス オシロスコ]ープでの波	形観測 D	「C検知手法の確認		
				J ,						
0	4	センサ回路の確認	忍・点検 3							
0	4		忍・点検 3		の確認					
0	4	センサ回路の確認・リニア信号センサ	♂・点検 3① 異常検	知とDTC		1ープでの波	形観測 D	「C検知手法の確認		
0		センサ回路の確認・リニア信号センサ	恐・点検 3 ① 異常検 図 センサ出ス	知とDTC		1ープでの波	形観測 D	「C検知手法の確認		
		センサ回路の確認 ・リニア信号センサ ・等価回路の確認	3・点検3① 異常検図 センサ出る3・点検4	知とDT(スプロスコ	1ープでの波	形観測 D	「C検知手法の確認		

		実習			専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整備作業	整備技術	対象級	一級自動車整備学科3年	開講期	前期
		<u> </u>			1 - 1		N o . 2
0	4	センサ回路の確認・点検5					
		・周波数信号センサ① 異常	常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 センサ出	よ力値の確認 オシロスコープでの》	皮形観測 D	TC検知手法の確認		
0	4	センサ回路の確認・点検6					
		・周波数信号センサ② 異常	常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 センサ出	は力値の確認 オシロスコープでの》	アンストリップ DT	TC検知手法の確認		
\circ	4	センサ回路の確認・点検7					
		・その他のセンサ 異常検知	とD T Cの確認				
		・等価回路の確認 センサ出	出力値の確認 オシロスコープでの》	g形観測 D	「C検知手法の確認		
0	6	センサまとめ					
		・これまでのセンサについてま	とめ、総合復習を行う。				
\circ	4	アクチュエータ回路の確認・点	京検 1				
		・スイッチング駆動アクチュエー	-9① 異常検知とD T Cの確認				
		・等価回路の確認 駆動電	圧、駆動信号電圧の確認 オシロ	スコープでの》	皮形観測 DTC検知手	三法の確認	
0	4	アクチュエータ回路の確認・点	京検 2				
		・スイッチング駆動アクチュエー	-9② 異常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 駆動電	圧、駆動信号電圧の確認 オシロ	スコープでの》	皮形観測 DTC検知手	三法の確認	
0	4	アクチュエータ回路の確認・点	京検 3				
		・スイッチング駆動アクチュエー	-9③ 異常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 駆動電	圧、駆動信号電圧の確認 オシロ	スコープでの》	皮形観測 DTC検知手	三法の確認	
0	4	アクチュエータ回路の確認・点	京検 4				
		・スイッチング駆動アクチュエー	-9④ 異常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 駆動電	圧、駆動信号電圧の確認 オシロ	スコープでの》	皮形観測 DTC検知手	三法の確認	
0	4	アクチュエータ回路の確認・点	京検 5				
		・リニア駆動アクチュエータ①	異常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 駆動電	圧、駆動信号電圧の確認 オシロ	スコープでの》	皮形観測 DTC検知手	三法の確認	
0	4	アクチュエータ回路の確認・点	京検 6				
		・リニア駆動アクチュエータ②	異常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 駆動電	圧、駆動信号電圧の確認 オシロ	スコープでの》	皮形観測 DTC検知手	=法の確認	
0	4	アクチュエータ回路の確認・点	京検 7				
		・リニア駆動アクチュエータ③	異常検知とDTCの確認				
		・等価回路の確認 駆動電	圧、駆動信号電圧の確認 オシロ	スコープでの》	皮形観測 DTC検知手	三法の確認	
0	8	アクチュエータまとめ					
		・これまでのアクチュエータにつ	いてまとめ、総合復習を行う。				

		1							ī		
大教	科目	-	ミ習 整備作業	小教科目	故障診断			対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日 開講期	25/04/01 後期
実務経験教員授		授業	該当	総時限	40時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	レポート評価	
〔授業概要・目的〕											
1. 1級教科書「シャシ電子制御装置」に記載の内容について理解し、技術を学ぶ。											
電源、センサ、アクチュエータ、信号電圧、異常検知、故障診断											
〔授業目標〕											
・電源、センサ、アクチュエータ、信号電圧、異常検知、故障診断の仕組みを実物で理解する。											
・オシロスコープ、外部診断機を活用し、測定ができる。											
〔学習評価の基準〕											
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。											
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの											
各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点											
6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。											
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)											
〔実務経験のある教員による授業〕											
自動車整備士として実務経験のある教員が、整備現場で必要な作業方法・知識について、											
実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。											
[使用教科書·教材等]											
1級自動車整備士 シャシ電子制御装置											
	1				授	業計画	表				N o . 1
実務経験	標準時限	授業内容(項目)									
0	8	シャシ電子制御AT センサ回路/アクチュエータ回路の測定・故障診断									
0	8	シャシ電子制御EPS センサ回路/アクチュエータ回路の測定・故障診断									
0	4	見直し									
0	8	シャシ電子制御ABS センサ回路/アクチュエータ回路の測定・故障診断									
0	8	シャシ電子制御A/C センサ回路/アクチュエータ回路の測定・故障診断									
0	4	見直し									

大教	科目	-	実習 「整備作業	小教科目	ភ	5用整備実	務		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01			
ナ/ ム て ヽ !	+== \\			5 5 1 		5 4p/- / ·	6π 1 −	£ ↓ - +	## \ -	3年	開講期	前期			
教科				自動車整備		ı	ı		1						
実務経			非該当	総時限		授業方法			評価方法		レポート評価				
			が、必要な化	作業方法・知識	識について、	実務経験を活	舌かし、	より実	践的な授業	を行う。 					
〔授業権	既要・目]的〕													
1	-般整体	作業を	通じ技術だ	カ、スピードス	力を身に付	ける。									
〔授業	目標〕														
・パーツ	リスト指	這示工数	女以内での、	、確実な整備	備作業を行	える。									
〔学習記	平価の	基準〕													
各試験	点数の)基準、	準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。 												
5:	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの														
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点														
6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。															
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)															
〔実務統	経験の	ある教員	ことる授業	 €)											
自動	車整備	±として	実務経験	のある教員が	が、整備現	場で必要な	作業才	方法・	知識につい	τ.					
実務	経験を	活かして	より実践的	内容を指導	算し授業を	行う。									
〔使用	教科書	·教材等	争〕												
各車両	īサービ	スマニュス	アル等												
					授	業計画	表					N o . 1			
実務経験	標準時限						授業区	内容	(項目)						
	4	実習導	入												
	4	一般整	備作業①	内装取り外	† U										
	4	一般整	備作業②	内装組み	付け										
	4	一般整	備作業③	サスペンシ:	ョン、ブレー	キ分解									
	4	一般整	備作業④	サスペンシ:	ョン、ブレー	キ組み付け									
	4	一般整	備作業⑤	エンジン取	り外し整備	作業									
	4	一般整	備作業⑥	エンジン取	りつけ整備	作業									
	4	一般整備作業⑦ HEVユニット取り外し整備作業													
	4	一般整備作業® HEVユニット取りつけ整備作業													

大教	科目	実習 自動車整備作業	小教科目	J.	芯用整備実 羽	务	対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01				
サルエリ	-			_L\ 111±5	5 4ED/- / 4	(如 卢 科士)	±4/±-1-\ -	3年	開講期	後期				
教科		豊田 剛 (1級	1		1	1		I	1 -1° 1 = 77 / 77					
	験教員:		総時限	44時限	<u>.</u>	実習・実技			レポート評価					
		「る教員が、必要な 	作業力法・知	誠について、	美務経験を	古かし、より美	践りな投業	を行つ。						
	既要・目													
1	-般整備	請作業をを通じ技	術力、スピー	ドカを身に位	付ける。									
〔授業														
・パーツ	リスト指	≨示工数以内で <i>0</i>)、確実な整位	備作業を行	える。									
〔学習	評価の	基準〕 ————————————————————————————————————												
各試験	点数の	基準、レポート評	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4 · 3 ·	2・1 」の 5	段階で表わす。						
5:	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの													
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点													
6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。														
レポー	-トの評	価は 5:非常	こ優れている	4:優れ	ている 3:	普 通	2:やや劣	る 1:劣る(再提出	い必要があ	る)				
〔実務	経験の	ある教員による授	業〕											
自動	車整備	士として実務経験	食のある教員:	が、整備現	場で必要な	作業方法・	知識につい	τ.						
実務	経験を	活かしてより実践	的内容を指導	算し授業を	方う。									
〔使用	教科書	・教材等〕												
				授	業計画	表				N o . 1				
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)							
	4	一般整備作業() デファレンシ	シャルの脱着	を調整 しゅうしゅう									
	4	一般整備作業②	こストラット、	リヤビーム朋	说着									
	4	一般整備作業(排気システ	テムの全脱れ	善									
	4	一般整備作業徑) ターボシス	テムの脱着										
	16	一般整備作業®	分解組み	立てから性は	能確認									
	4	一般整備作業(足回り分解	裈										
	4	一般整備作業の	足回り組み	み立て・ホイ	ールアライメ	ント調整								
	4	総合復習												

大教	大教科目		実習	小教科目	3	整備課題研究	名	対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01			
		自動車	車整備作業	, ,,,,,,,	_			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3年	開講期	後期			
教科	担当	宇賀	広章・豊田	剛·久保	雅照・川﨑	智仁(1級	自動車整備	士)						
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	78時限	授業方法	実習·実技	評価方法		レポート評価				
〔授業	概要・目	目的〕												
1. 3	年次ま	きでに習	得した知識	、技術を使	い、1級らし	しい自動車	整備関連テ	ーマを捉え、	課題を研究する。					
〔授業	目標〕													
・グルー	プテー	マによる	研究及び発	経展的な個。	人研究を行	い、より自動	加車整備に	関する知識	技能を理解習得する。					
〔学習	評価の	基準〕												
各試驗	食点数0)基準、	レポート評価	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4 · 3 ·	2・1 」の 5	5段階で表わす。					
5:	特に成	績優秀	なもの 4	: 成績良の	もの 3:	成績普通の)もの 2	: 成績ややき	劣るもの 1:成績特に	こ劣り、不合	合格のもの			
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点													
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レポ-	レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)													
〔使用	教科書	・教材	等〕											
					授	業計画	表				N o . 1			
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)						
	78	1. 相	既要説明											
		2. 🥫	テーマアップ											
		3. 🥫	マ企画・	検討										
		4. 1	P画書作成											
		5. 🥫	ーマ企画に	よる作業・核	剣証									
		6. 豸	発表会資料	作成										
		7. 多	表会											

大教	科目	実習 自動車検査作業	小教科目		自動車検査	ī	対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01				
≠ /π∓\\	 担当	豊田 剛 (1級自						3年	開講期	後期				
			1	l	12274777	⇔ ⇔++	==:/=:\-	C 777=160						
	験教員		総時限	12時限	授業方法			実習試験						
			19る教貝か、	必要な作業	力法・知識に	こういて、美格	6栓験を活か	し、より実践的な授業を行	rつ。 					
	概要・目													
1. 核	養置業	务の流れ、機器の 	取り扱いを身	·に付ける。 										
〔授業	目標〕													
・検査	機器を	使い、1人で継続	検査の検査の	作業ができる	3.									
・道路	運送車	両方の検査基準	に沿った検査	詳務、判 性	所、調整が出	出来る。								
〔学習	評価の	基準〕												
各試驗	魚点数0	D基準、レポート評	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4 · 3 ·	2・1 」の 5	5段階で表わす。						
5:	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの													
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点													
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レポ-	レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)													
〔実務	経験の	ある教員による授	業〕											
自動	車整備	計士として実務経験	食のある教員	が、整備現	場で必要な	作業方法·	知識につい	IT,						
実務	経験を	活かしてより実践	的内容を指導	尊し授業を	うう。									
〔使用	教科書	• 教材等〕												
2級シ	ァシ、法	 規												
				授	業計画	画 表				N o . 1				
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)							
0	2	サイドスリップ・テス	(夕/測定方法	去、調整方法	法/ハンドル	スポーク角の	調整方法							
0	2	ヘッドライト・テスク	7/2・4 灯式	こへッドライト	の調整									
0	2	スピードメータ/測	定、テスタの!	見方 ブレー	-キ・テスタ/	測定値から	の合否判定	2						
0	2	排気ガス・テスタ、	オパシ・メーク	9/騒音計										
0	4	実習確認試験												

大教	科目		実習 マネジメント	小教科目	サー	ビスマネジメン	ŀΙ		対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日開講期	25/04/01 前期		
教科	担当	宇賀「	広章・豊田	剛·久保 雅	熊・川﨑 着	智仁(1級目	自動車	整備:	±)		<u> </u>			
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	24時限	授業方法	講	義	評価方法	実習試験				
〔授業	概要・目	的〕												
1. サ	ービスフ	ロントと	して必要な	フロント業務	8の技術、9	印識を身にこ	ける							
2. 角	表資料	件成を	で通じてプレ	ゼンテーショニ	ンスキルを身	身につける								
〔授業	目標〕													
・eディー	-ラーの	基本操	作が出来る	3(実習確認	認)									
·QC活	動 発	表準備												
〔学習	評価の	基準〕												
各試驗	点数0)基準、	レポート評値	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	. 3 .	2・1」の5	5段階で表わす。				
5:	特に成	績優秀	なもの 4	: 成績良の	もの 3:	成績普通の	もの	2	:成績ややき	劣るもの 1:成績特(に劣り、不合	格のもの		
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点													
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レポー	レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)													
〔使用	教科書	・教材等	等 〕											
					授	業計画	〕表					N o . 1		
実務経験	標準時限						授業区	内容	(項目)					
	8	e – D	eale	r 活用(部·	用品の希望	望小売価格	と原価	の入	力方法)					
	10	QC活動	動 発表準値	繭										

大教	(科目		実習 マネジメント	小教科目	サービ	 ニスマネージメ	ントI	対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日開講期	25/04/01 後期		
教科	担当	宇賀 広	章・川﨑 智	 雪仁・豊田 岡	J·久保 雅照	景(1級自重	加車整備士)		3+	Maria	12743		
	験教員	<u> </u>	非該当	総時限	32時限	ı	実習·実技	評価方法	評価なし				
〔授業	概要・ほ]的〕							1				
1. 杉	交内技術	 村コンク-	-ルへ参加 ⁻	する。									
2. ع	と備課是	質研究の	発表準備	を行う。									
〔授業	目標〕												
•校内	技術コ	ンクール	への練習とは	出場による塾	を備スキルを	向上する。							
•整備	課題研	究発表	準備による	プレゼンテー	ションスキル	を向上する	00						
〔学習	評価の	基準〕											
この科	目につい	ハては、言	式験やレポ	ート等での評	呼価はせず、	授業出席は	し聴講により	履修とする	0				
〔使用	教科書	・教材等	算 〕 —————										
					4777	** =1 ==					N. 4		
	IT-16-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-				按	業計画		(15日)			N o . 1		
美務経験	標準時限	捡曲井	-{#E==> <i>f</i> a	11 小体表別 全	<u></u> 2-4-⊓		授業内容	(垻日)					
			(M)コングー/ 	ルの練習、参	>//U								
	24	金州 林	返り カナ	七衣华佣									

										専門課程	作成月日	25/04/01		
大教	科目	=	一般	小教科目		経営概論			対象級	一級自動車整備学科 3年	開講期	 前期		
教科	担当	宇賀位	章 (1級	自動車整備	士)				<u> </u>					
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講	義	評価方法		レポート評価			
〔授業	概要・目]的〕							•					
1. T	QΜσ	考え方	を知り、仕	事の進め方の	の基本を修	得する								
〔授業	目標〕													
٠PD	CA (DST	– P D C /	A)の基本	を理解する									
·QC	ストーリ	ーを実践	ますることに、	より問題解決	央手法を理	解する								
	評価の													
										5段階で表わす。				
	特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの ===================================													
各試	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点													
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
					4 : 優れて	いる 3: i	普 通	<u>i</u> 2	2:やや劣る	3 1:劣る(再提出の	の必要がある	5)		
Hond	Honda品質管理教育 Jコーステキスト													
(/±m:	t/L 1 \ - 1	*/	*)											
【使用	教科 書	・教材等	₹丿											
						 業 計 画	ī 表					N o . 1		
実務経験	標準時限				Σ			一	(項目)			11 0.1		
	2	том					12.7	1 1 1	(-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
	2	TQM	トーリーの理	日毎記										
	9		決手法の											
	2		トーリーのま											
	2	発表会												

大教	科目	-	一般	小教科目		営業実務			対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日	25/04/01 前期		
教科	担当	宇賀広	章 (1級自	 動車整備士		雅照 (1級	自動車	車整備	 計士)	3+	[PKEHICKI	נאנים		
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	16時限	授業方法	講	義	評価方法	評価なし				
〔授業	概要・ほ	≣的〕]				
1. 🖹	自分の強	館み理解	と他者の強	強みを理解し	たうえでのこ	コミュニケーシ	タン能	カの	 句上を図る	0				
2. 自	動車、	自動車	業界につい	てグループ記	 議を交えて	理解を深め	る。							
〔授業	目標〕													
・自分	の強み	を理解す	する。											
・自動	車や自	動車整	備業界にこ	れからについ	ての知識を	たかめる。								
・グルー	-プ討議	で、自然	分の意見を	述べる、他を	当の意見を!	聴く力ことが	できる。	0						
〔学習	評価の	基準〕												
この科	目につい	ハては、	試験やレポ	ート等での評	平価はせず、	授業出席し)聴講	により	履修とする	0				
		・教材等	等〕 ————————————————————————————————————											
LIFO	テキスト													
					授 	業計画			/TE (T)			N o . 1		
実務経験	標準時限		^=-1				授業	内谷	(項目)					
	4	テーマ村												
		グループ		± ># /#										
			プ討議 発 											
	1		プ討議 発		ムのみれ	公长 白コ:	田島沙	¬>.k	п и Ана	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
	8	LIFO(Life Offer	itation) E	コカツ5虫のフ		生 件、	コノバ	・ロール、他・	者理解とコミュニケーショ				

大教	科目		一般	小教科目		営業実務			対象級	専門課程 一級自動車整備学科 3年	作成月日開講期	25/04/01 後期	
教科	担当	宇賀広	章 (1級自	 動車整備士	_) 、川﨑智	1 (1級国	自動車	整備:	┃ 上)、久保雅	5 + ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	18時限	授業方法	講	義	評価方法	評価なし		_	
〔授業	概要・目	目的〕		<u> </u>		l			l				
1. 1	級自動	車整備	士として、お	 B客様への扱	接遇や、会調	舌の進めるた	こめの一	一般常	常識、商品分	田識等を学ぶ			
〔授業	目標〕												
・接遇	マナー、	一般常	識を理解し	ている。									
・販売	店様に	て取り扱	3う商品につ	いて、お客村	兼に正しい フ	アドバイスがと	出来る	(オ	イル、ケミカル	レ、保険)			
·巻き_	上げ機の	の使い方	を習得する	3									
〔学習	評価の	基準〕											
この科	の科目については、試験やレポート等での評価はせず、授業出席し聴講により履修とする。												
			員による授業										
				のある教員だ			作業ス	方法・	知識につい	iτ.			
実務	経験を	活かして	てより実践的	内容を指導	算し授業を行	行う。							
		・教材等											
接遇マ	'ナー講	座テキス	くト、巻き上	げ機テキスト				講座	テキスト、ケミ	ミカルテキスト		<u> </u>	
					授 	業計画			(-T-)			N o . 1	
実務経験	標準時限	1+1-					授業I	内谷	(項目)				
			'ナー研修										
	4		げ機講習 *cc										
		損保請する											
	2 6	オイル ₅ ケミカル											
	0	クミカル	/再/坐										

大教	科目	-	一般	小教科目	1	青報処理実務	务		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01		
										3年	開講期	前期		
教科	担当	宇賀広	章 (1級	自動車整備	<u>+)</u>		1			T				
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講	義	評価方法		レポート評価			
〔授業	概要・目]的〕												
1.マイ	フレフ	トオフィブ	への基本操作	作を学ぶ										
〔授業	目標〕													
・ワード	を使用	し、文書	書舞類の作	成が出来る	0									
・エクセ	ルを使	用し、簡	単な表計	算とグラフ作ん	成ができる。	o								
・パワー	-ポイン	を使用	し、発表ブ	レゼンテーシ	ョン資料を	作成できる。								
〔学習	評価の	基準〕												
各試験	(点数の	基準、	レポート評値	価及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4	. 3 .	2・1 」の 5	5段階で表わす。				
5:	特に成	績優秀	なもの 4	: 成績良の	もの 3:	成績普通の	もの	2	成績やや		 ご劣り、不合	格のもの		
各試	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点													
	各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レポ-	6 0 点未満の場合は再試験を行っ。尚、再試験後の評価は試験規程による。 レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)													
	レホートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 連 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)													
〔使用	教科書	·教材等	 等 〕											
						 業 計 画						N o . 1		
実務経験	標準時限						授業	内容	(項目)		l			
	1	PC導	入											
	1	ワード演	寅習											
	2	パワーフ	ポイント演習											
	2	パワーフ	ポイント実践	È										
	2	パワーフ	ポイント発表	₹										
	2	エクセル	/演習											
	5	パワーフ	ポイント実践	Ì										
	2	パワーフ	ポイント発表	Ę										

_											-			
教	科	学科	科目	E	自動車概論	I		対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01			
		自動車概論		· · · · · ·		. ,			4年	開講期	前期			
教科	担当	春日男太 (1 A) 岡地智行 (1 A)		-	、四中 何/	Δ (.	I WXI	3 割 早 登 1/6	#上/					
実務網	X験教員	授業 該当	総時限	52時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末試験					
〔授業	概要・	目的〕												
1 糸	及教科	書・エンジン電子	子制御装置	量・シャー	・シ電子制征	卸装置	重	自動車新	技術					
		·総合診断/	/環境保全	/安全管理	理・法令教	数材の)内容	を復習、理	里解を深める					
〔授業	の到達	目標〕												
1 糸	及小型	自動車整備士、	筆記試験	合格レベル	ルの知識を	習得?	する							
〔学習	評価の)基準〕												
各詞	(験点数	数の基準、レポート	評価及授業	(の取り組み	みを総合して	、Γ5	· 4 ·	3 · 2 · 1]	か5段階で表わす。					
5	:特に	成績優秀なもの	4:成績良	そのもの 3	:成績普遍	重のもの	カ	2:成績や	や劣るもの 1:成績	特に劣り、不	合格のもの			
各	·試験点	数の評価は 5:	90 ~100	点 4:7	75 ~ 89点	3 :	60	~ 74点						
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レ	レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)													
〔使用教科書・教材等〕														
1級教科書・エンジン電子制御装置・シャーシ電子制御装置・自動車新技術・総合診断/環境保全/安全管理・法令教材														
ホ	ホンダ学園学習ツール(ネット教材)													
実務経験	標準時限					授業	内容	(項目)						
0	2	実力確認試験	(令和6年	度登録記	式験)									
0	2	自動車概論基礎	楚項目(計算	算)確認										
0	15	エンジン電子制御	卸装置(電	気回路、	診断装置、	センち	ナ、ア	クチュエータ	、CAN通信、ECUの)制御)				
0		故障診断 復習	1											
0	16	シャシ電子制御	装置(AT、	EPS、AB	S、AC、振	動・駆	経音)	、故障診断	f 復習					
	2	中間試験												
0	4	エンジン系新技術	特(ハイブリッ	ッド、C N	G、筒内噴	射、	コモン	·・レール) i	復習					
0	4	シャシ系新技術((CVT、車i	両安定制	御装置、S	RS)	復習	3						
0	4	環境保全·安全	管理 復習	2										
0	4	法令(道路運送	車両法、倪	マ基準)) 復習									
	2	期末試験												

教	科		8実習 西実習	科目		専門実習		対象級	専門課程 一級自動車 整備学科4年	作成月日	25/04/01			
				動車整備十) 春日童-	大(1級白	動車整備士))		開講期	後期			
教科	HH-						動車整備士)							
実務網	Z験教員	授業	該当	総時限	126時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験					
自動車	整備に	関する実	努経験を有	する教員が、	必要な作業	方法・知識に	ついて、実務	経験を活か	J、より実践的な授業を行	·5.				
〔授業権	既要・目	目的〕												
社会	まに於し	て通用で	する、接客	・接遇技術	を実車を使	ってロールフ	プレイング形式	式にて実践	研修を行う					
点核	整備	己録簿の	作成											
〔授業は	の到達	目標〕												
登錄	試験	(口述討	試験)合格	シベルで問	診・引渡し	説明ができ	ること							
点核	発備語	記録簿の	記入方法	を理解し、	お客様への	説明が出来	 る							
〔学習	評価の	基準〕												
各詞	大験点数	数の基準	しポート	評価及授業	(の取り組み	を総合して	. [5·4·	3 · 2 · 1]	の5段階で表わす。					
5	:特に	成績優	秀なもの	4:成績良	そのもの 3	:成績普遍	通 のもの	2:成績や	や劣るもの 1:成績	持に劣り、不	合格のもの			
各	試験点	数の評	価は 5:	90 ~100	点 4:7	5 ~ 89点	3:60	~ 74点						
	各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)														
〔使用	(使用教科書・教材等)													
総合	診断·	環境保	全・安全管	理、法令教	対材 (日本	本自動車整	整備振興会達	重合会)						
					授	業計画	表				N o . 1			
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)						
0	20	接客·接	接遇実践研	T修	点検実施征	後,点検 証	已録簿作成码	讲修						
0	20	接客·接	接遇実践研	T修	点検整備の	衣頼の受付	研修							
0	20	接客·接	接遇実践研	T修	点検整備	車両の引き	渡し研修							
0	20	接客•接	接遇実践研	T修	故障診断	手法研修								
0	20	接客·接	接遇実践研	T修	異音修理	時の受付研	F修							
0	20	接客·接	接遇実践研	T修	クレーム対バ	芯研修								
0	6	接客•接	接遇実践研	T修	総復習									

教	 科	実務実習 評価実習	科目		応用実習		対象級	専門課程 一級自動車整備学科4年	作成月日	25/04/01					
李小子小	担当		,白動声較 <i>農</i> 土)				11111111111111111111111111111111111111	開講期	前期					
57.1.	担当 圣験教員	1	(自動単整備工 総時限	36時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験							
								【ペロペパタング し、より実践的な授業を行							
	概要・目		137 03/2007	2201170	, 3 / L		,,123(2,113)	0.0000000000000000000000000000000000000							
点机	食整備、	一般整備、重	 整備作業を行	 う											
電	アマニュ	アルの操作を習	导する												
e-D	Dealer	の基本操作を習	得する												
〔授業	の到達	 目標〕													
販剤	土でも通	i用するレベルの	点検整備、一	般整備作業	業ができるこ	٤									
電	アマニュ:	アルを操作し整体	備作業の手順	、作業時間	を確認でき	ること									
e-D	Dealer	こよる修理伝票	の発行、整備	説明が出来	そること										
〔学	習評価	「の基準〕													
各詞	式験点数 ———	数の基準、レポー	-卜評価及授業	美の取り組み	りを総合して	. Γ5·4·	3 · 2 · 1]	の5段階で表わす。							
5	:特に	成績優秀なもの	は												
各	5. 特に成績優秀なもの 4. 成績及のもの 3. 成績自屈のもの 2. 成績でであるもの 1. 成績特にあり、小自相のもの 4. 表試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点														
			60点未満	の場合は再	試験を行う	。尚、再試顯	険後の評価	は試験規程による。							
レ	ポートの	評価は 5:	常に優れてい	る 4:優	憂れている	3:普通	2:191	9劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	がある)					
〔使用	教科書	・教材等〕													
電	アサービ	スマニュアル、e-	Dealerシステ	Д											
				授	業計画	表				N o . 1					
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)								
0	4	点検(特定)整	備記録簿・点	倹箇所確認	ಔ・P I T管	雪理·e-Dea	ller 各種語	说明							
0	4	1年点検整備(基本作業・伝	票作成・オ	イル交換・ワ	イパ・ラバー	交換·A/C	フィルタ交換) 							
0	4	2年点検整備(RG1 : 基本作	F業・センサ	類脱着・伝	票作成)									
0		2年点検整備(
0		リヤブレーキキャ					立								
0	12	1年点検整備		f業)·実習	習確認試験	練習									
	4	実習確認試験復習													
	1														

		実務実習						専門課程 一級自動車	作成月日	25/04/01			
教	科	評価実習	科目		総合実習		対象級	整備学科4年	開講期	前期			
教科	担当	田中満広(1級日間地智行(1級日間地智行(1級日間		,									
実務網	圣験教員		総時限	82時限		実習·実技		実習試験					
自動車	整備に	関する実務経験を有	する教員が、	必要な作業	方法·知識(ā	ついて、実務	経験を活か	- し、より実践的な授業を行	- ੋਹੇ。				
〔授業	概要・目	目的〕											
軽化	作業から	重作業まで実際	に現場で想覚	きされる整備	請技術の習	得							
オシ	′ロスコー	-プやサーキット・テ	スタを活用し	た診断方法	の習得(交	流波形の測	定、コイル・	・コンデンサの測定)					
実耳	車による	HDSの習得											
〔授業の到達目標〕 - 株性を確認し効率の自じ作業が出来ること													
構造を確認し効率の良い作業が出来ること													
コイルのインダクタンス、リアクタンスを理解する。コンデンサの容量計算ができること													
HDS(外部診断機)を使用しセンサ、アクチュエータの電圧が確認できること													
真の実効値、平均値実効値方式のテスタの理解、使い分けが出来ること													
オシロスコープによる交流波形測定を習得するオシロスコープを操作し交流波形が測定できること													
インロスコープによる交流版形測定を首待9 8インロスコープを操作し交流版形が測定できること 〔学習評価の基準〕													
各語	式験点数	数の基準、レポー	>評価及授業	美の取り組み	を総合して	. √5 · 4 ·	3 · 2 · 1]	の5段階で表わす。					
5	:特に	成績優秀なもの	4:成績氏	そのもの 3	:成績普遍	通のもの	2:成績や	や劣るもの 1:成績	持に劣り、不	合格のもの			
各	試験点	数の評価は 5	: 90 ~100	点 4:7	5 ~ 89点	3:60	~ 74点						
			60点未満の	の場合は再	試験を行う	。尚、再試	険後の評価	は試験規程による。					
レ	ポートの)評価は 5:非	常に優れてい	る 4:優	れている	3:普通	2:17	9劣る 1:劣る(再振	是出の必要か	ぶる)			
〔使用	教科書	·教材等〕 											
電	子マニュ	アル、オシロスコー	プ、サーキット	テスタ、HC	S 他								
				授 	業計画	表				N o . 1			
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)						
0	8	ドライブ・シャフト、			ョイント分解	構造確認							
0	8	トランスミッション朋											
0	8	エアコン部品の脱											
0	8	E P Sシステムタ											
0	8	SRSエア・バッ		呼 構造確認	以(シヒック)								
0	4	ドライブレコーダー		۳۰. ¬ ۱۱° ۷	h N DO	v	.ビッカ\						
0	14	振動・騒音実習			· ·	x, FII, S	(こツク)						
○ 8 スライドドア脱着(ステップワゴン、N-BOX)													
0													
0	4					!fr							
_													
0	4	ハンロによる父流	収形の測定、	. 呉い夫父	加心、平均1	但天刈他力	エトリンド生用性						

	_{宝務宝翌} 専門課程 作成月日 25/04/01														
≱ h	∓N	実務実習	₹N 🖂		総合実習		计台级		作成月日	25/04/01					
教	枓	評価実習	科目		総合美省		対象級	一級自動車整備学科 4年	開講期	後期					
教科	担当 1	田中満仏 (1 : 岡地智行 (1 :						=							
実務組	Z験教員		総時限				評価方法								
〔授業	概要・	目的〕			•	•									
実車	■にて故	障作成、故障診	断												
オシ	ロスコー	プによる各信号研	望認手法を習	得する											
e-D	ealer	を活用しながら点を	検整備をする)											
ホン	ダS E	2級を取得するた	めの実習を行	ゔゔ											
〔授業	の到達	目標〕													
故障	第コード:	なしの電気回路・	機械的故障	の作成が出	出来、問診が	らの故障紋	を込み,テスタ	活用による故障診断か	出来ること						
オシ	ロスコー	プを操作し各信号	号波形が測定	ミできること											
e-D	ealer	を活用し販社と同	様の作業がは	出来ること											
S E	2級6	合格レベルの車両	確認、故障語	診断が出来	そること										
〔学習	評価の)基準〕													
各詞	大験点数	の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。													
5	試験点数の基準、レバート評価及授業の取り組みを総合して、15・4・3・2・1]の5段階で表わす。 5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの														
各	試験点	数の評価は 5	: 90 ~100	点 4:7	75 ~ 89点	3:60	~ 74点								
		I	6 0 点未満(の場合は再	試験を行う	。尚、再試	験後の評価	は試験規程による。							
レ	ポートの	評価は 5:非	常に優れてい	る 4:優	憂れている !	3:普通	2:やや	学る 1:劣る (再掛	是出の必要な	ぶる)					
〔使用	教科書	·教材等〕													
電	子サーと	ごスマニュアル、S	F2級テキ	「スト(ハ・	ード編) ′	他									
				授	業計画	画 表				N o . 1					
実務経験	標準時限					授業内容	(項目)								
0	8	TSS実践研	修(故障挖	深(
0	8	電装系装備の	構造理解	オシロス	スコープによ	る信号確認	認(シビック	7) PPによる資料作	■成						
0	8	電装系装備の	構造理解	オシロス	スコープによ	る信号確認	認(N-BO	X) PPによる資料	作成						
0	8	電気系故障診	断												
0	8	点検整備	e -Deale	erの活用	実践に	則した点材	食整備実習]							
0	16	SE2級実習 SE2級テキストに則した 車両確認、故障診断手法の習得													
0	8	S E 1級実習	ソフト領	域のロール	レプレイング	ř									
0	16	板金塗装実習													

教科	7科	実務実習	科目	休歸雪	実習(企業)	実習)	対象級	専門課程 一級自動車	作成月日	25/04/01
1)	(17	体験実習	140	という	大日 (正未:	, = /	NJ SKINX	整備学科4年	開講期	前期
教科	担当	田中満広(1級目	自動車整備士)、春日勇:	太(1級自	動車整備士)、岡地智行	了(1級自動車整備士)		
実務網	経験教員	員授業 非該当	総時限	84時限	授業方法	実習·実技	評価方法		レポート評価	
授業	概要・目	目的〕								
整值	備工場 等	等の実務を経験す	ることで、学村	交では得難	い経験を得	 ₹3				
— 約	吸自動車	車整備士に必要な	¥要件、実践	力を身につ	ける					
授業	の到達	目標〕								
組約	哉、各音	『門とのつながり、『	実際の作業の	流れを理解	解する					
C S	S活動の	の実際の取り組み	方を確認する	,)						
接ù	遇 応対、	. 顧客管理方法、	顧客へのアク	セス方法を	実際のお店	5(現場)	こて理解する	3		
作	業安全	への取り組み、効率	室的な作業方	法、につい	て販社の現	見場にて体験	する			
実	整備作	業を体験することで	実践力、応	用力を高め	る					
環均	竟への酢	記慮について販社の)現場にて体	験する						
報台	吉・連終	・相談の実践								
学習	評価の	基準〕								
各詞	式験点数	数の基準、レポート	·評価及授業	の取り組み	りを総合して	Σ. Γ 5 · 4 ·	3 · 2 · 1]	の5段階で表わす。		
5	: 特に	成績優秀なもの	4:成績良	とのもの 3	:成績普詢	通のもの	2:成績や	や劣るもの 1:成績	特に劣り、不	合格のもの
各	·試験点	気数の評価は 5	: 90 ~100	点 4:7	75 ~ 89点	3:60	~ 74点			
		1	6 0 点未満の	り場合は重			FA/4/	14=4FA+B1D1- L7		
			O ///// 14/1/34	<i>-</i> м ц ю г ј	試験を行う	。尚、再試	疑後の評価	は試験規程による。		
レ	ポートの							は試験規程による。 9劣る 1:劣る(再提	是出の必要が	ある)
									是出の必要が	ある)
)評価は 5:非							是出の必要が	` あ る)
)評価は 5:非		る 4:優		3:普通			是出の必要が	である) N o . 1
使用	教科書)評価は 5:非		る 4:優	憂れている	3:普通	2 : ††		是出の必要が	
使用	教科書)評価は 5:非	常に優れてい	る 4:優	MTいる 業計画	3:普通	2 : ††		是出の必要が	
使用	教科書標準時限)評価は 5:非・教材等〕	常に優れてい	る 4:優野	業計画4月上旬	3:普通	2 : ††		是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ)	常に優れてい	る 4:優 授 導入研修 6月中旬	業計 画 4月上旬 から30日	3:普通	2 : ††		是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:	常に優れてい 企業実習) 企業実習)	る 4:優 授 導入研修 6月中旬; 業の実習内	業計 画 4月上旬 から30日 P容に準ずる	3:普通	2 : ††		是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企 実習先修	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企 実習先修	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	
	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企 実習先修	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企 実習先修	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企 実習先修	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企 実習先修	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	
使用	教科書標準時限	評価は 5:非・教材等〕インターンシップ (インターンシップ (実習内容:実習時間:	常に優れてい 企業実習) 企業実習) 実習先企 実習先修	る 4:優 授 導入研修 6月中旬 業の実習 業時間とす	業計画 4月上旬から30日 P容に準ずる	3:普通	2:や竹	P劣る 1:劣る(再扱	是出の必要が	

		-	実習						75.88=m10	[
教	科		夫首 ビス	科目	サート	 ニスマネジメン	/ トⅡ	対象級	専門課程 一級自動車整備学科	作成月日	25/04/01		
			ジメント	3 	√ #I=== \		/ 1 XI5		4年	開講期	後期		
教科	JH 244			X日期年登 8 <u>白動車勢</u>		春日男太	(工秘曰:	助早登佣 ₋	L)				
実務網	圣験教員	授業	該当	総時限	17時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	レポート評価			
〔授業	概要・	目的〕											
SE	2級テ=	トストを	活用しHC	NDA車に	とって必要	な知識を習	習得する						
ホン	グ販売	店のも	ナービスフロ	ントシステム	ム環境の構	着造を理解し	」、基本的	な作業を	習得する				
〔授業	の到達	目標〕											
ホン	グサー	ビスエン	ッジニア 1糸	及 ハード縞	扁、ソフト網	を習得し、	合格レベ	ルに達する	こと				
e-D	Dealer	内のサ	ービス領域	ば、営業領	域、業務領	領域の基本	知識を身	につける					
〔学習	学習評価の基準)												
各詞	試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。												
5	:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの												
各	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点												
	60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
レ	ポートの	評価は	5 : 非常	常に優れてい	る 4:優	憂れている 3	3:普通	2: やた	学る 1:劣る(再携	是出の必要な	ぶる)		
〔使用	教科書	・教材	持 〕										
НА	ST S	E2級	ハード編	・サービ	スエンジニ	ア2級 ソ	フト編 DV	'D					
					授	業計画	表				N o . 1		
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)					
0	4	HAST	SE2級	ハード編									
0	4	HAST	SE2級	復習									
0	1	SE2級	3 学科試	験									
0	8	e-Dea	aler研修										

教	科		ービス ジメント	科目	サー	ビスマネジメン	ŀΙ	対象級	専門課程 一級自動車 整備学科 3、4 年	作成月日開講期	25/04/01 通期			
教科	おり			動車整備士 動車整備士		太(1級自動	動車整備士)						
実務網	X験教員		該当	総時限	8時限	授業方法	講義	評価方法	実習試験	レポート評価				
自動車	整備に	₹する実	務経験を有	する教員が、	必要な作業	方法・知識に	ついて、実務	経験を活か	」、より実践的な授業を行	·う。				
〔授業権	概要・目	目的〕												
SE2	2級テキ	ストを活	用しHON	DA車にとっ	て必要な知	識を習得す	- る							
ホン	ダ販売	店のサー	-ビスフロント	トシステム環	境の構造を	理解し、基	本的な作業	美を習得する	5					
〔授業は	の到達	目標〕												
ホン	ダサーヒ	ジスエンシ	ジニア 1 級	ハード編、ソ	<i>い</i> ト編を習	得し、合格	レベルに達 ⁻	すること						
e-D	ealer	内のサー	ビス領域、	営業領域、	業務領域	の基本知識	を身につけ	3						
〔学習	評価の	基準〕	準〕 の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。											
各詞	(験点数	数の基準	≜、レポート	評価及授業	美の取り組み	を総合して	、「5・4・	3 · 2 · 1]	か5段階で表わす。					
5	:特に	成績優	戏績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの											
各	試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点													
			6	0点未満の	の場合は再	試験を行う。	。尚、再試	験後の評価	は試験規程による。					
レ	ポートの	評価は	5 : 非常	営に優れてい	る 4:優	れている 3	3:普通	2: ヤンヤ	学る 1:劣る(再提	星出の必要な	がある)			
〔使用	教科書	・教材等]]											
サー	ビスエン	·ジニア 2	2級 ソフト	編 DVD										
					授	業計画	i表				N o . 1			
実務経験	標準時限						授業内容	(項目)						
0	4	HAST	SE2級	復習										
0	4	e-Dea	ler研修											

教	科	一般		科目		経営概論			対象級	専門課程 一級自動車 整備学科 4 年	作成月日開講期	25/04/01 前期	
教科	担当	田中満広(1級自	動車整備士)、岡地智	 行(1級自	動車整	備士	 、春日勇力	、 (1級自動車整備士)			
実務組	圣験教員	授業非	該当	総時限	8時限	授業方法	講	義	評価方法		レポート評価		
〔授業	概要・目	目的〕	·										
G r	討	義: 自動車	業界が	ゃ、その関連	業界につい	て意見を出	し合い	将来	きについてのな	ありたき姿等を考察する			
〔授業は	の到達	目標〕											
G r	討	義: あるテー	-マに対	し様々な意	気見を聞き、	受入れるこ	とで相	互理	解を深め、る	まとめることができること。			
〔学習	習評価の基準] 												
各語	(験点数	数の基準、レ	ポート語	評価及授業	きの取り組み	を総合して	、Γ 5	• 4 •	3 · 2 · 1]	か5段階で表わす。			
	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 2:対験占数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点												
各	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点												
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
			: 非常	常に優れてい	る 4:優	れている 3	3:普	通	2: やや	吟る 1:劣る(再提	是出の必要な	がある)	
〔使用	教科書	·教材等〕 											
											Ī		
					授 	業計画			(17.50)			N o . 1	
実務経験	標準時限		5/B/=±	<u>.</u>	- <i>/</i> -/		授業	内谷	(項目)				
		国家一級取					小次!	lΩ + . //	- 				
	4	自動車を取	い合い	泉境19,日	劉 里和饿化	冉にノいて訴		የትፖር	= かんりつ				

教	科	一般科目		4目 経営概論 対		対象級	専門課程 一級自動車 整備学科4年	作成月日開講期	25/04/01 後期					
教科	扣当	田山満広(1	級白動車整備十	-) 岡地智:	行(1 級白語	動車整	(備十) 寿口至-	┃ 太(1級自動車整備士)	用研究	1女州			
	圣験教員	1	<u> </u>	9時限	授業方法	調辛正講		評価方法	(工) 以口到千正佣工/	レポート評価				
	概要・目		NO PER INCIPE	ZHUME	以来方位	113	7次	<u>п і іш</u> / Ј/Д						
			育成課による特別	講座 (第	近機種情報		新情	報、販汁の)現状について)					
		- ル企画				,,,,,,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
〔授業	の到達	 目標〕												
新樹	幾種情報		報、サービス現場	 易の状況を矢	 []ることで 4 /	月から	の就	<u></u> 業スタートに	 向けての準備に役立て ^を	 გ				
技術	版コンク·	 -ルの通じて、	物事を一から築	き上げる企i	画力を身にご	つける								
〔学習	評価の	基準 〕												
各詞	各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。													
5	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの													
各	各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点													
	各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。													
レ	ポートの	評価は 5:	: 非常に優れて(る 4:優	をれている 3	3:普	通	2:やť	5劣る 1:劣る(再摂	是出の必要が	ぶ る)			
〔使用	教科書	・教材等〕												
サー	ビス人を	材育成課準備	備テキスト											
				授	業計画	〕表					N o . 1			
実務経験	標準時限					授業	内容	(項目)						
	4	本田技研サ-	-ビス人材育成語	果による特別	講座									
	4	技術コンクール	ル企画、準備											
	1	成績分析												

1					1				1				
教	科	-	一般	科目		営業実務			対象級	専門課程 一級自動車 整備学科4年	作成月日 開講期	25/04/01 前期	
教科	扣当	田山満	広(1級白	動車整備十) 岡地智	行(1級白語	動事整	備十) 寿口至 7	┃ 忲(1級自動車整備士)	用再州	刊功	
	2233 圣験教員	ī	非該当	総時限	9時限	授業方法	講	義	評価方法	、(1950日初千正開工)	レポート評価		
	概要・目		71 27.3	110. 3120	3.312	3270312	P13		в і ішу з /Д				
			 前 : インター		こしこ		明確化						
イン	ターンシ	ップ報台	<u></u> 告会: イン	ターンシップ		 績をもとにプ	レゼン	テーシ	 ⁄ョンを行う				
Gı	*討議資	資料発	表会										
〔授業	の到達	目標〕											
イン	ターンシ	ップ準値	前:インター	-ンシップでの	心構えを共	共有し、取り	組むべ	き課	題を明確に	 する			
イン	ターンシ	ップ報告	告会:各自	 が決めた課	題の到達原	度や実際に現	見場に	行つ	てみて得たこ	と、課題を報告できるこ	٤		
G ı	・ 討議	資料発	表会: 資料	料内容を明確	確に伝える	手法を身に	つける						
〔学習	評価の	基準〕											
各語	忒験点数	数の基準	善、レポート	評価及授業	美の取り組み	を総合して	۲5 -	· 4 ·	3 · 2 · 1]	か5段階で表わす。			
5	:特に	成績優	戏績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの										
各	S試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点												
			6	0点未満の	の場合は再	試験を行う。	。尚、ī	再試	験後の評価	は試験規程による。			
レ	ポートの	評価は	5:非常	きに優れてい	る 4:優	むれている 3	3:普	通	2: ヤンヤ	9劣る 1:劣る(再提	昆出の必要な	がある)	
〔使用	教科書	・教材等	争〕										
					授	業計画	ī 表					N o . 1	
実務経験	標準時限						授業	内容	(項目)				
			·シップ準備 										
	4	新機構	資料発表	会									
	4	インター	シシップ報行										

教	科	-	一般	科目		営業実務			対象級	専門課程 一級自動車整備学科4年	作成月日	25/04/01		
教科	担当	田中満	広(1級白	動車整備十) 照协智:	行 (1 級白電	計車整	·····································) 春日重7	┃ 忲(1級自動車整備士)	開講期	後期		
	Z験教員		非該当	総時限	25時限	授業方法	講	義	評価方法	(1)以口到千正洲工/	レポート評価			
	既要・目		7	110. 2120		323/0732			F1 10.372					
研究	 ?科技征	析コンク・	 -ル運営:	3 年生が	 選手として参	参加する技術	デコング	フール	の準備・運営	 営(問題作成、進行)	をする			
G r	· . 討	義: 世	の中のタイム	ムリーな話題	や各自興の		マにつ	いて	討議する					
登錄	就験	集備:	登録試験=	キックオフ										
〔授業は	の到達	目標〕												
技術	_行 コンク-	-ルの準	賃備・運営を	通じて各自	担当業務の	こ責任を持ち	5チー,	ムワー	クの大切さ	を経験しコンクールを完終	洁させる			
ある	テーマに	対し様	々な意見を	を聞き、受入	れることで	相互理解を	深め、	まとめ	ることができ	·ること				
登錄	は試験(向けた	準備を図る	5										
〔学習	評価の	基準〕												
各詞	大験点数	数の基準	準、レポート	評価及授業	美の取り組み	を総合して	٦5 ،	٠4٠	3 · 2 · 1]	の5段階で表わす。				
5	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの													
各	試験点	数の評	価は 5:	90 ~100	点 4:7	'5~89点	3 :	60	~ 74点					
			6	0 点未満の	り場合は再	試験を行う。	尚、	再試	験後の評価	は試験規程による。				
レ	ポートの	評価は	5 : 非常	常に優れてい	る 4:優	をれている 3	3:普	通	2:191	9劣る 1:劣る(再提	星出の必要な	がある)		
〔使用	教科書	・教材等	等〕											
サー	ビス人	才育成	課準備テキ	スト										
	-				授	業計画	表					N o . 1		
実務経験	標準時限						授業	内容	(項目)					
	4	研究科	技術コンク	ール運営準	備									
	4	コンクー	·ル実施 											
	4	登録試	験準備:	口述資料作	成									
			験準備											
	12	登録試	験準備:	グループ討請	えん はい しょう はんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょう はんしょう んしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	幹対策								
i														

教	私	_	一般	科目	ıl:	青報処理実務	冬		対象級	専門課程 一級自動車	作成月日	25/04/01
扒	17		, אני <i>ו</i>	1411	'	HTIX X PEXT	73		713KNX	整備学科4年	開講期	前期
教科	担当	田中満	広(1級自	動車整備士)、岡地智	行(1級自動	動車整	備士	、春日勇力	k (1級自動車整備士)		
実務約	圣験教員	授業	非該当	総時限	14時限	授業方法	講	義	評価方法		レポート評価	
〔授業	概要・目]的〕										
パワ	ーポイン	小の基:	本的な操作	Fを習得する)							
Exc	celの応	用操作	を身につける	3								
〔授業	の到達	目標〕										
パワ	ーポイン	トでイン	シターンシップ	プ報告用資料	料を作成で	きること						
Exc	elで各	数式を決	活用したシ-	-トを作成す	る(開発タ	ブの活用)						
〔学習	評価の	基準〕										
各語	式験点数	数の基準	善、レポート	評価及授業	の取り組み	を総合して	、Γ 5 ·	4 ·	3 · 2 · 1]	の5段階で表わす。		
5	:特に	成績優	秀なもの	4:成績良	そのもの 3	:成績普通	直のもの)	2:成績や	や劣るもの 1:成績	持に劣り、不	合格のもの
各	各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点											
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。											
レ	ポートの	評価は	5:非常	営に優れてい	る 4:優	れている 3	3:普	通	2: やか	吟劣る 1:劣る(再携	是出の必要な	がある)
〔使用	教科書	•教材等	等 〕									
					授	業計画	i表					N o . 1
実務経験	標準時限						授業	内容	(項目)			
	6	インター	·ンシップ報行	告用資料作	成							
	2	Excel	か応用操作	の説明								
	6	Excel	シートの作品	戊(課題2つ))							

教	科		一般	科目	1	青報処理実務	务		対象級	専門課程 一級自動車整備学科4年	作成月日	25/04/01	
## # 31	10.14		(. 42	71	`					正佣于付于午	開講期	後期	
教科				動車整備士		₩ - >	=#	<u></u>	===/==>-+		1 = 2 1 = 17/17		
	系験教員 四番、5		非該当	総時限	3時限	授業方法	講	義	評価方法		レポート評価		
〔授業相 			 計算、グラブ										
LXC	יוביםא	10/c4x	可弁、ソノ	71 F/JX									
〔授業の	カ到達し]押]											
			操作を再履	修し、試験終	吉果の表計	算書とグラフ	を作品						
		-3 0.32	KIT C13/12	1201 120001	H21(-) Z(B1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
〔学習記	評価の	基準〕											
各計	大験点数	数の基準	隼、レポート	評価及授業	きの取り組み	を総合して	、Γ5	· 4 ·	3 · 2 · 1]	の5段階で表わす。			
5	:特に	成績優	秀なもの	4:成績良	そのもの 3	:成績普通	重のもの	D .	2 : 成績や	 や劣るもの 1 : 成績 ^に	持に劣り、不	合格のもの	
各	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 名試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点												
	6 0 点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る (再提出の必要がある)													
〔使用	教科書	・教材等	等〕										
					授	業計画	〕表					N o . 1	
実務経験	標準時限						授業	内容	(項目)				
	3	自分の	試験成績	を基にExce	にて表、グラ	うフの作成							